

平成27年度

岩手県農業研究センター 年報

平成28年8月

目 次

I 農業研究センターの概要

1 組織機構・職員数	I - 1
2 会議、委員会、部会等の運営	I - 2
(1) 農業試験研究推進会議等の開催	I - 2
ア 新規試験研究課題の評価と選定	
イ 試験研究成果の採択	
ウ 試験研究課題の年度評価及び事後評価	
エ 岩手県農業技術開発会議	
オ 試験研究推進アドバイザー	
(2) 機関評価委員会	I - 6
(3) 企画運営会議、全体会議	I - 6
(4) 委員会等の運営	I - 9
ア ほ場管理委員会	
イ 研究報告等企画編集委員会	
ウ 参観デー等企画運営委員会	
エ 特許審査委員会	
オ 岩手県立農業ふれあい公園管理運営委員会	
カ 環境美化委員会	
キ 職員衛生委員会	
ク 原種等生産管理委員会	
ケ その他	
(5) その他会議	I - 12
ア 全国農業関係試験研究場所長会議	
イ 東北地域農業関係試験研究場所長会議	
ウ 全国畜産関係試験研究場所長会議	
エ 全国畜産関係場所長会北海道・東北ブロック会議	
オ 岩手県農作物病害虫・雑草防除指針検討会議	
カ 東北農業試験研究推進会議	
キ 東北地域研究・普及連絡会議	
ク 県内で開催された関係学会	
ケ 北東北3県農業試験研究センター企画室長等会議	

II 試験研究の推進

1 研究活動の概要	II - 1
2 トピックス	II - 2
(1) 特許・品種登録出願状況	II - 2
(2) 表彰等受賞状況	II - 2
(3) 特定課題調査検討チームによる検討及び連携プロジェクトによる研究推進	II - 2

3 研究室・課の動き	II- 4
(1) プロジェクト推進室	II- 4
(2) 企画管理部	II- 4
(3) 技術部	II- 5
(4) 環境部	II- 8
(5) 病害虫防除部	II- 9
(6) 畜産研究所	II- 9
(7) 県北農業研究所	II- 11
4 平成27年度試験研究課題	II- 13
(1) 細目課題分類	II- 13
(2) 試験研究課題一覧	II- 14
(3) 平成28年度試験研究を要望された課題とその措置一覧	II- 23
5 共同研究等の推進	II- 24
(1) 食料生産地域再生のための先端技術展開事業	II- 24
(2) 農林水産省委託プロジェクト研究事業	II- 24
(3) 農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業委託事業	II- 25
(4) 研究成果最適展開支援事業	II- 25
(5) その他独法等からの委託	II- 26
(6) 民間委託試験	II- 26
(7) (公財)岩手生物工学研究センターとの共同研究	II- 26
(8) 他の公設試との共同研究	II- 27
(9) AFR(岩手農林研究協議会)研究会	II- 27
(10) FAMS(動物医学食品安全教育研究センター)	II- 27
(11) その他共同研究	II- 27
(12) 産学官連携	II- 28
6 現地試験の実施	II- 29

III 試験研究の成果

1 試験研究成果	III- 1
(1) 平成27年度成果数	III- 1
(2) 平成27年度成果名一覧	III- 2
2 追跡評価	III- 5
(1) 評価視点	III- 5
(2) 追跡評価の調査方法	III- 5
3 東北農業試験研究成果	III- 7
(1) 研究成果数	III- 7
(2) 研究成果名	III- 7

IV 試験研究成果の発表

1 試験成績書等刊行物	IV- 1
2 研究レポート	IV- 2
3 岩手県農業研究センター研究報告	IV- 4
4 学会等研究報告	IV- 5
(1) 学術論文	IV- 5
(2) 学会発表	IV- 8

5 雑誌等掲載	IV- 13
(1) 専門雑誌等	IV- 13
(2) 月刊農業普及	IV- 13
(3) 岩手の畜産	IV- 13
(4) 岩手りんごタイムス	IV- 14
(5) その他の雑誌等	IV- 14
6 新聞等掲載	IV- 16
7 テレビ・ラジオ放送	IV- 18
(1) テレビ	IV- 18
(2) ラジオ	IV- 18
8 指導資料等掲載	IV- 19
9 図書資料収集・提供	IV- 21
10 ホームページ	IV- 21

V 指導・啓発活動

1 技術伝達研修等への対応	V- 1
2 現地指導・研修会等への講師派遣	V- 3
3 視察者、見学者の受け入れ状況	V- 15
4 春季一般公開及び参観デー	V- 15
5 技術セミナー等の開催	V- 15
6 一日子供農業研究員	V- 15
7 農業科学博物館、農業ふれあい公園、加工工房(加工体験)の利用者	V- 16
8 研修生の受け入れ	V- 17
(1) 海外研修	V- 17
(2) 北東北3県連携にかかる人事交流(研修)	V- 17
(3) 短期研修生	V- 17
(4) 体験学習の受け入れ	V- 17
ア 小中学校の「総合的な学習の時間」等に対応したもの	
イ 高等学校、大学の「職場体験研修」「視察」等に対応したもの	
ウ インターンシップ等に対応したもの	
9 協議会、委員会等委員	V- 20

VI 職員研修

1 大学院派遣	VI- 1
2 海外派遣・研修	VI- 1
3 国内研修への派遣	VI- 1
(1) 依頼研究員	VI- 1
(2) 北東北3県研究職員交流(職員派遣)	VI- 1
(3) 農林水産関係研究リーダー研修	VI- 1
(4) 独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構 短期集合研修	VI- 1
(5) 農林水産関係研究者研修	VI- 1
(6) その他	VI- 2
4 所内研修等	VI- 10
(1) 岩手県総務部人事課主催研修	VI- 10
(2) 岩手県農林水産部主催研修	VI- 12
(3) 所内研修	VI- 13
5 所内セミナー等	VI- 14

VII 試験研究以外の業務概要

1 作物の原々種の採種	VII- 1
(1) 主要農作物種子法に基づく原々種種子の生産	VII- 1
(2) その他原々種種子の生産	VII- 1
2 作物の原種の採種	VII- 2
(1) 主要農作物種子法に基づく原種種子の生産	VII- 2
(2) その他原種種子の生産	VII- 2
3 種苗等の配布	VII- 3
(1) 主要農作物種子法に基づく種苗の配布	VII- 3
(2) その他種苗の配布	VII- 4
4 県有種雄牛の精液の供給	VII- 5
(1) 黒毛和種	VII- 5
(2) 日本短角種	VII- 5
5 種豚、種鶏等の配布	VII- 6
(1) 種豚の配布	VII- 6
(2) 銘柄鶏の配布	VII- 6
6 寄託放牧	VII- 6
(1) 牛	VII- 6
(2) 馬	VII- 6

VIII 人事、予算、財産

1 岩手県農業研究センター予算	VIII- 1
2 建物、用地の面積及び飼養家畜数	VIII- 2
(1) 建物・用地の面積	VIII- 2
(2) 飼養家畜頭数	VIII- 2
3 種苗登録、特許等	VIII- 3
(1) 種苗登録	VIII- 3
(2) 特許、実用新案	VIII- 5
(3) 一般に公開しているプログラム等	VIII- 5
4 表彰	VIII- 6
5 職員名簿	VIII- 9

IX 東日本大震災津波への対応

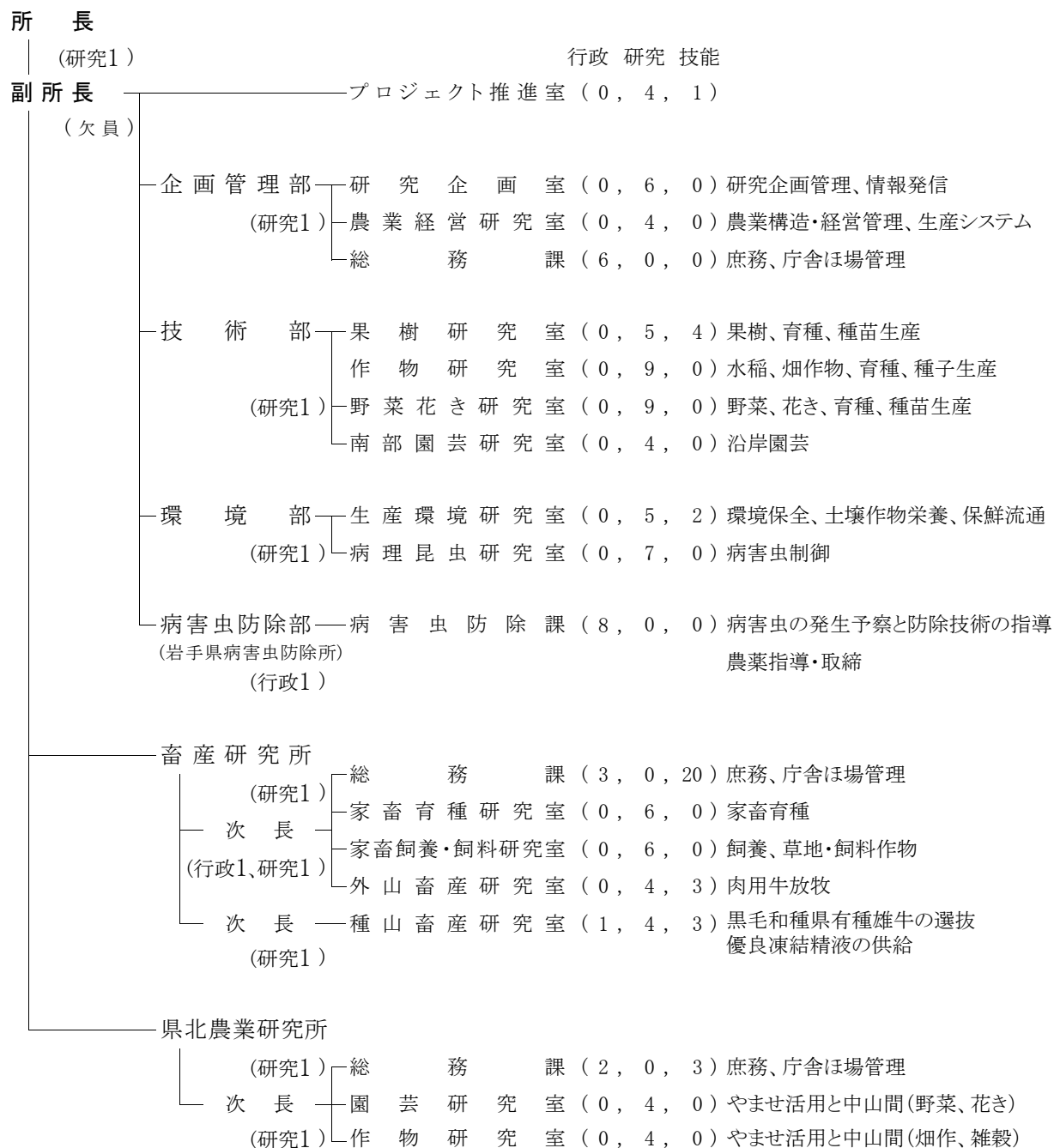
1 農業研究センター復興加速プロジェクトチームの活動	IX- 1
(1) チーム会議の開催	IX- 1
(2) 研修会、セミナーの開催	IX- 1
(3) 復興支援業務の実施	IX- 1
2 農畜産物の放射性物質測定に係る活動	IX- 1

X 沿革	X- 1
------	------

I 農業研究センターの概要

I 農業研究センターの概要

1 組織機構・職員数 ※実数



〈職員数〉 ※定数

	本 部		畜産研究所			県北農業研究所	合 計
	(北上市)	南部園芸研究室 (陸前高田市)	(滝沢村)	外山畜産研究室 (盛岡市玉山区)	種山畜産研究室 (住田町)	(軽米町)	
行政	15	0	4	0	1	2	22
研究	56	4	15	4	4	11	94
技能	7	0	19	3	4	3	36
合計	78	4	38	7	9	16	152

※1 欠員4名(副所長1、プロジェクト推進室1、生産環境研究室1、県北研究所1)

※2 任期付き研究員1名を総務部管理定数として配置(定数に含む。南部園芸研究室1)

2 会議、委員会、部会等の運営

(1) 農業試験研究推進会議等の開催

ア 新規試験研究課題の評価と選定

(ア) 第1回内部検討会議

a 開催日及び参集範囲

部会名等		農産部会	畜産部会	園芸部会
開催日		H27.8.3(月)	H27.8.4(火)	H27.8.5(水)
参集範囲	(公財)岩手生物工学研究センター	○	-	○
	農林水産部農政関係各室課	○	○	○
	各広域振興局農政担当部及び農林振興センター	○	○	○
	各家畜保健衛生所	-	○	-
	農業大学校	-	○	-
	各農業改良普及センター	○	○	○

b 協議事項

- (a) 平成28年度試験研究を要望された課題とその措置案について
- (b) 平成28年度新規試験研究課題案について

(イ) 第1回外部検討会議

a 開催日及び出席要請機関

部会名等		畜産部会	園芸部会	農産部会
開催日		H27.9.11(金)	H27.9.14(月)	H27.9.15(火)
参集範囲	試験研究推進アドバイザー	○	○	○
	東北農政局盛岡地域センター	○	○	○
	全国農業協同組合連合会岩手県本部	○	○	○
	岩手県農業共済組合	○	○	○
	岩手県農産物改良種苗センター	○	○	○
	岩手県植物防疫協会	○	○	○
	岩手県農薬卸商業協同組合	○	○	○
	岩手県農業公社	○	○	○
	岩手県農業機械協会	○	○	○
	岩手県畜産協会	○	-	-

注) 農産部会には新岩手農業協同組合北部営農経済センターに出席を要請した。

b 協議事項等

- (a) 平成28年度新規試験研究課題案について

(ア) 第1回評価調整会議

a 開催日 平成27年9月28日(月) 13:00～

b 協議事項等

- (a) 平成28年度試験研究を要望された課題とその措置(案)について
- (b) 平成27・28年度新規試験研究課題(案)について
- (c) 試験研究課題計画書(様式1号)の変更について
- (d) 試験研究推進計画の改訂について

c 参集範囲

農業研究センター所長、各部長、各研究所長、プロジェクト推進室長

イ 試験研究成果の採択

(ア) 第2回内部検討会議

a 開催日及び出席要請機関

部会名等		畜産	園芸	農産
開催日		H27.12.8(火)	H27.12.9(水)	H27.12.10(木)
参集範囲	(公財)岩手生物工学研究センター	-	○	○
	農林水産部農政関係各室課	○	○	○
	各広域振興局農政担当部及び農林振興センター	○	○	○
	各家畜保健衛生所	○	-	-
	農業大学校	○	○	○
	農業大学校	○	○	○

b 協議事項

(a) 平成27年度試験研究成果案について

(b) その他

(イ) 第2回外部検討会議

a 開催日及び出席要請機関

部会名等		農産	園芸	畜産
開催日		H28.1.6(水)	H28.1.7(木)	H28.1.8(金)
参集範囲	試験研究推進アドバイザー	○	○	○
	東北農政局盛岡地域センター	○	○	○
	全国農業協同組合連合会岩手県本部	○	○	○
	岩手県農業共済組合	○	○	○
	岩手県農産物改良種苗センター	○	○	○
	岩手県植物防疫協会	○	○	○
	岩手県農薬卸商業協同組合	○	○	○
	岩手県農業公社	○	○	○
	岩手県農業機械協会	○	○	○
	岩手県畜産協会	-	-	○
	新岩手農業協同組合北部営農経済センター	○	-	-
	全国農業協同組合連合会岩手県本部園芸部 県北園芸センター	-	○	-

注1) 農産部会には試験研究推進アドバイザーの他、新岩手農業協同組合北部営農センターの出席を要請した。

注2) 園芸部会(野菜花き)には試験研究推進アドバイザーの他、花巻農業協同組合の出席を要請した。

b 協議事項

(a) 平成27年度試験研究成果案について

(b) その他

(ウ) 第2回評価調整会議

a 開催日 平成28年1月25日(月) 13:00～

b 協議事項

(a) 平成27年度試験研究成果(案)について

(b) その他

c 参集範囲

農業研究センター所長、各部長、各研究所長、プロジェクト推進室長

ウ 試験研究課題の年度評価及び事後評価

(ア) 第3回内部検討会議

a 開催日及び出席要請機関

部会名等	園芸	園芸	農産	県北	畜産	
	(果樹)	(野菜花き)				
開催日	H28.2.18(木)	H28.2.19(金)	H28.2.22(月)	H28.2.23(火)	H28.2.25(木)	
参集範囲	(公財)岩手生物工学研究センター	○	○	○	○	—
	農林水産部農政関係各室課	○	○	○	○	○
	各広域振興局農政担当部及び農林振興センター	○	○	○	○	○
	各家畜保健衛生所	-	-	-	-	○
	農業大学校	○	○	○	○	○
	各農業改良普及センター	○	○	○	○	○

b 協議事項

- (a) 平成28年度試験研究課題(新規、変更課題)の試験設計について
- (b) 平成27年度終了課題の報告について
- (c) 平成28年度新規試験研究課題案について(園芸・畜産・県北)
- (d) 平成27年度試験研究成果案について(畜産)
- (e) その他

(イ) 第3回評価調整会議

a 開催日 平成28年3月14日(月) 13:00～

b 協議事項

- (a) 試験研究評価について
- (b) 平成28年度新規試験研究課題(案)について
- (c) 平成27年度試験研究成果(案)について
- (d) 平成27年度追跡調査の結果について

c 参集範囲

農業研究センター所長、各部長、各研究所長、プロジェクト推進室長

エ 岩手県農業技術開発会議

(ア) 第1回

a 開催日 平成28年2月15日(月) 15:15～

b 報告・協議事項

- (a) 農業研究センターにおける技術開発について
- (b) 生工研センターにおける技術開発について
- (c) 農業研究センターにおける試験研究推進計画の進捗状況について
- (d) その他

c 参集範囲

(公財)岩手生物工学研究センター

農政担当技監、農政関係各室課、生物工学研究所、農業大学校、中央農業改良普及センター
農業研究センター所長、各部長、各研究所長、各研究所次長、プロジェクト推進室長

オ 試験研究推進アドバイザー

所属部会	氏名	役職名	出席	
			第1回	第2回
農産 (水稲)	新田 義修	岩手県立大学総合政策学部・准教授	○	○
	大谷 隆二	東北農業研究センター生産基盤研究領域農業機械グループ・上席研究員		
	五日市 亮一	岩手県農業農村指導士農事組合法人金田一営農組合 組合長		○
	菅原 久耕	有限会社ファーム菅久・代表		○
	松田 功	全農岩手県本部米穀部・次長		○
農産 (畑作)	西田 瑞彦	東北農業研究センター 水田作研究領域(大仙研究拠点)・上席研究員	○	
	熊谷 匡章	有限会社下館農産・代表取締役	○	
園芸 (果樹)	小森 貞男	岩手大学農学部農学生命課程・教授		○
	阿部 和幸	果樹研究所 リンゴ研究領域・上席研究員	○	
	上野 高典	岩手県果樹協会・理事	○	○
	富山 司	岩手県農業農村指導士	○	○
	高野 寛子	岩手県農業農村指導士	○	○
園芸 (野菜)	加藤 一幾	岩手大学農学部・准教授	○	○
	永坂 厚	東北農業研究センター生産環境研究領域・主任研究員	○	○
	三浦 正美	岩手県農業農村指導士		○
	橋本 正成	(株)銀河農園・代表取締役	○	
	高橋 司	全農岩手県本部園芸部・次長		○
園芸 (花き)	稲本 勝彦	東北農業研究センター畑作園芸研究領域野菜・主任研究員		○
	高橋 俊一	(株)T&Gバイオナーサリー・会長兼CEO		○
	遠藤 満	八幡平市花き研究開発センター・主任技師		○
	千葉 欣哉	岩手県農業農村指導士		○
畜産	篠田 満	東北農業研究センター 畜産飼料作研究領域 領域長	○	○
	吉田 勝栄	(一社)岩手県畜産協会 経営支援部 次長		
	築城 幹典	岩手大学農学部農学生命課程・教授	○	
	小原 克也	全農岩手県本部畜産酪農部・次長		○
	分部 喜久男	(独)家畜改良センター岩手牧場・場長		○
	中村 鉄男	岩手県農業農村指導士	○	○
	澤口 松男	岩手県農業農村指導士		○
			13 名	21 名

(2) 機関評価委員会

- ア 開催日・場所 平成27年10月23日(金) 岩手県農業研究センター 県北農業研究所(軽米町)
- イ 議題 (ア) 視察調査(県北農業研究所試験圃場)
 (イ) 平成26年度機関評価への対応状況説明、意見交換
 (ウ) 委員講評
- ウ 機関評価委員
 (ア) 外部評価(5人) 大黒 正道 氏(東北農業研究センター企画管理部長)
 (五十音順) 高畑 義人 氏(岩手大学農学部教授)※欠席
 新田 義修 氏(岩手県立大学地域連携本部副本部長)
 高橋 明 氏(県農業農村指導士協会会長)
 照井 勝也 氏(全農県本部副本部長)
- (イ) 所員 所長、各部長、各研究所長、事務局等

(3) 企画運営会議、全体会議

開催月日	場 所	内 容(協議事項等)
27.4.6(月)	特別会議室	(第1回企画運営会議) 1 協議事項 (1)平成27年度業務方針(案)について (2)平成27年度農業研究センター全体会議について 2 連絡・報告事項 (1)平成27年度当初予算(試験研究費)について (2)平成27年度競争的研究資金応募課題等について (3)連携プロジェクトチームについて (4)災害時業務継続計画(BCP)の作成について (5)平成27年度広報計画について (6)各部長・研究所長からの情報提供 等 (7)4～5月の行事予定
27.4.10(金)	大会議室	(全体会議) ○第1部 次長、室課長、室課員(実務担当者) (1) 試験研究推進に係る留意事項 ・諸規定Q&A、外部資金研究(応募手続き、経理、不正防止、研究倫理)等 (2) 経理事務等に係る留意事項 ・物品購入、旅費、契約事務、物品管理、事務ミスが多い事項 等 (3) その他の留意事項 ・情報管理、知財管理、苦情処理、労働安全 等 ○第2部 全職員 (1) 機関評価について (2) 平成26年度機関評価結果及び対応方針 (3) 平成27年度業務方針について ア 組織のプロフィール、基本方針、職員の資質向上、組織運営課題 イ 各部・研究所の取り組み基本方針及び重点事項について (ア) 企画管理部 (イ) 技術部 (ウ) 環境部 (エ) 病害虫防除部 (オ) 畜産研究所 (カ) 県北農業研究所 (キ) プロジェクト推進室 (4) その他

開催月日	場 所	内 容(協議事項等)
27.5.25(月)	特別会議室	(第2回企画運営会議) 1 協議事項 (1)平成27年度機関評価の進め方について 2 連絡・報告事項 (1)平成27年度競争的研究資金応募課題採否状況等について (2)「第58回東北農業試験研究発表会」発表課題応募状況について (3)男女共同参画「岩手女性研究者☆研究・交流フェア」ポスター展参加申し込み状況について (4)災害時業務継続計画(BCP)策定の作業状況について (5)広報(らぼ・れたあ、プレスリリース等)計画・実績について (6)農林水産部長・副部長現地調査(5/27本部視察)について (7)各部長・研究所長からの情報提供 等 (8)6～7月の行事予定
27.7.27(月)	特別会議室	(第3回企画運営会議) 1 協議事項 (1)平成27年度機関評価の実施について (2)平成27年度追跡調査の実施について (3)平成27年度職員表彰について 2 連絡・報告事項 (1)第1回内部検討会議について (2)災害時業務継続計画(BCP)策定の作業状況について (3)広報(らぼ・れたあ、プレスリリース等)計画・実績について (4)各部長・研究所長からの情報提供 等 (5)8～9月の行事予定
27.9.28(月)	特別会議室	(第4回企画運営会議) 1 協議事項 (1)機関評価(内部評価結果及び外部評価委員会)について (2)研究報告第15号の編集について (3)災害時業務継続計画(BCP)の策定について 2 連絡・報告事項 (1)情報セキュリティポリシーの遵守について (2)参観デーの実績について (3)広報(らぼ・れたあ、プレスリリース等)計画・実績について (4)各部長・研究所長からの情報提供 等 (5)10月の行事予定

開催月日	場 所	内 容(協議事項等)
27.11.10(月)	特別会議室	(第5回企画運営会議) 1 協議事項 (1)特定課題調査検討の進め方について (2)研究員等育成プログラムの見直しの方向について 2 連絡・報告事項 (1)機関評価の実施状況について (2)第2回内部検討会議について (3)広報(らぼ・れたあ、プレスリリース等)計画・実績について (4)各部長・研究所長からの情報提供 等 (5)11～1月の行事予定
28.1.25(月)	特別会議室	(第6回企画運営会議) 1 協議事項 (1)機関評価(総括評価)案について (2)研究員等育成プログラムの見直し(原案)について (3)農業技術開発会議(2/15)への対応について (4)農林水産部長表彰候補者の推薦について 2 連絡・報告事項 (1)特定課題調査検討チーム員会議(第1回)結果について (2)革新的技術開発・緊急展開事業等への応募に向けた状況について (3)第3回内部検討会議(設計等)の開催について (4)年報及び研究報告の作成について (5)広報(らぼ・れたあ、プレスリリース等)計画・実績について (6)各部長・研究所長からの情報提供 等 (7)2月の行事予定
28.3.14(月)	特別会議室	(第7回企画運営会議) 1 協議事項 (1)平成28年度業務方針(案)について 2 連絡・報告事項 (1)研究員等育成プログラムについて (2)平成28年度競争的研究資金への応募状況等について (3)平成28年度依頼研究員の派遣について (4)平成28年度農業研究センター全体会議の開催について (5)いわてサイエンスシンポジウム出展等の企画案について (6)広報(らぼ・れたあ、プレスリリース等)実績について (7)各部長・研究所長からの情報提供 等 (8)3～4月の行事予定

(4) 委員会等の運営

ア ほ場管理委員会

開催月日	活動事項	内 容
27.4.24	作業部会打合せ	○当面する作業予定について(調整) ○その他技術部に関わる圃場の管理について
27.4.28	技術部圃場管理打合せ	○当面する作業予定について(調整) ○その他技術部に関わる圃場の管理について
27.5.29	技術部圃場管理打合せ	○当面する作業予定について(調整) ○その他技術部に関わる圃場の管理について
27.6.30	技術部圃場管理打合せ	○当面する作業予定について(調整) ○その他技術部に関わる圃場の管理について
27.8.27	技術部圃場管理打合せ	○当面する作業予定について(調整) ○その他技術部に関わる圃場の管理について
27.9.2	技術部圃場管理打合せ	○当面する作業予定について(調整) ○その他技術部に関わる圃場の管理について
27.10.8	技術部圃場管理打合せ	○当面する作業予定について(調整) ○その他技術部に関わる圃場の管理について
27.10.29	技術部圃場管理打合せ	○当面する作業予定について(調整) ○その他技術部に関わる圃場の管理について
27.11.1～30	野鼠防除	○野鼠防除

イ 研究報告等企画編集委員会

(ア)委員会

開催月日	場所	内 容
27.9.28	特別会議室	研究報告第15号の編集について

(イ)幹事会

開催月日	場所	内 容
(開催なし)		

ウ 参観デー等企画運営委員会

(ア)委員会

開催月日	場所	内 容
27.5.25	本部特別会議室	平成27年度参観デーの開催方針について
27.9.28	本部特別会議室	平成27年度参観デーの開催実績について

(イ)幹事会等

(本部関係)

開催月日	場所	内 容
27.6.3	本部1階中会議室	(1) 平成27年度岩手県農業研究センター本部及び中央農業改良普及センター 合同参観デー開催計画について ア 平成26年度の開催状況・反省点について イ 平成27年度の参観デー開催計画について ウ 今後のスケジュール(予定)について (2) 生物工学研究センター公開デーについて (3) その他

開催月日	場所	内 容
27.7.2	本部1階中会議室	(1) 平成27年度岩手県農業研究センター本部及び中央農業改良普及センター合同参観デー開催計画について ア 公開セミナーについて イ イベント実施計画書について ウ 広報について エ 今後のスケジュールについて (2) 生物工学研究センター公開デーについて (3) その他
27.7.30	本部1階中会議室	(1) 平成27年度岩手県農業研究センター本部及び中央農業改良普及センター合同参観デー開催計画について ア 公開セミナーの開催について イ イベント実施計画について ウ 協賛会について エ 動員計画について オ 今後のスケジュールについて (2) 生物工学研究センター公開デーについて (3) その他
27.8.26	本部1階中会議室	(1) 平成27年度岩手県農業研究センター本部及び中央農業改良普及センター合同参観デー開催計画(マニュアル等)について (2) 生物工学研究センター公開デーについて (3) その他
27.9月中旬	(メール等で照会・取りまとめ)	(1) 平成27年度岩手県農業研究センター本部及び中央農業改良普及センター合同参観デー開催実績について (2) 生物工学研究センター公開デーの開催結果について (3) 平成28年度の開催について (4) その他

(畜産研究所関係)

開催月日	場所	内 容
27.8.20	セミナー室	岩手県全国農業機械実演展示会に併せて開催 (1) 展示内容について (2) 準備、当日の対応者について

(県北農業研究所関係)

開催月日	場所	内 容
27.6.5	ミーティング室	(1) 平成26年度の反省事項について (2) 平成27年度の開催内容案について (3) 今後の進め方及びスケジュールについて
27.7.6	ミーティング室	(1) 開催内容の確認と進捗状況について (2) 収穫体験等について (3) 広報、文書発送について
27.8.19	ミーティング室	(1) 実施計画の確認(確定)について(全体説明会) (2) 準備役割分担の最終確認について (3) 今後の準備作業の最終確認について

エ 特許審査委員会

開催月日	場所	内 容
27.5.25	本部2階特別会議室	(1)勤務発明「植物育苗容器及び栽培方法」の再審査について
27.8.5	(書面協議)	(1)水稲品種「岩手107号」の勤務発明審査について
27.10.1	(書面協議)	(1)りんどう品種「いわてVEB-7号」及び「いわてEB-1号」の勤務発明審査について
28.2.9	(書面協議)	(1)りんご「岩手4号」の勤務発明審査について

オ 岩手県立農業ふれあい公園管理運営委員会

開催月日	場 所	内 容
27.5.19	農業科学博物館	(1)管理運営報告及び事業計画について (2)農業ふれあい公園のあり方検討について

カ 環境美化委員会

開催月日	場 所	内 容
27.4.15	1階小会議室	(1)平成26年度環境美化委員会活動実績について (2)平成27年度環境美化委員会活動計画について

キ 職員衛生委員会

開催月日	場 所	内 容
27.7.14	特別会議室	(1)平成26年度事業実績について (2)平成27年度事業計画(案)について (3)その他(農業研究センター労働安全等予防システム運用について)
28.1.13	特別会議室	(1)平成27年度定期健康診断の結果について (2)職場安全点検結果について (3)事業実施状況について (4)その他

ク 原種等生産管理委員会

開催月日	活動事項	内 容
27.7.29~30	宮城県名取市 (宮城県農業園芸総合 研究所バイオテクノ ロジー開発部)	平成27年度東北六県主要農作物原種・原々種生産に係わる情報交換会参加(1名) (1)各県生産状況・意見交換 (2)現地視察
27.8.5,6,10,12	E地区水田圃場 及び紫波町、県北研	第1回外部審査 (1)水稲原種・原々種外部審査(出穂期)
27.8.26,31,9.4	E地区水田圃場 及び紫波町、県北研	第2回外部審査 (1)水稲原種・原々種外部審査(糊熟期)
28.2.9	作物調査棟	第3回外部審査 (1)水稲および大豆原種・原々種外部審査(生産物)
28.3.14	特別会議室	(1)生産・出荷実績および生産計画・課題について (2)水稲種子病害対策連携プロジェクトチームの取組実績について (3)主要農産物原種生産棟整備計画について

(5) その他会議

ア 全国農業関係試験研究場所長会議

開催月日	場 所	内 容
27.6.23	東京都港区 (三会堂ビル 9階 石垣記念ホール)	全国農業関係試験研究場所長会総会 1 平成27年度全国農業関係試験研究場所長会通常総会 2 平成27年度研究功労者表彰式

イ 東北地域農業関係試験研究場所長会議

開催月日	場 所	内 容
27.9.3 ～4	北海道札幌市 (北海道庁別館会議室)	1 協議・検討事項(9/4) (1) 農産物輸出関連技術の研究開発及び共同研究の可能性について (2) 試験研究機関と食品加工・流通関連企業との連携について 2 北海道からの話題提供(9/4) (1) 水田農業や露地野菜の大規模・低コスト化農業に係る研究課題の紹介 (2) 北海道農業研究センターとの連携 (攻めの農林水産業の実現に向けた革新的技術緊急展開事業の紹介) 3 現地調査(9/3) (1) 道総研中央農業試験場(長沼町) 北海道総研中央農業試験場の紹介とほ場視察等 (2) 南幌(有)ライフ(南幌町) 水田農業、露地野菜の大規模・低コスト化農業

ウ 全国畜産関係試験研究場所長会議

開催月日	場 所	内 容
27.6.19	東京都文京区 (全国家電会館)	1 協議 (1)平成26年度事業報告及び収支決算について (2)平成27年度事業計画及び収支予算について (3)平成27年度会費の額及び徴収方法について (4)平成27、28年度役員に関する件 2 畜産研究功労者表彰

エ 全国畜産関係場所長会北海道・東北ブロック会議

開催月日	場 所	内 容
27.9.15～16	福島県福島市 福島県農総研セ 畜産研究所 会議室	1 重点研究課題について 2 連携(共同)研究アンケート調査について 3 平成28年度場所長会における意見交換会の企画案について 4 国・独立行政法人に対する提案事項について 5 畜産研究功労者表彰候補者の推薦について 6 優秀畜産技術者表彰候補者の推薦について 7 その他(農総研機構畜草研イベント、次期開催地等)

オ 岩手県農作物病害虫・雑草防除指針検討会議

開催月日	場 所	内 容
27.9.8	盛岡市 (県庁)	防除指針作成会議(農業普及技術課主催): 作成に係る基本方針の周知等
27.11.10～11	北上市 (農業研究センター)	分科会(農業普及技術課主催): 防除機指針の原案及び要望事項の検討
27.12.17～18	北上市 (農業研究センター)	平成28年度県防除指針の改正内容について(病害虫防除所主催): チェック結果の妥当性の検討
28.2.2	盛岡市 (県庁)	防除指針作成会議(農業普及技術課主催): 防除指針(案)の決定

カ 東北農業試験研究推進会議

開催月日	場 所	内 容
【稲推進部会】		
27.9.3～4	山形県山形市ほか (山形県農業総合センター)	○東北地域水稻品種・系統立毛検討会
27.8.20～21	現地調査 福島県郡山市、会津美里町 検討会議 郡山市 (福島県農総セ)	○直播研究会並びに水稻直播等低コスト技術現地検討会 1 東北農政局より情報提供 2 各県における水稻直播栽培等の導入状況と推進方向 3 総合討議
28.1.27	盛岡市 (東北農業研究センター)	○稲栽培研究会 1 研究成果情報候補課題の検討 2 研究会「水田における雑草問題の情報共有」
28.1.27～28	盛岡市 (東北農業研究センター)	○稲品種検討会 1 品種の作付動向と要望される品種 2 奨励品種決定基本調査関係の検討 3 育種関係情報交換 4 成果情報(稲品種)の検討 5 新配布系統の紹介
28.1.28	盛岡市 (東北農業研究センター)	○直播研究会 研究会「多様な直播栽培技術を東北の直播栽培に活かす」 北海道・イタリア・コロンビアの直播栽培技術 総合討論
28.1.28	盛岡市 (東北農業研究センター)	○稲課題検討会
28.1.29	盛岡市 (東北農業研究センター)	○稲推進部会 本会議 1 検討会・研究会報告 2 「最新農業技術・品種2017」候補の選定 3 技術的課題(現場ニーズ)の検討 4 重点検討事項「大規模水田営農における作物生育制御の課題とICTの活用」 5 農業の国際化煮対応した研究推進方向 6 次年度重点検討事項および 共同研究課題の提案
【畑作物推進部会】		
27.8.11～12	山形県米沢市ほか (検討会:置賜総合支庁) (現地:長井市、米沢市) (山形県農業総合センター)	○畑作物栽培研究会 現地検討会(大豆栽培現地ほ場) 研究会「大豆連作ほ場における雑草害、線虫害の発生状況と低減対策」 東北農政局情勢報告、講演、生育状況及び試験概要報告、意見交換
27.9.1	盛岡市 (東北農業研究センター)	○東北地域麦・なたね品種・系統検討会 1 各県の麦・なたね作概況 2 各県における品種の改廃ほか
28.1.28	盛岡市 (東北農業研究センター)	○畑作物栽培研究会 1 検討会「水田における畑作物の湿害の現状と今後の対策」 2 研究成果情報候補等の検討
28.1.28	盛岡市 (東北農業研究センター)	○畑作物品種検討会 1 研究成果情報(畑作物品種関係)の検討 2 夏畑作物の有望品種・系統の成績及び次年度配布計画の検討 (1)奨励品種改廃・採用予定及び有望品種・系統(各県) (2)大豆の有望品種・系統(育成地) (3)特産作物の有望品種・系統(育成地、各県)
28.1.29	盛岡市 (東北農業研究センター)	○畑作物課題検討会

開催月日	場 所	内 容
28.1.29	盛岡市 (東北農業研究センター)	○畑作物推進部会 本会議 1 検討会・研究会報告 2 重点検討事項「畑作物の病害抵抗性の評価及び選抜技術開発の現状」 3 「現場段階での重要な技術的課題」の提案と検討 4 共同研究課題の提案 5 「農業の国際化に対応した地域農業研究の推進方向」と次年度重点検討事項の検討 6 主要成果の紹介および「最新農業技術・品種2017」候補の選定
28.2.10	仙台市 (仙台合庁)	○東北ソバ研究会 1 そばをめぐる状況について 2 平成27年産そばの検査結果 3 平成27年産そばの品質評価について 4 各県のそば振興の現状と課題等について ほか
【農業生産基盤推進部会】		
27.8.19	盛岡市 (東北農業研究センター)	○農業経営研究会(夏期) 東北地域における農業経営の展望－農業先進技術の経営的評価・経営モデル提示の観点から－
27.8.20～21	秋田県 (秋田県立大秋田キャンパス) (現地:能代市、大潟村)	○作業技術研究会 1 シンポジウム「水田作低コスト化のための農業機械、作業技術開発の現状と課題」 2 現地見学会(無代かき湛水直播、ヘリ散播、フィールド教育センター圃場) 検討会(各県の現状と課題、外部資金獲得課題提案等、冬期研究会検討事項ほか)
28.2.1～2	盛岡市 (東北農業研究センター)	○作業技術研究会 1 重点検討事項「平坦地・中山間地等、東北地域の多様な地域条件に対応する作業技術開発の現状と課題」 2 研究成果情報の検討・確認 3 「最新農業技術・品種2017」候補の選定 4 現場段階での重要な技術的課題の提案と検討 5 平成28年度作業技術研究会(夏期)についての意見交換
28.2.1～2	盛岡市 (東北農業研究センター)	○農業経営研究会 1 平成27年度研究成果情報の検討 2 「最新農業技術・品種2017」候補の選定 3 平成27年度重点検討事項「東北地域水田農業の展開方向-園芸作導入の可能性と課題-」 4 現段階での重要な技術的課題 5 各県の主要研究課題の検討 6 夏期研究会の次年度開催計画
28.2.1	盛岡市 (東北農業研究センター)	○流通加工部会 1 情勢報告 2 重点検討事項の検討 3 試験研究「研究成果情報」の検討ほか
28.2.2	盛岡市 (東北農業研究センター)	○農業生産基盤推進部会 1 研究会の報告 2 平成27年度成果情報の検討結果の報告 3 「最新農業技術・品種2017」候補の選定 4 「現場段階での重要な技術的課題」の検討 5 重点検討事項の検討

開催月日	場 所	内 容
【生産環境推進部会】		
27.7.7～8	秋田県秋田市 (秋田キャッスルホテル)	○ 土壌肥料研究会(夏期) 東北地域の土壌肥料研究の現状と今後の展開方向
27.8.20～21	山形県山形市 (大手門パルズ)	○ 病害虫研究会(夏期) 1 栽培体系の変化が病害虫の発生に与える影響とその対策 2 現地検討会
28.1.28～29	盛岡市 (アイーナ)	○ 土壌肥料研究会 1 研究成果情報の検討 2 検討事項 「農業の国際化に対応した土壌肥料分野の研究推進方向」 「東日本大震災に対応した試験研究の現状と課題」
28.1.29～30	盛岡市 (アイーナ)	○ 病害虫分科会 病害研究会 1 研究成果情報の検討 2 平成27年度試験研究成績の検討 3 重点検討事項「農業の国際化に向けた生産環境分野の課題と方向」の検討
		○ 病害虫分科会 虫害研究会 1 平成27年度試験研究成績の検討 2 重点検討事項「農業の国際化に向けた生産環境分野の課題と方向」の検討
28.1.29	盛岡市 (アイーナ)	○ 農業気象研究会 1 研究成果情報の検討 2 検討事項 「QGISを用いた農研機構メッシュ農業気象データの図化(技術講習)」 「農業の国際化に向けた農業気象分野の研究推進方向」
28.1.29	盛岡市 (アイーナ)	○ 生産環境推進部会 本会議 1 研究成果情報の検討 2 現場段階での重要な技術的課題の検討 3 検討事項 「農業の国際化に対応した土壌肥料分野の研究推進方向」 4 各県からの研究情勢報告
【畜産飼料作推進部会】		
27.8.26～27	仙台市 (会議:パレス宮城野) (シンポジウム :東北大学院農学研 究科講義室)	○ 夏期研究会 1 分科会 大家畜: ①飼料米の給与技術と、給与による食味向上の検討 ②その他情報交換 飼料作: ①自給飼料生産拡大に向けた取組み ②堆肥の有効活用 ③その他情報交換 2 全体会議 ①分科会の報告 ②共同連携方策、競争的資金および共同研究課題について ③その他 3 シンポジウム 「美味しい牛肉・豚肉の生産～飼料用米給与による可能性」
28.1.28～29	盛岡市 (アイーナ会議室)	畜産飼料作推進部会 本会議 1 重点検討事項 農畜産物市場の開放に対応した今後の東北地域の畜産 2 現場段階での重要な技術的課題の提案と検討 3 主要成果の紹介および最新農業技術・品種2017候補の選定 4 平成28年度主要新規試験計画の検討 5 今後の推進会議の運営について 6 外部委員による講評

開催月日	場 所	内 容
28.1.29	盛岡市 (アイーナ会議室)	○ 牧草飼料作物優良品種選定ネットワーク推進会議 1 牧草・飼料作物品種選定成績検討及び関連事項 2 その他
【野菜花き推進部会】		
27.8.27～28	山形県新庄市他	○ 野菜研究会(夏期) 1 検討課題 土地利用型野菜の再生強化推進と再生可能(自然)エネルギーの利活用 2 話題提供 農研機構育成の露地野菜品種の特徴 水田利用野菜栽培の取り組みと農業メーカーが提案する再生エネルギーの利活用 定植前リン酸施用技術による露地野菜の施肥量削減 3 現地研修 アスパラガス選果施設、栽培圃場視察(最上町) ソーラーシェアリング試験圃場(ワラビ)視察
27.10.5～6	秋田県秋田市、男鹿市 他	○ 花き研究会(夏期) 1 検討課題 東北地域における花き生産に関わる諸問題解決のための技術開発 2 検討会 間欠冷蔵処理を利用した夏季高温時の高品質花き苗生産 東北地域各県における技術開発の現状紹介と討議 3 現地見学会
28.2.4～5	盛岡市 (東北農業研究センター)	○ 野菜花き推進部会 本会議 1 重点検討事項 野菜分科会「露地野菜の省力安定生産のための機械化体系及び水管理技術」 花き分科会「花き類における新しい収穫後生理特性の知見と品質保持技術」 2 研究成果情報候補課題の検討・採択 3 「輸入野菜・花きへの対応に向けた国内自給率の向上」の検討
【果樹推進部会】		
27.8.27～28	秋田県横手市	○ 果樹研究会(夏期) 1 話題提供 1) 秋田県の雪害対策技術 2) 青森県リンゴ樹の雪害対策 3) リンゴ樹における積雪負荷予測に基づいた雪害発生メカニズムの解明 4) 秋田県内に発生している‘ふじ’の果面障害 5) 山形県における生理障害の発生例 6) 長野県における「ふじ」のさび発生 2 研究戦略に係わる総合討議
27.1.25～26	盛岡市 (東北農業研究センター)	○ 果樹推進部会 1 重点検討事項: 果樹輸出の現状と相手国残留基準値問題の克服について 特別講演: 棟方向傾斜ハウスの紹介 2 平成27年度成果情報 3 現場段階での重要な技術的課題 4 主要新規試験研究計画の概要 5 今後の会議の運営、その他
28.2.2～3	つくば市	○ 落葉果樹研究会 1 全体会議 加工・業務用フルーツの展望 1) 生ジュース消費のトレンドと国産果実の未来 2) クリ新品種「ぼろたん」を活用した6次産業化の取り組み 3) カットフルーツのサプライチェーン 4) 総合討議 2 樹種別分科会 ナシ、カキ、クリ、核果類、ブドウ、土壌肥料、流通利用
28.2.9～10	盛岡市 (東北農業研究センター)	寒冷地果樹研究会 1 分科会 栽培) 果樹の生長制御機構—園芸学からのアプローチ— 病害) リンゴ病害防除における最近の話題 虫害) 最近の寒冷地果樹害虫の防除体系と今後の問題 土壌・肥料) 寒冷地果樹土壌肥料関連試験の進捗状況

【研究戦略会議】		
27.10.19	盛岡市 (東北農業研究センター)	1 東北地域研究・普及連絡会議への提案事項の検討 (農業新技術200X、国の施策で対応すべき技術的課題候補) 2 意見交換 (戦略目標:「新たな農林水産研究基本計画の下での地域農業研究の推進方向」)
【本会議】		
28.2.17	盛岡市 (東北農業研究センター)	1 推進部会報告 2 重点検討事項の検討 テーマ:農業の国際化に対応した地域農業研究の推進方向 3 その他

キ 東北地域研究・普及連絡会議

開催月日	場 所	内 容
27.11.4	仙台市(合同庁舎)	出席者:企画管理部長 1 「国の施策で対応すべき技術的課題」候補の選定について 2 「新品種・新技術の開発・保護・普及の方針」に基づき導入が期待される品種・技術の普及について 3 研究機関と普及組織の連携について 4 農業新技術200X 等の普及について

ク 県内で開催された関係学会

開催月日	場 所	学 会 名 ・ 内 容
27.6.27	北上市(ホテルシティプラザ北上)	東北雑草研究会
27.6.8～12	盛岡市(アイーナ)	第23回果樹ウイルス性病害の国際会議(23 rd International Conference on Virus and Other Graft Transmissible Diseases of Fruit Crops) 落葉果樹(りんご、なし、おうとうなど)、小果樹(いちご、ブルーベリーなど)のウイルス性病害を対象とした国際会議
27.9.2～3	盛岡市清温荘 雫石町中央家畜市場	第41回日本短角種研究会
27.9.14～18	岩手大学	農業環境工学関連5学会2015年合同大会 (農業食料工学会、日本農業気象学会、農業施設学会、生態工学会、農業情報学会)
27.9.17～18	奥州市 前沢ふれあいセンター	第53回肉用牛研究会岩手大会
27.11.5	盛岡市 岩手大学農学部	第8回日本動物超音波技術研究大会

ケ 北東北3県農業試験研究センター企画室長等会議

開催月日	場 所	内 容
-	(幹事:秋田県)	メールによる情報交換 1 共同研究等の実施状況及び可能性分野について 2 職員交流について

Ⅱ 試験研究の推進

II 試験研究の推進

1 研究活動の概要

岩手県では、平成 21 年度から平成 30 年度までの 10 年間の計画となる「いわて県民計画」を平成 21 年 12 月に策定した。この「いわて県民計画」に基づき、農林水産部では、農林水産分野の長期的な技術開発の方針として『農林水産技術立県いわて』技術開発基本方針（以下「技術開発基本方針」という。）を策定した（平成 22 年 3 月）。

農業研究センターでは、技術開発基本方針に基づき、平成 30 年度までに取り組む具体的なアクションプラン「岩手県農業研究センター試験研究推進計画」を策定した（平成 22 年 3 月、研究期間を平成 26 年度までとして策定。平成 24 年 3 月、期間を 30 年度まで延長し改訂）。

技術開発基本方針の 6 つの農業技術開発の方向に即し、17 分野 50 の取組により、安全・安心で高品質な農畜産物を効率的・安定的に生産するための高度な技術の開発を進め、「農林水産技術立県いわて」の確立に取り組んでいる。

平成 27 年度の試験研究にあたっては、以下の 3 つの基本方針に沿って、新規 16、継続 85、合計 101（小課題数ベースで、分野を重複する小課題はカウントしている）の研究課題に取り組んだ。

1 顧客の視点に立った試験研究等業務の着実な推進

- ・所得向上につながる普及性の高い技術開発
- ・産地づくりをリードする革新的な技術開発など

2 プロジェクト研究の推進によるスピーディーな課題解決

- ・課題設定から普及定着まで、研究、行政、普及、地域が一体的に推進
- ・連携軸強化による効率的・効果的かつ戦略的な技術開発

3 情報発信の強化による県民への業務の「見える化」の推進

- ・知的財産の実用化促進
- ・研究成果活用・PR 強化

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災等への対応として設置した「震災復旧・復興支援プロジェクトチーム」を「震災復興加速プロジェクトチーム」に改組し（平成 25 年 7 月 1 日）、沿岸地域における復興に向けた技術的、経営的ニーズへの積極的対応、実証試験を通じた技術の導入・開発に取り組んだ。

また、「放射性物質に係る農業技術対策調査検討チーム」では、「県産農林水産物の放射性物質濃度の検査計画」に基づく検査及び市町村等からの依頼による検査を行うとともに、放射性セシウム除染効果の検証を行った。

県独自予算の研究に加え、競争的資金等の活用や産学官連携による共同研究を推進し、農産部門で 28 課題（うち新規 5 課題）、畜産部門で 7 課題（うち新規 5 課題）、合計 35 課題の共同研究に取り組んだ。中でも、農林水産技術会議の「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」の「中山間地域における施設園芸技術の実証研究」並びに「ブランド化を促進する農産物の生産・加工技術の実証研究」の「果樹類」及び「野菜類」の 3 課題については代表機関として、また、共同研究機関として「中小区画土地利用型営農技術の実証研究」に取り組んだ。

畜産分野では、黒毛和種の新たな基幹種雄牛として、肉質が優れる「晴奈」「照也」、肉量に優れる「百合茂勝」、肉質・肉量兼備の「花金幸」を選抜した。また、ICTを活用した大規模酪農経営における牛群管理システムの開発やほ場管理システムによる作業効率化など新たな課題に取り組んだ。

知的財産では、水稲「岩手 107 号」、りんどう「VEB-7 号」、「EB-1 号」を品種登録出願した。

本年度の試験研究から得られた成果は、内部及び外部（試験研究推進アドバイザー・生産者等）の評価を経て、44 の研究成果（普及区分 6、指導区分 20、行政区分 11、研究区分 7）にとりまとめ公表した。

機関評価委員会については、10 月 23 日に県北農業研究所（軽米町）を会場として開催し、昨年度の評価委員会における意見に対応した本年度の取組状況や試験研究の進捗状況等を報告するとともに、試験研究全般に関し意見交換を行った。

2 トピックス

(1) 特許・品種登録出願状況

区分	出願・登録内容	担当
特許	(該当なし)	—
種苗登録	水稻 銀河のしずく【出願番号 30607、登録出願 2015/11/9】 ・耐冷性・耐病性・耐倒伏性に優れる良食味品種	技術部 作物研究室
	りんどう いわて VEB-7 号【出願番号 30693、登録出願 2015/12/14】 ・7月中旬咲きの切り花用青色品種	技術部 野菜花き研究室
	同 いわて EB-1 号【出願番号 30694、登録出願 2015/12/14】 ・7月下旬～8月上旬咲きの切り花用青色品種	

(2) 表彰等受賞状況

ア 第8回北日本病害虫研究会賞防除技術・開発技術普及部門賞

病理昆虫研究室 羽田厚主任専門研究員のこれまでの研究成果と現地への普及方法が高く評価され、「リンゴ難防除病害虫「ヒメボクトウ」の防除体系確立」が第8回北日本病害虫研究会賞防除技術・開発技術普及部門賞を受賞した(平成28年2月25日)。

なお、本研究会は、病害虫防除並びに農薬に関する知識の向上および普及を図り北日本の農業の発達に寄与することを目的とし、北海道および東北6県の研究者等からなる組織であり、当表彰は、会員を対象として、毎年、優れた防除技術の開発者等に贈られるものである。

イ 研究功労者表彰

県北農業研究所の高橋好範作物研究室長は、試験研究データ等を中広く収集し、自身が行った有機物連用試験、溶脱を含めた養分収支試験に基づき、作物の土壌養分収奪量を考慮した「補給型施肥基準」を作成し、環境保全型農業推進の観点から全国的に注目される「岩手県農作物施肥管理指針」(平成21年9月)の策定に寄与した。その業績により、全国農業関係試験研究場所長会平成28年度研究功労者表彰の受賞が平成28年3月決定した。

(3) 特定課題調査検討チームによる検討及び連携プロジェクトによる研究推進

ア 特定課題検討チーム*

(*多岐にわたる課題あるいは今後重要と見込まれる事項について研究的観点から検討するチーム)

プロジェクト推進室が実施しているプロジェクト研究課題(特定課題)について、第4期目となる平成29年度以降の課題設定のための検討を実施した。

会議名	日時・場所	参集者	概要
第1回特定課題検討会(企画運営会議)	27.11.10 特別会議室	各部長、各研究所長	・過去の課題設定の経過を踏まえ、次期課題の設定に向けては、課題の在り方からの議論が必要。 ・組織、体制等は、課題の設定に対応して別途検討
第1回特定課題調査検討チーム員会議	28.1.15 特別会議室	企画管理部長、本部各研究室長、各研究所次長	・今後実施していくべき課題について、アイデア出しを実施(TN法)し、以下が抽出された。 ①水田フル活用、②軽労化・省力化・自動化(ロボット、ICT等)、③経営実証(新技術の現地普及)
第2回 ”	28.3.17 特別会議室	同上 中央普及センター(県域)普及課長(オブザーバー)	・第1回チーム員会議で抽出された項目について意見交換を実施。 ・生産構造や経営体の変化への対応が必要 ・軽労化や省力化への取組が必要(作期拡大や周年雇用) ・水田活用による新たな経営品目の導入を推進 ⇒作業技術、生産工学等の研究体制の復活が必要

イ 連携プロジェクト**

(**多岐の研究部門にまたがる研究課題を短期間に、効率よく解決するために編成するプロジェクト)

(ア)プロジェクト名及び構成

分野	プロジェクト名	研究内容	チーム員	協力
個別課題解決	リンドウこぶ症連携プロジェクト [H21～]	◎リンドウこぶ症対策に係る試験研究	環境部 技術部	・(公財)岩手生物工学研究センター ・中央農業改良普及センター
	水稲種子病害対策連携プロジェクト [H24～27]	◎水稲細菌病類を主体とした種子伝染性病害防除対策に係る試験研究並びに指導機関と連携した技術対応	環境部 技術部	・病害虫防除所 ・中央農業改良普及センター

(イ)取組概要

名称	検討内容	検討結果
リンドウこぶ症	りんどうこぶ症関連ウイルス(GKaV)の伝搬経路を探索し、こぶ症の発生原因を解明するため、連携プロジェクトを継続。GKaVの病原性について研究を進めている生工研とも連携を図る。 ○第1回チーム会議(H27.4.16) ○第2回チーム会議(H28.2.3) ○担当者会議(H27.5.13、6.4、7.16、11.12)	○第1回チーム会議 平成26年度の試験成績および平成27年度の試験計画の確認。 ○第2回チーム会議 平成27年度試験の進捗状況の確認。 研究期間を2年間延長する。 ○担当者会議 平成27年度試験の進捗状況の確認およびこれまでの知見の整理
水稲種子病害対策	平成27年度の試験成績、研究課題完了に向けた取りまとめ、研究課題終了後の問題点について協議した。 ○第1回チーム会議(H27.6.10) ○第2回チーム会議(H28.3.10)	○第1回チーム会議 6月時点の試験の進捗状況及び今後の試験計画について確認。 育苗センター等巡回結果の情報共有。 ○第2回チーム会議 研究課題完了に伴い報告書を作成する。 課題終了後も水稲種子の検査を行う。

ウ 復興加速プロジェクトチーム

平成23年3月11日に発生した東日本大地震津波で甚大な被害を被った沿岸地域の農業の復旧・復興に向けた具体的な技術支援対策を実施するため設置した「震災復旧・復興支援プロジェクトチーム」を「復興加速プロジェクトチーム」に発展改組し(平成25年7月1日)、農林水産省の委託研究予算(食料生産地域再生のための先端技術展開事業、農林水産省委託、平成25～29年度)を獲得して、復興に資する大規模な実証研究を開始した。

この実証研究は、地域の特徴に合わせた営農技術の実用化並びに経営の姿を6つの経営体における実証を通じて明らかにするものである。農商工連携や観光と結びついた高付加価値化、素材の科学的な評価や新品種を基にしたブランド化、地域の木質資源やICT技術を駆使した低コスト生産技術などを経営面からも評価しつつ総合的に組み立てて普及定着を図っていく内容で、県内外の民間企業・大学・研究機関28機関が取り組んでいる。さらに、沿岸広域振興局、大船渡農業改良普及センター及び中央農業改良普及センターが普及支援組織として協力している。

平成27年度は開始3年目となり、課題によっては一定の研究成果が得られてきた。木骨ハウスの改良による建設費の低コスト化や木質バイオマス暖房機によるイチゴの栽培安定化、りんご早期成園化のためのフェザー苗養成技術や北限のユズ安定栽培の実証、小型汎用コンバインを核とする低コスト栽培技術の実証など、非常に幅広い取り組みを展開した。また、農業経営面でも、ビジネスモデルの構築に向け、実証経営体の総合的な分析評価やコンサルティングを実施した。

3 研究室・課の動き

(1)プロジェクト推進室

水稲鉄コーティング湛水直播栽培の安定技術の開発、及び水田転換畑における大豆の安定多収を実現する新技術等の開発を行い、これらを軸に、土地利用型作物の低コスト生産技術の確立と体系化に取り組んだ。また、沿岸南部地域において「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」を実施し、沿岸地域農業の復興支援に取り組んだ。

業務推進にあたっては、競争力・社会貢献力のある技術シーズの開発を目指し、現地実証試験やビジネスパートナーとのコミュニケーションの強化によって、生産現場に即した技術の実用化を図った。

<岩手県における水稲鉄コーティング湛水直播栽培の安定栽培技術の開発>

県内で急速に普及拡大している水稲鉄コーティング湛水直播の安定栽培技術体系の確立に向け、品種別の栽培特性と栽培管理指標倒伏軽減を目的とした生育中・後期の水管理方法の検討、及び倒伏軽減を目的とした生育中・後期の水管理方法、水稲鉄コーティング湛水直播栽培の無代かき播種技術について検討した。

<県中南部における大豆難防除雑草の除草体系の構築>

委託プロジェクト研究「水田輪作における大豆・麦類の多収阻害要因の解明と安定多収化技術の確立(代表機関:(独)中央農業総合研究センター)」に参画し、国独法研究機関、関係県・民間(キューホー、ツムラ、奈良県等)の研究機関との共同研究により、水田転換畑における大豆の難防除雑草に対し、ディスク式条間・株間除草機を基幹とし、除草剤の処理技術も組み合わせ精度の高い効果的な除草体系の構築について検討した。

<食料生産地域再生のための先端技術展開事業>

「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」(中小区画土地利用型営農技術の実証研究)(代表機関:(独)東北農業研究センター)に参画し、東日本大震災からの早期復興をねらいとして、土地利用型作物の低コスト・省力・安定生産技術の実証試験を実施した。陸前高田市において水稲直播栽培技術、大豆のディスク式畦立て播種栽培体系、畦畔法面管理の省力化技術、大槌町においてソバ・ナタネのディスク式畦立て播種栽培技術を実証した。また、これらの3種の作物及び水稲を1台の小型汎用コンバイン収穫技術の実証試験を実施し、中小区画ほ場における小型汎用コンバインの導入条件・汎用利用による経費節減効果を提示した。(研究成果:指導区分 中小区画ほ場における小型汎用コンバインの導入条件)

(2)企画管理部

研究企画室

農業試験研究のアクションプランである「農業研究センター試験研究推進計画」に基づき、研究員の円滑な試験研究の支援、生産者や県民に開かれた農業研究センターを目指し、以下の事項について重点的に取り組んだ。

<顧客視点の試験研究の推進>

顧客のニーズに対応した試験研究を推進するため、中央普及センターとの作物別連携会議や現地検討会などを通じて顧客である農業者等のニーズの把握に努めた。

試験研究推進に際しては、研究課題の収集や平成23年度に制度化した試験研究推進アドバイザーを研究会議等に参集し、顧客目線での助言を得ながら課題設定や成果の取りまとめを行った。

センター運営や試験研究推進に対する外部評価を得るため設置した機関評価委員会について、10月23日に県北農業研究所において、同研究所の研究状況を視察後、昨年度の評価意見への対応状況や試験研究に関し、質疑と意見交換を行った。

平成25年度から実施している食料生産地域再生のための先端技術展開事業を適正に執行するため、職員に対して研究資金等の事務手続きや経理事務研修を行った。

競争的研究資金等への応募のため、資金情報の提供や研究計画作成への助言を行うとともに、農業改良普及センターや県庁関係課との事前調整を行った。

また、共同研究を推進するため、いわて産学官連携フォーラムへ出展し、研究シーズを大学・企業等へ紹介した。

<アウトカムを意識した研究成果の普及と情報発信>

研究センターの業務内容や研究成果の周知を図るため、マスコミへのプレスリリースやホームページにより積極的な情報発信を行なった。マスコミでの報道件数は、74件(前年62件)であった。ホームページは、年間459万件(前年430万件)

の閲覧数があり、また、研究活動の現在(いま)を分かり易く伝える「らぼ・れたあ」をメールやホームページにより年間 52 件(前年 61 件)発信した。さらに、Twitter による情報発信では、ホームページの更新情報を中心にツイート数 442 回、フォロー一増加数 212 名、同じく Facebook では投稿数 203 回、いいね！増加数 116 名であった。

センターを一般に開放する参観デーや一日子供農業研究員を開催した。

参観デーは、9 月 5 日に生物工学研究センター及び中央農業改良普及センターと合同で開催し、来場者数は約 1,800 名と前年並みであった。また、一日子供農業研究員は 8 月 1 日に岩手県立大学の辻盛生准教授を講師に「農業ふれあい公園内にある『ひょうたん池』に生息する生き物の調査」として開催し、北上市及び花巻市の小学生 20 名が参加した。

また、食料生産地域再生のための先端技術展開事業(先端プロ)における成果の普及を図るため、農業改良普及センターや生産者等を参集した現地検討会を陸前高田市等で開催した。

<専門知識と技術を有する人材育成>

研究員の資質向上については、「農業研究センター研究員育成プログラム」(平成 19 年 3 月策定)に基づき、センター研究員研修計画を策定し、この研修計画にもとづき、依頼研究員等(1 名)に研究員を派遣した。

また、同プログラムについて、平成 27 年 3 月に、より専門性の高い人材の育成に向けた依頼研究員等中期育成計画や職責に応じた到達スキルを定めるなどの改定を行った。

予算管理面では、経理事務検討チームにより構築した「新たな予算の執行管理システム」を運用して、予算管理を行うとともに、「不正防止計画」に基づいたモニタリングと内部監査の実施により適正な経理事務を支援した。また、研究備品の更新計画をローリングした。

農業経営研究室

中間年となる「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」の研究課題については、経営評価の研究の方向性を明確にするとともに、経営モデルの作成に着手した。新規課題である「元気な地域農業推進のための農業経営モデルと地域営農システム構築方策の提示」は、水稲生産費把握の取組と連動し、現地機関の連携の下に研究活動を開始した。

<外部環境の変化に対応できる持続可能な地域営農システムの構築支援>

水田作経営体を平地・中山間、家族経営・組織経営の組み合わせの 4 区分に分けて、経営実態を整理した。

<地域特性を活かした収益性の高い農業経営モデルの提示>

陸前高田市で栽培が開始された大規模施設園芸の支援を中心に、沿岸地域の地域特性を検討した。

<開発技術の経営的評価による効率的な研究推進>

「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」による実証研究の各実証技術の技術係数・経営係数を抽出するとともに、「中小区画土地利用型実証研究」における 2 つの経営モデル(30ha、100ha)を作成した。

<営農計画作成支援情報の提供>

作成した技術体系を基に、2015 年版岩手県生産技術体系が公表された。

(3) 技術部

果樹研究室

果樹は、リンゴを主体に、ブドウ、西洋ナシ、オウトウ、ブルーベリーなどの樹種に係る試験を実施している。特に、早生から晩生までを網羅するオリジナルりんご品種の開発を掲げ、「つがる」に代わる早生品種と「ふじ」に匹敵する晩生種の開発を重点課題としている。また、温暖化によるリスクの解消、軽減を図るため、凍霜害、裂果等のリスク対策の開発に努めると共に、果樹作業の軽労化につながる栽培技術の開発に向けた課題を実施している。

加えて、東日本大地震・大津波被害地域の復興を目的とした、国庫委託事業「食料生産地域再生のための先端技術展開研究」を導入し、リンゴ、ユズ、ブドウの生産・加工技術の実証研究として、センター内の他、陸前高田市に実証圃場を設置するなどし、被災地復興支援に取り組んでいる。

以上の取り組みから、今年度は以下の 5 つの研究成果を公表した。

- (1) りんごオリジナル品種「大夢」の収穫適期について、ふじ地色カラーチャート指数 4.5~5.0、ヨード反応指数 1.0~1.5、満開後日数 180~190 日、糖度 14%以上、酸度 0.45g/100ml を目安として判断することで、食味の良い状態の果実を収穫できることを明らかにした。
- (2) りんご品種「トキ」は、9 月下旬~10 月上旬に成熟する品種である。果皮を被う色は黄色で、果実は 300g 前後で円形。糖

- 度は14～17%、酸度は0.20～0.30g/100mlと甘味が強く、果汁は中～多で食味良好である。S遺伝子型はS2S9で、「つがる」「きおう」などと交雑和合性があることを明らかにした。
- (3) 「ふじ」のつる割れや内部裂果などの裂果に対する、1-ナフタレン酢酸ナトリウム水溶剤(商品名:ヒオモン水溶剤)3,000倍液の満開 20～30 日後散布の軽減効果を明らかにした。また、ヒオモン水溶剤散布による果実品質、花芽着生への影響は見られないことを明らかにした。
 - (4) ぶどうオリジナル品種「エーデルロツソ」を短梢栽培用平棚で栽培する場合、結果母枝の第 1、2 節位の発芽、花穂着生率が低くなる年があり、花穂が小さくなる傾向があることから、安定生産するために結果母枝を 3～13 芽残して主枝に結束する中長梢せん定仕立てが適することを明らかにした。
 - (5) ブルーベリー栽培において、りんご剪定枝チップを有機物マルチ資材として連年施用すると、生育良好な状態を維持できるところを明らかにした。また、土壌中の炭素や窒素などの化学成分が蓄積される傾向にあり、土壌 pH が高くなる場合には、硫黄華等の施用が必要になることも明らかにした。

作物研究室

<水稲育種チーム>

(水稲品種)

水稲の奨励品種決定調査では、本調査において粳9系統(うち非主食用米2)、糯1系統を供試し、現地調査では粳を15か所、糯を4か所で検討した。28年度の本調査に、粳の早生で「ふ系242号」、「岩手119号」、中生で「岩手113号」、「奥羽424号」、晩生で「岩手118号」、「東北215号」、「岩手121号」、糯で「ふ系糯234号」、非主食用で「岩手109号」、「岩手122号」、「青系198号」、「奥羽427号」、「みなゆたか」を供試する(試験研究成果書(行-01)、(行-02))。

(水稲育種)

いわてブランド米品種開発推進事業に取り組んでいる。生産力検定本試験から、生育・収量調査および各種特性検定試験の結果に基づき、「岩手123号」(晩生の中、極良食味)、「岩手124号」(早生の晩、多収、耐冷極強)、「岩手125号」(中生の早、良食味、良質、多収)、「岩手126号」(晩生の中、良食味、良質、多収、葉もち極強)の系統を選抜した(行-03)。

平成28年度から農林水産省・食品産業科学技術研究推進事業「ゲノム育種により有用形質を集積したイネ品種の低コスト生産技術の確立と適地拡大」および「ひとめぼれ」大規模交配集団を用いた有用遺伝子単離と遺伝子相互作用解明」に取り組む、(公財)岩手生物工学研究センターなどと連携し、分子マーカーを用いた選抜に取り組んでいる。

<作物栽培・種子チーム>

水稲・畑作物(麦類・大豆)栽培試験、品種選定、作柄解析、主要農作物(水稲・小麦・大麦・大豆)原種・原々種生産に取り組んでいる。

(水稲栽培)

水稲新品種「銀河のしずく(岩手107号)」の高品質・良食味米安定栽培法をとりまとめ(普-01)、「銀河のしずく」栽培マニュアルを中央農業普及センターとともに作成した。

作況調査・作柄解析については、所内の作況試験データ(本部および県北研究所)・現地生育データ(農業改良普及センター)・気象データ(盛岡地方気象台)・土壌栄養(生産環境研究室)・病害虫(病理昆虫研究室)・作柄(東北農政局)・品質情報(同)を総合的に解析し、次年度以降の技術対策指導に供した(指-03)。

岩手県の津波被災農地における水田雑草「コウキヤガラ」発生の確認し、研究成果にとりまとめた(指-04)。

(麦類)

麦類奨励品種決定調査では、小麦9系統、大麦5系統を供試した。小麦では「超強力小麦「銀河のちから」の高品質安定栽培法」を研究成果(指-02)としてとりまとめた。

特性検定では、麦類耐寒雪性を(独)作物研究所からの請け負いで実施した。小麦および大麦をそれぞれ65、43品種・系統を供試した。

(大豆)

大豆奨励品種決定調査では、普通大豆4系統、黒大豆1系統、青大豆1系統を供試した。

農林水産省委託プロジェクトの「実需者等のニーズに応じた加工適性と広域適応性を持つ大豆品種等の開発」(バリューアップ(大豆))において、晩播密植栽培による大規模現地試験として東北178号(収量、粒径)と刈系882号(子実品質)が有望と考えられた。また立枯性病害抵抗性検定試験には、育成系統23系統、参考12品種・系統を供試した。

(種子生産)

水稲種子生産(主要品種)では、原々種はうるち5品種、もち1品種、原種はうるち8品種、もち2品種1,663kgを生産した。また、「銀河のしずく(岩手107号)」の一般種子を5,680kg配布した。

小麦では、原々種2品種、原種3品種を2,820kg生産した。大豆原々種3品種、原種は3品種生産した。また、小豆の原々

種1品種47kg生産した。

野菜花き研究室

野菜花き研究室では、「農林水産技術立県いわて」の確立のため、以下の基本方針に沿って野菜および花きの2チーム体制で試験研究に取り組んでいる。(1)顧客の視点に立った園芸品目の省力・低コスト生産技術の開発、(2)消費ニーズ及び将来の動向を見越した本県に適する花き(リンドウ)新品種の選抜・育成、(3)生産の安定に直結する優良な原種苗等の正確かつ安定的な供給

<野菜チーム>

野菜は、「主要野菜の収益性を向上する革新技術、高付加価値化技術の開発」を推進するため、果菜類では、雨よけトマトの草勢管理技術、抵抗性台木を用いたピーマンの安定生産技術、ハクサイの新品種・作型の開発、高温による休眠打破を利用した促成アスパラガス栽培技術の確立に向けた課題に取り組み、この内、促成アスパラガスは、国内生産がほとんどない11月に出荷可能な作型を可能にする、新たな栽培技術を明らかとした(平成27年度研究成果)。

また、平成25年度からは東日本大地震・大津波被害地域の復興を目的とした、国庫委託事業「食料生産地域再生のための先端技術展開研究」を導入し、キュウリ、パプリカ、トマトの生産・加工技術の実証研究として、センター内の他、陸前高田市・大槌町に実証圃場を設置し、被災地復興支援に取り組んでいる。

キュウリでは、安価な「かん水同時施肥装置」を活用し、現地で露地夏秋作型キュウリの栽培を行い、装置の性能に問題はなく、慣行栽培と同等の収量が得られることを確認した。また、新形質キュウリであるベイトアルファ型キュウリは初期収量が優れていることを明らかにしたほか、試験販売を通じて、消費者のベイトアルファ型キュウリに対する良好な評価を得た。

パプリカは、本県の夏期冷涼な気象を活かすとともに、沿岸被災地域の水稲育苗施設の高度利用を図るため、簡易な隔離床栽培法を考案し、安定生産技術の確立を図っている。また、短い栽培期間で収量をあげるため、収量性に優れる品種の選定や摘心方法、台木の利用等について検討を行っている。

トマトでは、省力的で収量が高い栽培技術として、露地放任ネット誘引栽培(ソバージュ栽培)の改良を行い、直立ネット誘引により収量が向上すること、作業性が改善することを明らかとした(平成26、27年度研究成果)。

<花きチーム>

花きは、「日本一のリンドウ産地を支えるオリジナル新品種の開発、安定生産技術の開発」を目指し、主産地としての優位性を維持するために、リンドウに重点を置いた品種、技術の開発を行っている。特に、市場の需要を満たし、さらには需要を作り出すためのオリジナル品種開発を最重点課題としている。

また、これまでに開発したオリジナル品種の原々種維持、原種増殖と種苗センターへの供給、生産性の高い省力・低コスト安定生産技術の確立に向けた課題を実施している。

リンドウの品種開発では、有望F₁系統の組合せ検定を実施し、品質の低下が見られる既存品種に置き換わる、品質、揃いに優れた新品種を順次開発しており、新たな品種構成による継続した出荷が可能となりつつある。

本年度は、8月上中旬に開花する青色切花品種「いわてEB-2号」、8月中旬に開花する青色切花品種「いわてMB-2号」を育成した(平成27年度研究成果)。

純系リンドウとDNAマーカーを利用した品種育成技術を活用し、未受精胚珠の培養により得られた倍加半数体個体から採種し、純系を用いたF₁採種を目指して、特性調査を進めている。リンドウ種子供給に関して、原々種の安定採種、親株の大量増殖と供給に取り組み、ほぼ計画数量どおりの親株を種苗センターに供給した。これら採種親株の管理について、種苗センター現地ほ場を確認しながら、検討会を実施した。

南部園芸研究室

南部園芸研究室では平成23年3月11日に発生した震災により研究施設等が全壊・流失したが平成26年1月6日に再建し、陸前高田市で業務を再開した。夏季冷涼、冬季温暖な気象特性を生かした園芸産地の育成と被災した沿岸地域農業の復興を支援する技術拠点として、地域に密着した研究と技術指導を実施している。

イチゴの品種比較試験は、東北農業研究センターと共同で実施しているもので、四季成り性品種の夏秋どり作型、低温カット栽培や無加温促成栽培に適した一季成り性品種の選定を行なっている。昨年度導入した系統について、各系統の特性を明らかにするとともに有望系統を見出し現地適応性を評価するために現地試験を実施している。

「中山間地域における施設園芸技術の実証研究」は、東日本大地震・大津波被害地域の復興を目的とした、国庫委託事業「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」により実施しているものである。3年目の中間年となり、それぞれの目標到達に向けて実証研究を継続している。

木骨ハウスについては、これまでの栽培実証をもとに課題を整理し、構造、工法の改良により採光性等の改善を図った新規

木骨ハウスを建設した。この木骨ハウスの特性について研究成果としてとりまとめた(平成 27 年度研究成果)。

バイオマス加温機については、能力および局所加温の効果を確認し、また、燃焼制御により燃焼時間の延長、コストの削減について前年を上回る結果が得られたが灯油の価格が低下している現況では目標のコスト削減は難しい状況にある。

トマト、イチゴの総合実証では目標収量に到達できていないものの、最適な作型、技術の適応について検討している。

(4) 環境部

生産環境研究室

生産環境研究室では、①土壌養分の蓄積に対応した効率的な施肥管理技術の開発、②高品質な農産物の安定生産・供給のための肥培管理技術の確立を柱とした研究課題に取り組んだ。また、東日本大震災の津波によって被災した農地の復旧・復興対策として国庫委託事業「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」を活用し、復旧水田での水稻の安定生産実証に取り組んだ。

土壌養分の蓄積に対応した効率的な施肥管理技術の開発としては、国庫委託事業「収益力向上のための研究開発事業」の構成機関として、雨よけトマトにおける土壌中の可給態窒素を評価した窒素の適正施肥体系確立に取り組んだ。あわせて、リン酸、カリの既存の減肥基準の検証として、カリ水準の異なる土壌(ドレンベッド)での影響試験を実施した。りんごでの補給型施肥の実証調査として、場内及び現地 3 カ所で処理 2 年目の傾向を継続調査した。また、指導区分の試験研究成果として「大豆の補給型施肥による生育及び収量」をとりまとめた。

高品質な農産物の安定生産・供給のための肥培管理技術の確立としては、県内に広く普及してきた水稻の鉄コーティング湛水直播用の施肥技術確立のため、被覆肥料の組み合わせを検討した。また、極良食味米として期待されている岩手 118 号の玄米タンパクをあげない施肥管理法について試験した。さらに、水田転作での小麦について、収量や品質に課題が残されていることから、あらためて窒素施肥体系の試験を行った。

さらに、現地からの要望対応として、野菜及び花きの鮮度保持に関する試験課題を設定し、ナス及びリンドウを対象に現地及び関係機関と連携して取り組んだ。

震災復興対策の試験として陸前高田での復旧農地での安定生産実証試験から指導区分の試験研究成果をとりまとめた。

試験研究以外の取り組みとしては、東京電力福島第一原子力発電所の事故に伴う、県産農林水産物の放射性物質検査として、野菜、果実、畜産物、林産物など年間 660 点の測定を実施し、県による検査結果として公表された。加えて、調査研究目的として関係機関からの依頼試料約 400 点の測定を実施した。また、農地土壌のモニタリング調査として、同一ほ場 73 地点において、5 年目の継続調査を行い、おおむね理論通りに放射性セシウムが減衰していることを明らかにした。

病理昆虫研究室

持続性が高く安定性のある農業生産を目指した病害虫制御技術を確立するため、環境負荷軽減を目指した効率的な化学的病害虫防除技術、生物的防除など環境にやさしい病害虫防除技術及び病害虫総合管理技術(IPM)の開発に取り組んだ。水稻分野では、水稻種子生産における種子予措～育苗期のみみ枯細菌病およびばか苗病防除体系を研究成果(行政)として取りまとめた。また、イネのみみ枯細菌病菌の保菌状況を簡易に把握するための培地検定法について検討し、学会で発表(平成 28 年度植物病理学会大会)するとともに研究成果(行政)として取りまとめた。

鉄コーティング湛水直播栽培においては、鉄コーティング処理が細菌病を抑制する可能性を示唆したほか、いもち病用パック剤の防除効果が安定しない事例を把握するとともに現地圃場においてイネミズゾウムシの直播圃場における侵入時期などを調査し、学会で発表した(第 69 回北日本病害虫研究会)。

畑作分野では、ダイズの晩播栽培においてはダイズサヤタマバエの発生が多くなる事を確認した。また、ホップにおける農薬登録拡大を目指し、「地域特産作物への農薬適用拡大加速化事業」に取り組む岩手県ホップ連合会を支援した。

野菜分野では、ピーマンにおいては、現地で活用できる可能性のある土着天敵の発生時期を明らかにするとともに、物理的防除資材がこれら土着天敵の侵入に影響している可能性を示唆し、学会で発表した(第 25 回天敵利用研究会)。

果樹分野では、落花期の散布でもヒメボクトウに対するフルベンジアミド剤の防除効果が高いことを明らかにし研究成果(指導)として取りまとめた。

花き分野では、りんどう主産地において、QoI 剤に対してリンドウ黒斑病の感受性低下傾向があることを示し学会で発表した(第 69 回北日本病害虫研究会)。

なお、学会等には積極的に参加し、天敵利用研究会 1 件、日本ダニ学会 1 件、日本応用動物昆虫学会 1 件、北日本病害虫研究会では 4 件について口頭発表、2 件についてポスター発表し、本県の成果を PR した。

(5) 病害虫防除部

病害虫防除課

(病害虫発生予察)

水稻、麦類、大豆、りんご、きゅうり、キャベツ、ねぎ、りんどうを対象として発生予察調査等に基づき、7回の定期情報に加え、注意報を6回(水稻:斑点米カメムシ類、いもち病、りんご:ハダニ類、ねぎ:ネギアザミウマ・ネギハモグリバエ、きゅうり:べと病、りんどう:ハダニ類)発表した。また、防除速報を11回(水稻:斑点米カメムシ類(2回)、取置苗いもち病、葉いもち(2回)、小麦:赤かび病、大豆:ダイズシストセンチュウ、りんご:モニリア病、野菜・花き類:オオタバコガ、ねぎ:ネギアザミウマ・ネギハモグリバエ、りんどう:リンドウホソハマキ)発行した。これらの情報については、電子メール、印刷物のほか、いわてアグリベンチャーネットにも掲載し、関係機関・団体、共同防除組織等に提供した。

(病害虫防除指導)

効率的な薬剤防除並びに生物的防除法、耕種的防除法および物理的防除法を組み入れた総合防除の地域への定着を図り、環境に配慮した持続的農業を推進するため、病害虫防除員、関係機関・団体と緊密な連携をとりながら、効率的な防除の実施を推進した。

また、病害虫防除実績検討会を開催し、主要病害虫の発生要因解析を行うとともに、各地域で問題となっている病害虫の発生状況と対策について協議した。

水稻の病害虫防除指導においては、各地方の病害虫防除員協議会および病害虫防除連絡協議会、市町村病害虫防除協議会、稲作部会等が中心となり、地域の一斉点検調査を行い、その結果及び発生予察情報に基づき防除指導を行っているが、これらに対し随時支援・指導を行った。また、巡回調査地点の農家89件の防除実績等を収集し、発生要因解析を行い、次年度以降の防除指導の資とした。

園芸作物では、りんごについて地域の防除暦作成にあたって普及センター担当者等とともに、検討を行った。また、県内71の共同防除組合等から防除実績を収集、解析して次年度の防除計画の改善に資した。野菜では23件、りんどうは14件の農家の防除実績を収集し同様に次年度の防除計画に資した。

病害虫防除員に対しては、普通作物について、地域における発生予察活動および防除指導の推進に重点をおき、各地域の関係機関等と連携した予察調査および防除指導の展開について指導支援を行った。また、病害虫防除実績検討会および諸会議、研修会等への参加を呼びかけ情報の共有と資質の向上を図った。

重要性が増してきている病害虫診断は、65件の依頼に対応した。作物別の内訳は、野菜が最も多く(67.7%)、次に花き(18.4%)、普通作物(10.8%)、果樹(3.1%)の順であった。原因別では、病害が49.2%、虫害が7.7%等であった。

(農薬適正使用指導)

農薬の適正な販売や使用を徹底するために、農薬の販売者や使用者に対する研修会を関係機関・団体と共同で開催した(6月23日、参加者230名)。また、農薬取締法に基づき、農薬販売者への立入検査を実施するとともに(303件)、農薬使用基準違反のあった使用者に対し指導を行った(6件)。

(6) 畜産研究所

家畜育種研究室

<家畜育種>

(肉用牛) 日本短角種:種雄牛造成ではH26直接検定牛15頭(平均DG1.52kg)から、現場後代検定用6頭(選抜率40%、平均DG1.55kg)を選抜した。現場後代検定ではH23交配種雄牛5頭(「高笹」、「川藤」、「高錦」、「藤良福」、「高見31」)の成績を公表した。

また、黒毛和種肥育牛において、肥育前期(9~12か月)に大豆粕を添加して飼料乾物中CPを15%に高めると肥育前期の増体が向上した。

(養豚) 当所及び生産農場の種豚群の血統情報・産肉成績を一元的に集約し、交配の最適な組み合わせを試算できる「新・豚交配管理支援ソフト」を作成し、近交係数の上昇を抑制し、産肉能力を向上する農場間交配計画の提案が可能となる「B種豚能力改良システム」を構築した。また、機能性成分であるGABA(γ-アミノ酪酸)を多く含む発芽粳米の給与試験を実施した。結果、発芽粳米給与区では、日増体量及び背脂肪厚が低下した。

(養鶏) 南部かしわ母鶏生産用ロードアイランドレッド(RIR)を改良するため、(独)家畜改良センター岡崎牧場(YC)からの導入RIR鶏と保有する岩手大型RIR(M)を交配して得られた後代鶏の基礎集団(G0)の能力調査を行った。基礎集団(G0)の150日齢体重は、雄3,125g、雌2,146gであり、導入RIR鶏(YC)より、増加した。産卵率では150~270日齢間90.6%とRIR(M)の同期68%よりも能力が高かった。

<家畜工学>

(遺伝子解析)肉用牛改良に有用なマーカー検出のため、一塩基多型(SNP)を用いたゲノムワイド連鎖解析を実施した。黒毛和種 367 頭の解析の結果、枝肉重量(6、14 番染色体 3SNP)、BMSNo.(13 番染色体 2SNP)、ロース芯面積(10、14 番染色体 2SNP)に関連する SNP を検出した。また、日本短角種 278 頭の解析の結果、枝肉重量(16 番染色体、3SNP)、しまり(1 番染色体 2SNP)、きめ(3、15 番染色体 2SNP)に関連する SNP を検出した。

(受精卵移植)黒毛和種:受胎性を高める新たな牛胚形態評価法を確立するため、パーコール濃度 15%の PBS 溶液を用いて、胚の品質を評価した。結果、収縮桑実胚及び初期胚盤胞においては、パーコール分画 15%以上となった胚で培養後の生存率(78.4%)及び受胎率(88.9%)が高いことが判明した。

家畜飼養・飼料研究室

<飼養>

子牛の発育改善に係る子牛への初乳給与を 2 日間実施するによる発育改善の効果について、試験区 26 頭(♀15♂11)と対照区 27 頭(♀15♂12)において、離乳時、100 日齢時、200 日齢時、300 日齢時までの日増体は、いずれも差が無かった。

トウモロコシ子実サイレージの給与技術の開発において、消化性について乾乳牛で給与試験を行った結果、未粉碎区の未消化子実排泄率が 13.1%であったが、粉碎区は 0.8%であった。産乳性について、泌乳中期の搾乳牛で給与飼料中のとうもろこし圧パンを子実トウモロコシに代替した試験区と慣行区を設定し給与試験を行った

牛加速度センサー・咀嚼計等を活用した省力牛群管理技術の確立では、生体センサーによる発情牛検知は発情牛 20 頭のうち 19 頭について検出できた。体調不良牛検知は、食欲不振 6 頭、肢蹄障害 1 頭の 7 頭全ての牛で反芻減少を検知できた。

<飼料>

近赤外線等を活用した自給飼料の迅速な成分分析手法の確立については、新検量線の精度検証を行った結果、水分、粗タンパク、粗脂肪、NDF は実用可能な精度であるが、ADF、粗繊維等が精度低いことを確認した。希塩酸抽出法による簡易ミネラル分析は、灰化法と同等の精度で、1/4 の測定時間でイネ科乾草について推定可能であることを確認した。

イタリアンライグラスの品種選定については、東北 5 号、東北 6 号、ワセアオバは、越冬率 10%未満で乾物収量は 2~185 kg/10a と低く、普及は見込めない水準であることを確認。

圃場管理支援システムによる作業実態調査手法の確立については、飼料生産作業に合わせた作業項目選択および設定について明確にした。外部支援組織の実態調査では、作業記録の記帳、分析が十分でない実態を把握し、農業公社のコントラクター稼働状況について、とうもろこし収穫作業時に調査し収穫機の稼働率が低いという課題を提示した。

不耕起栽培における施肥管理技術の検討については、不耕起播種前の堆肥に施用量について検討した結果、堆肥 3t 及び 5t/10a 区は、堆肥 10t 区に比較し収量が高かったが慣行に比較すると低くなった。

春期草地更新技術の検討は、作溝式播種機による春播種は、播種深度深いため発芽・定着率が大きく低下することを確認。春播種技術は、気象(降雨等)により発芽・定着が大きく左右されること、定着悪い場合の播き直し方法等の試験結果を整理し、技術情報として取りまとめた。

アレチウリ防除技術として、不耕起栽培による 2 年目の試験を実施したが、7 葉期の除草剤アルファードの処理の効果により、アレチウリ本数は不耕起、耕起区とも少なく推移した。

<牧草の放射線対策>

耕起困難地に及び除染草地おけるカリの表層施肥において、標準施肥量の 3 倍量施用した場合、塩化カリおよび緩効性カリどちらを利用してもセシウム低減効果が確認できたが、ミネラルバランスが崩れテタニー比が上昇することを確認した。

耕起困難草地の利用対策について、放牧による草地再生を実施した結果、既存植生処理に 640~680CD、播種後の鎮圧に 480~640CD の放牧圧を要し、9 月初旬までに播種する必要があることを確認した。

外山畜産研究室

<飼養>

電気牧柵活用の取組から、①放牧地での脱柵防止効果が高い。②飼料畑では電線の張り方を工夫することで野生動物の獣害防止効果が高まる。③牛舎周辺の斜面の草資源利用と育成牛の運動に役立つ。といった知見を得、日常業務にも役立てることができた。

牛白血病清浄化対策として、夏期の分離放牧や、直腸検査手袋の交換といった対策に加え、繁殖牛の分娩牛舎内管理において、殺虫効果のあるネットを陽性牛と陰性牛の間に設置する試みを行った。今年度は繁殖牛120頭弱を飼養しているが、これまで牛白血病ウイルス陰性牛の抗体陽転例はなかった。

<飼料>

放牧地の春期更新時にオーチャードグラス(OG)とイタリアンライグラス(IR)の極早生種を混播した場合に、更新初年度からの放牧が可能となり、OGの定着率も高いことを明らかにした。

低温性乳酸菌添加による牧草サイレージおよび発酵TMRの品質向上のために、有望性が確認された菌株を用い、秋期に収穫した牧草や発酵TMRへの実規模添加試験を実施した結果、良質なサイレージが調整できた。

放射性物質の影響により、除染のための更新作業が必要となりながら急傾斜地があるために、牧草中の放射性物質濃度が規制値以下であることを確認するまで利用休止していた放牧地について、残存していた前植生の処理と牧草播種後の鎮圧を家畜で行う、「蹄耕法」を活用した草地更新に取り組んだ。「蹄耕法」は林地伐採後や野草地の草地化に古くから用いられた手法であるが、簡易な電気牧柵を利用することで、小頭数でも牧草の発芽までは確認し、再生手法として手軽に利用可能であると期待される。次年度以降は、越冬後の状況確認と、播種時期などについて引き続き検討を行う。

種山畜産研究室

<いわて和牛改良増殖対策事業>

黒毛和種改良事業の一環として、県内産黒毛和種種雄牛候補12頭を選定するとともに畜産研究所生産の受精卵雄産子等1頭計13頭の直接検定を実施し、後代検定を実施する候補種雄牛として5頭(「安久勝」「百合安勝」「勝忠久」「第5慧高」「富貴」)を選抜した。

また、平成22年度の直接検定により選抜された「優成」「平安雪」「百合茂勝」「晴奈」「照也」の5種雄牛について現場後代検定を実施し、うち肉質が優れる「晴奈」「照也」、肉量に優れる「百合茂勝」を新たに基幹種雄牛として選抜した。

さらに、平成21年度直接検定により選抜、平成24年度に現場後代検定開始、平成26年度に選抜保留していた、質量兼備の「花金幸」も基幹種雄牛に選抜した。

<県有種雄牛の情報発信>

市場成績(毎月)、たねやま種雄牛だより(毎月)を発行し、ホームページに公開、家畜市場等において配布した。

また、毎月の市場開催日に生産者からの要望に応え、育種価情報の提供に努めたほか、家畜人工授精師等を対象として、種雄牛の能力情報等をダイレクトメールで配信した。

(7) 県北農業研究所

園芸研究室

県北・沿岸地域の立地特性を活用した園芸作物の安定生産技術の確立に向け、野菜では試験研究要望課題に対応して、主要品目のほうれんそうについては、ウリハムシモドキ、アザミウマ類など多様な害虫の発生に応じた防除技術の確立及び、軽労生産システムの確立に向けた研究を開始し、生食用の露地栽培法の確立に継続して取り組んだ。軽労生産システムについては、雨よけ栽培の軽作業化、省力化に向けた乗用管理機を中心とした作業機械とこれらに適合するパイプハウスの構造を明らかにして研究成果とした。

ほうれんそうについては、付加価値を高める技術として、岩手生物工学研究センター、宮城県農業・園芸総合研究所との共同研究により、新設された機能性表示食品の制度へ対応するため、目の健康維持に役立つ成分「ルテイン」に着目した試験を場

内及び久慈地域において実施し、各作型における主要品種等の含量や、サンプリング方法、収穫後の保管の影響を明らかにした。

露地の主要品目であるキャベツについては、産地の農業改良普及センターからの要望課題に対応して、10月収穫に適する春系品種の検討を開始した。この研究では、普及センターを通して産地の専門部会と連携しながら、現地での品種比較調査や検討委員会に参画して情報共有を図った。

たまねぎ春まき栽培技術については、前年度の成果を踏まえて試験を継続し、ネギアザミウマの葉身への加害が収量を大きく低下させること及び有効薬剤を明らかにして指導区分の成果として公表した。また、一定規模の経営に必要な全自動移植機による定植に対応するため、448穴セルトレイでの良質苗生産技術の検討を行った。

水稻育苗プールを利用したミズナ、リーフレタスの水耕栽培の試験を継続し、作物ごとの栽培可能期間などが明らかになりつつある。試験経過は一般公開デーで農業普及員に説明し意見交換を行った。

花きについては、リンドウ新品種の育成に技術部野菜花き研究室と連携して取組み、頂花房が開花しやすく、形質・開花の斉一性が高いお盆需要向け品種「いわて EB-2 号」を共同で育成した。また、リンドウ極早生品種の株養成技術として、全茎収穫後のジベレリン処理について、場内と九戸村の現地圃場において検討を継続した。

これらの研究の過程で、ほうれんそうでは園芸産地改革戦略推進会議技術対策部会や普及センターや JA の研修会に積極的に参画し、成果作成に役立てるとともに迅速な普及を図った。また、八幡平、久慈、二戸農業改良普及センターの野菜担当者との間でラウンドテーブルをそれぞれ開催し、研究課題や地域課題とその解決方策について共有を図った。

作物研究室

平成 26 年度から実施している「雑穀の高付加価値化に向けた機能性成分の高い品種育成と低コスト栽培技術の開発」については、アワ EMS 突然変異集団 (M3) 及び広島県立大のアワ遺伝資源の形質評価と選抜等を行った。突然変異系統については特に有望な 2 個体の短稈系統など 138 個体を選抜した。また、しなのつぶ姫/ゆいこがねの F₂ 集団から短稈個体を 56 個体選抜した他、QTL-seq 解析により第 5 染色体に稈長を低くする領域があることを確認した。栽培に関する課題では兼用型的水稲用ポット苗田植機の改良を実施し、現地研修会で実演を行った他、所内で移植試験を行い、60 分/10a 程度で移植作業ができた。アワノメイガ被害等により慣行栽培との収量比較は出来なかった。また、「アワのルテインの機能性表示に向けた実証」に取り組み、ゆいこがねにおけるルテイン含量を高く保ちつつ収量を確保できる収穫適期を明らかにした。また、玄穀のルテイン含量は色彩色差計の測定値 (b*値) と高い相関があり簡易分析が可能であることを明らかにし、今年度の試験研究成果書として取りまとめた。

農産部門依存から多角化を図ろうとする営農組織を対象に、「県北・沿岸地域の生産性・収益性の高い組織営農モデルの育成」に取り組み、乾田直播の実施およびダイズの多収試験を実施した。乾田直はについては移植栽培並の収量を確保したが、除草剤使用回数の低減等さらなる低コスト・省力化が課題である。大豆については、は種後の乾燥等による出芽不良等の影響により坪刈り収量で 285 kg/10a 程度に止まった。

新規課題として「大豆・薬用作物における条間・株間除草機を活用した除草体系の構築」を実施した。難防除雑草であるアレチウリは岩手県北地域においても発生が拡大しており、4 月から長期間発生することを確認した。大豆ほ場内のアレチウリは条間・株間除草機によって効率良く除草できることを明らかにした。また薬用作物センキュウについて除草剤試験を行い薬害も無く、実用性が高いことを確認した。また、センキュウに対して条間・株間除草による除草試験を行い、株間の除草が可能で生産物の品質・収量も慣行の手取り除草と同等であることを明らかにした。

雑穀の原種生産については、アワ 2 系統については予定通り採種したが、ヒエについては黒穂病の発生が多かったため、採種は見合わせた。数年置きに実施している水稻品種かけはしの原種生産を行い、水稻、小麦、大豆の奨励品種決定調査を実施した。ふ系糯 234 号の特性を明らかにし、栽培法の試験も開始した。作況調査・作柄解析についても実施し、本部作物研究室との連名で成果情報を提供した。

県北広域振興局と協働で地域ブランド商品創出事業に取り組み、雑穀新品種「ゆいこがね」、「ひめこがね」の販路拡大を図るため、首都圏の健康食品企業等を対象にした説明会で PR を行った。また、低アミロース米「きらほ」の販路拡大を図るため、県内及び八戸の食品企業等への紹介会に対応した。

また、八幡平、久慈、二戸農業改良普及センターの作物担当者との間でラウンドテーブルをそれぞれ開催し、研究課題や地域課題とその解決方策について共有を図り、各種研修会等へも積極的に参加した。また、INS いわて雑穀研究会を通じて雑穀に関する情報提供を随時行った。

4 平成27年度試験研究課題

(1) 細目課題分類

研究推進計画分野 担当部所	総課題数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
		農業構造・経営管理	水稲	畑作物	果樹	野菜	花き	作業技術	環境保全	土壌作物栄養	病害虫制御	乳用牛	肉用牛	中小家畜（豚・鶏）	草地・飼料作物	畜産環境	県北農業振興	震災復興
プロジェクト推進室	12		2					2		2	2							4
企画管理部	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
農業経営研究室	5	5																
技術部	117	0	44	12	31	13	8	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	7
果樹研究室	32				31						1							
作物研究室	56		44	12														
野菜花き研究室	22					13	5		1									3
南部園芸研究室	7						3											4
環境部	51	0	0	1	6	3	4	0	4	11	19	0	0	0	0	0	0	3
生産環境研究室	17			1			1		4	11								
病理昆虫研究室	34				6	3	3				19							3
畜産研究所	25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	9	3	10	0	0	0
家畜育種研究室	9												6	3				
家畜飼養・飼料研究室	10											3			7			
外山畜産研究室	3														3			
種山畜産研究室	3												3					
県北農業研究所	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	0
園芸研究室	10																10	
作物研究室	7																7	
総計	227	5	46	13	37	16	12	2	5	13	22	3	9	3	10	0	17	14

※複数の分野に再掲されている研究課題はそれぞれに計上。

複数の担当研究室がある研究課題はそれぞれに計上。

(2) 試験研究課題一覧

凡 例

- ・主査: 小課題の主査研究室
- ・No.: 小課題の連番、課題毎の固有番号はそれぞれの課題名の先頭に()表記
- ・課題: (課題番号)課題名を記載、小課題は太字表示
※ 課題番号: 細目課題は1000番代表記、細目1～4まで各桁毎の表記
- ・開始・終了: 課題の実施～終了年数
- ・予算区分: 国庫補助; 国庫補助事業、国庫委託; 国庫委託事業、独法委託; 独法委託事業、民間委託; 民間委託事業
令達; 令達予算研究、県単研究; 県単予算予算、県単採種; 主要農作物採種管理費
- ・担当: 小課題、細目課題の担当研究室名

主査 研究室	連番	(課題番号)課題名	開始	終了	予算区分	担当研究室
【プロジェクト推進室】						
プロジェクト	1	(H25-11)中小区画土地利用型営農技術の実証研究	25	29	独法委託	プロジェクト
プロジェクト		(H25-11-1000)分散する小規模水田における省力・低コスト栽培技術の実証	25	29	独法委託	プロジェクト、生産環境、作物(技術)
プロジェクト		(H25-11-1100)復旧水田での地力改善による水稻の安定生産実証	25	27	独法委託	生産環境
プロジェクト		(H25-11-1200)水稻生産の省力化・低コスト化技術の実証	25	29	独法委託	プロジェクト、生産環境
プロジェクト		(H25-11-1200)水稻生産の省力化・低コスト化技術の実証	25	29	独法委託	プロジェクト
プロジェクト		(H25-11-1200)水稻生産の省力化・低コスト化技術の実証	26	29	独法委託	生産環境
プロジェクト		(H25-11-1300)直播適性品種有望系統の導入と地域適応性の検討	25	27	独法委託	作物(技術)
プロジェクト		(H25-11-2000)ソバなど省力的な土地利用型作物の安定生産技術の実証	25	29	独法委託	プロジェクト
プロジェクト		(H25-11-2100)省力生産を前提にした安定多収栽培技術の実証	25	29	独法委託	プロジェクト
プロジェクト		(H25-11-2200)省力・低コスト収穫作業体系の実証	25	28	独法委託	プロジェクト
プロジェクト		(H25-11-3000)中山間水田における畦畔法面の省力管理技術の実証研究	25	29	独法委託	プロジェクト
プロジェクト		(H25-11-3100)畦畔法面の植生転換による管理作業の省力化	25	29	独法委託	プロジェクト
プロジェクト		(H25-11-4000)加工ブランドに適した稲、大豆の新品種の導入と高品質栽培技術の実証	25	29	独法委託	作物(技術)
プロジェクト		(H25-11-4100)夏季冷涼気候に対応した水稻高品質安定栽培技術の実証	25	29	独法委託	作物(技術)
プロジェクト		(H25-11-4200)夏季冷涼気候に対応した大豆高品質安定栽培技術の実証	25	29	独法委託	作物(技術)
プロジェクト	2	(H26-12)岩手県における鉄コーティング種子の無代かき灌水直播栽培方の確立	26	28	民間委託	プロジェクト
プロジェクト	3	(H27-01)岩手県における水稻鉄コーティング灌水直播の安定栽培技術体系の確立	27	29	県単研究	プロジェクト、作物(技術)、生産環境、病理昆虫
プロジェクト		(H27-01-1000)安定生産を実現する栽培管理技術の確立	27	29	県単研究	プロジェクト、作物(技術)、生産環境
プロジェクト		(H27-01-2000)鉄コーティング灌水直播栽培における病害虫防除技術の確立	27	29	県単研究	病理昆虫
【農業経営研究室】						
農業経営	4	(H21-04)農業技術体系データベースの整備・拡充	21	30	県単研究	農業経営
農業経営	5	(H24-02)沿岸地域農業の復興に向けた新たなビジネスモデルの構築	24	28	県単研究	農業経営
農業経営	6	(H25-15)農業経営における先端技術導入効果の解明	25	29	独法委託	農業経営
農業経営	7	(H26-12)営農モデル及び地域営農システムの構築	26	30	県単研究	農業経営
農業経営	8	(H27-02)元気な地域農業推進のための農業経営モデルと地域営農システム構築方策の提示	27	30	県単研究	農業経営

主査 研究室	連番	(課題番号)課題名	開始	終了	予算区分	担当研究室
【作物研究室】						
作物(技術)	9	(803)水稲奨励品種決定調査	14	30	県単採種	作物(技術)
作物(技術)		(803-1000)予備調査	14	30	県単採種	作物(技術)
作物(技術)		(803-1100)中晩生系統	14	30	県単採種	作物(技術)
作物(技術)		(803-1200)早生系統	14	30	県単採種	作物(県北)
作物(技術)		(803-2000)本調査	14	30	県単採種	作物(技術)
作物(技術)		(803-2100)中晩生系統	14	30	県単採種	作物(技術)
作物(技術)		(803-2200)早生系統	14	30	県単採種	作物(県北)
作物(技術)		(803-3000)現地調査	14	30	県単採種	作物(技術)
作物(技術)		(803-4000)有望系統の栽培法	14	30	県単採種	作物(技術)
作物(技術)	10	(805)水稲作況調査と作柄成立要因の解析	14	30	県単研究	作物(技術)
作物(技術)		(805-1000)水稲作況調査	14	30	県単研究	作物(技術)
作物(技術)		(805-1100)県央・県南地域	14	30	県単研究	作物(技術)
作物(技術)		(805-1200)県北地域	14	30	県単研究	作物(県北)
作物(技術)		(805-2000)水稲優良品種の気象反応試験	14	30	県単研究	作物(技術)
作物(技術)		(805-2100)県央・県南地域	14	30	県単研究	作物(技術)
作物(技術)		(805-2200)県北地域	14	30	県単研究	作物(県北)
作物(技術)		(805-3000)水稲作柄成立要因の解析	14	30	県単研究	作物(技術)
作物(技術)	11	(61)水稲原々種生産	S29	30	県単採種	作物(技術)
作物(技術)	12	(62)水稲原種生産	S29	30	県単採種	作物(技術)
作物(技術)	13	(807)水田雑草の効果的防除技術の開発	14	30	民間委託	作物(技術)
作物(技術)		(807-1000)水稲作用除草剤第2次適用性試験	14	30	民間委託	作物(技術)
作物(技術)		(807-1100)県央・県南地域	14	30	民間委託	作物(技術)
作物(技術)		(807-1200)県北地域	14	30	民間委託	作物(県北)
作物(技術)	14	(H22-rb01)主食用米等品種の育成(コシヒカリを超える米)	S59	30	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-1000)交配母本評価と交配	S63	30	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-2000)初期世代養成	S63	30	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-3000)個体選抜	S63	30	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-4000)系統選抜	S63	30	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-4100)単独系統	S63	30	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-4200)生産力検定予備試験系統群	S63	30	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-4300)生産力検定本試験系統群	S63	30	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-5000)生産力検定	S63	30	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-5100)生産力検定予備試験	S63	30	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-5200)生産力検定本試験	S63	30	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-5300)生産力検定試験早生系統	S63	30	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-6000)特性検定試験	S63	30	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-6100)いもち病真性抵抗性遺伝子型推定	S63	30	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-6200)葉いもち圃場抵抗性検定試験	S63	30	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-6300)穂いもち圃場抵抗性検定試験	S63	30	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-6400)耐冷性検定試験(育成系統)	S63	30	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-6500)食味官能試験	S63	30	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-6600)食味関連成分分析及び物性試験	S63	30	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-6700)穂発芽検定試験	S63	30	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-6800)直播適性	S63	30	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-7000)DNAマーカー等先端技術利用	S63	30	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-8000)育成系統採種	S63	30	令達	作物(技術)

主査 研究室	連番	(課題番号)課題名	開始	終了	予算区分	担当研究室
作物(技術)	15	(H26-19)耐冷性やいもち病抵抗性を強化した東北オリジナル業務・加工用品種の開発(直播、耐冷性)	26	30	独法委託	作物(技術)
作物(技術)		(H26-19-1000)直播適応性検定	26	30	独法委託	作物(技術)
作物(技術)		(H26-19-2000)耐冷性検定	26	30	独法委託	作物(技術)
作物(技術)	16	(H26-21)実需者ニーズに応じた加工適性と広域適応性を持つ大豆品種等の開発	26	30	独法委託	作物(技術)
作物(技術)		(H26-21-1000)東北・北陸地域に適した広域適応品種の開発と密植栽培技術の開発・有望系統の晩播密植栽培による大規模現地実証	26	30	国庫委託	作物(技術)
作物(技術)		(H26-21-2000)病害抵抗性を強化した安定多収大豆品種の開発を支える基盤技術の開発・有望系統の立枯性病害抵抗性評価	26	30	独法委託	作物(技術)
作物(技術)	17	(889)麦類耐寒雪性特性検定試験	14	30	独法委託	作物(技術)
作物(技術)	18	(890)畑作物の生育相及び気象反応の解明	14	30	県単研究	作物(技術)
作物(技術)		(890-2000)大豆の生育相と気象反応の解明	14	30	県単研究	作物(技術)
作物(技術)		(890-2100)県央・県南地域	14	30	県単研究	作物(技術)
作物(技術)		(890-2200)県北地域	14	30	県単研究	作物(県北)
作物(技術)		(890-1000)麦類の生育相と気象反応の解明	14	30	県単研究	作物(技術)
作物(技術)		(890-1100)県央・県南地域	14	30	県単研究	作物(技術)
作物(技術)		(890-1200)県北地域	14	30	県単研究	作物(県北)
作物(技術)	19	(891)畑作物原々種・原種生産	14	30	県単採種	作物(技術)
作物(技術)	20	(H19-13)麦類奨励品種決定調査及び有望系統の特性調査	26	30	県単採種	作物(技術)
作物(技術)		(H19-13-1000)(1)奨励品種決定調査(県南・県央地域)	26	30	県単採種	作物(技術)
作物(技術)		(H19-13-2000)(2)奨励品種決定調査(県北地域)	26	30	県単採種	作物(県北)
作物(技術)		(H19-13-3000)(3)有望系統特性調査	26	30	県単採種	作物(技術)
作物(技術)	21	(H19-12)大豆等奨励品種決定調査及び有望系統の特性調査	19	30	県単採種	作物(技術)
作物(技術)		(H19-12-1000)(1)奨励品種決定調査(県南・県央地域)	19	30	県単採種	作物(技術)
作物(技術)		(H19-12-2000)(2)奨励品種決定調査(県北地域)	19	30	県単採種	作物(県北)
作物(技術)		(H19-12-3000)(3)有望系統特性調査	19	30	県単採種	作物(技術)
作物(技術)	22	(H27-03)東北地域中北部やませ地帯向け耐倒伏性強の飼料用米品種の共同育成	27	31	国庫委託	作物(技術)、作物(県北)
作物(技術)		(H27-03-1000)個体選抜	27	31	国庫委託	作物(技術)、東北農研
作物(技術)		(H27-03-2000)系統選抜	27	31	国庫委託	作物(技術)、東北農研
作物(技術)		(H27-03-3000)単独系統	27	31	国庫委託	作物(技術)
作物(技術)		(H27-03-4000)生産力検定予備試験系統群	27	31	国庫委託	作物(技術)
作物(技術)		(H27-03-5000)生産力検定本試験系統群	27	31	国庫委託	作物(技術)、作物(県北)
作物(技術)		(H27-03-6000)生産力検定試験	27	31	国庫委託	作物(技術)
作物(技術)		(H27-03-7000)生産力検定予備試験	27	31	国庫委託	作物(技術)
作物(技術)		(H27-03-8000)生産力検定本試験	27	31	国庫委託	作物(技術)
作物(技術)		(H27-03-9000)生産力検定試験早生系統	27	31	国庫委託	作物(技術)
作物(技術)		(H27-03-10000)特性検定試験	27	31	国庫委託	作物(技術)
作物(技術)		(H27-03-11000)いもち病真性抵抗性遺伝子型推定	27	31	国庫委託	作物(技術)
作物(技術)		(H27-03-12000)葉いもち圃場抵抗性検定試験	27	31	国庫委託	作物(技術)
作物(技術)		(H27-03-13000)穂いもち圃場抵抗性検定試験	27	31	国庫委託	作物(技術)
作物(技術)		(H27-03-14000)耐冷性検定試験	27	31	国庫委託	作物(技術)
作物(技術)		(H27-03-15000)食味関連成分分析及び物性試験	27	31	国庫委託	作物(技術)
作物(技術)		(H27-03-16000)穂発芽性検定試験	27	31	国庫委託	作物(技術)
作物(技術)		(H27-03-17000)直播適性	27	31	国庫委託	作物(技術)
作物(技術)		(H27-03-18000)育成系統採種	27	31	国庫委託	作物(技術)

主査 研究室	連番	(課題番号)課題名	開始	終了	予算区分	担当研究室
作物(技術)	23	(H27-04)極良食味新品種の食味・品質の高位準化に向けた栽培条件の解明	27	28	令達	作物(技術)、生産環境
作物(技術)		(H27-04-1000)極良食味新品種の食味関連成分量の最適範囲の解明と変動把握	27	28	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H27-04-2000)極良食味新品種の食味特性を発揮するための施肥基準の策定	27	28	令達	生産環境
作物(技術)	24	(H27-21)ゲノム育種により有用形質を集積した水稻低コスト生産技術の確立と適地拡大	27	29	独法委託	作物(技術)、生産環境、作物(県北)
作物(技術)		(H27-21-1000)水稻品種「スーパーひとめぼれ」の集積形質を発揮する栽培技術の確立	27	29	独法委託	
作物(技術)		(H27-21-2000)「高度耐冷性・早生スーパーひとめぼれ」系統の育成	27	29	独法委託	
作物(技術)		(H27-21-3000)早生出穂性準同質遺伝子系統および育成系統の東北北部での適応性と直播適性評価	27	29	独法委託	
作物(技術)	25	(H27-22)「ひとめぼれ」大規模交配集団を用いた有用遺伝子単離と遺伝子相互作用解明	27	29	独法委託	作物(技術)
作物(技術)		(H27-22-1000)RILsの形質評価	27	29	独法委託	作物(技術)
作物(技術)		(H27-22-2000)準同質遺伝子系統の作出	27	29	独法委託	作物(技術)
【果樹研究室】						
果樹	26	(851)果樹の生育と果実品質変動要因の解明	14	30	県単研究	果樹
果樹		(851-1000)りんごの生育・生態の把握	14	30	県単研究	果樹
果樹		(851-2000)ぶどうの生育・生態の把握	14	30	県単研究	果樹
果樹		(851-3000)西洋なし、その他の果樹の生育・生態の把握	14	30	県単研究	果樹
果樹		(850)畑作物に対する植調剤等の利用法	14	30	民間委託	果樹
果樹		(850-1000)果樹園用除草剤の効果的使用法	14	30	民間委託	果樹
果樹		(850-1100)民間委託試験分	14	30	民間委託	果樹
果樹		(850-1200)令達試験分	14	30	令達	果樹
果樹		(850-2000)果樹の植調剤及び資材の効果的使用法	14	30	民間委託	果樹
果樹	27	(894)良品質・高品質生産を目的としたウイルスフリー樹の作出	14	30	令達	果樹
果樹	28	(830)ジョナゴールド、ふじ等に優るりんご中・晩生種の開発	14	30	令達	果樹
果樹		(830-1100)(2)国育成系統適応性(盛岡66~71号)	23	27	令達	果樹
果樹		(830-2000)国内外導入品種の選抜	14	30	令達	果樹
果樹	29	(829)キャンベル・紅伊豆にかわる耐寒性大衆嗜好品種の育成及び選抜	14	28	独法委託、令達	果樹
果樹		(829-1000)寒冷地向きぶどうの系統適応性試験	14	28	独法委託	果樹
果樹		(829-1400)第12回系統適応性検定試験	20	28	独法委託	果樹
果樹		(829-1500)第13回系統適応性検定試験	22	28	独法委託	果樹
果樹		(829-2000)国内外育成の寒冷地向き品種の選抜(生食用、醸造、兼用種等品種の選抜)	14	30	令達	果樹
果樹		(829-3000)耐寒性大衆嗜好品種の育成及び選抜	14	30	令達	果樹
果樹		(829-4000)選抜品種の安定生産技術の確立	27	29	県単研究	果樹
果樹	30	(837)ラ・フランスに優る西洋なし品種の開発	14	30	令達	果樹
果樹		(837-1000)国内外導入品種の選抜	14	30	令達	果樹
果樹	31	(826)おうとう、もも等の優良品種の選抜	14	30	令達	果樹
果樹		(826-1000)おうとう、もも等の優良品種の選抜	14	30	令達	果樹
果樹	32	(H21-05)つがる等に優るりんご早生品種の開発	21	30	令達	果樹
果樹	33	(H22-03)岩手県における果樹栽培の温暖化対策技術の確立	22	27	県単研究、独法委託	果樹
果樹		(H22-03-1000)開花期前進に伴う凍霜害対策技術の確立	22	27	県単研究	果樹
果樹		(H22-03-2000)温暖化による果実障害対策技術の確立	23	27	県単	果樹
果樹		(H22-03-3000)気象変動に対応した優良系統の選抜	23	27	県単研究	果樹
果樹		(H22-03-5000)温暖化に対応できる新規果樹の選抜と栽培技術の確立	24	27	県単研究	果樹
果樹	34	(H23-03)りんご新品種などの安定生産技術の確立	23	28	県単研究	果樹
果樹		(H23-03-1000)オリジナル品種の安定生産技術の確立	23	28	県単研究	果樹
果樹		(H23-03-2000)優良品種の栽培技術の確立	23	28	県単研究	果樹

主査 研究室	連番	(課題番号)課題名	開始	終了	予算区分	担当研究室
果樹	35	(H23-04)ぶどうオリジナル品種の安定生産技術の確立	23	30	県単研究	果樹
果樹		(H23-04-1000)高品質果実生産方法の確立	23	30	県単研究	果樹
果樹		(H23-04-2000)短梢栽培用平棚を利用した栽培方法の確立	23	30	県単研究	果樹
果樹	36	(H24-16)果樹生産のための省力・軽労化技術の開発	24	28	独法委託	果樹
果樹		(H24-16-2000)小型幹周草刈機の抑草効果と樹体に及ぼす影響評価	24	28	独法委託	果樹
果樹	37	(H25-13)ブランド化を促進する果実の生産加工技術の実証研究	25	29	国庫委託	果樹、生産環境
果樹		(H25-13-1000)リンゴ産地の早期再生をはかる早期成園化・品質向上技術の実証	25	29	国庫委託	果樹
果樹		(H25-13-2000)「北限のユズ」の加工利用を推進する安定生産技術の実証と商品開発	25	29	国庫委託	果樹、生産環境
果樹		(H25-13-3000)ブドウ新品種の導入による新たな加工品開発	25	29	国庫委託	果樹
果樹	38	(H26-15)りんごのわい化栽培における早期収・省力化を目指した栽培法の確立	26	40	県単・独法委託	果樹
果樹	39	(H22-04)ハダニ類を主体としたリンゴ病害虫防除体系の最適化	22	28	国庫補助	果樹、病理昆虫
果樹		(H22-04-4000)枝幹害虫防除のための薬剤散布条件の解明	27	28	国庫補助	果樹
【野菜花き研究室】						
野菜花き	40	(843)りんどうの生育・生態調査	14	30	県単研究	野菜花き
野菜花き	41	(191)リンドウの品種育成	S49	28	令達	野菜花き、園芸(県北)
野菜花き		(191-1000)リンドウの品種開発	26	28	令達	野菜花き、園芸(県北)
野菜花き		(191-2000)親株の安定生産と栄養系品種の維持・増殖	26	28	令達	野菜花き
野菜花き	42	(H19-09)温度・日長条件に対するリンドウの生育反応	19	28	令達	野菜花き
野菜花き	43	(H22-07)リンドウ栽培安定化技術の開発	22	29	県単研究	野菜花き、園芸(県北)
野菜花き		(H22-07-2000)県育成極早生品種の株養成技術の開発	22	29	県単研究	野菜花き、園芸(県北)
野菜花き	44	(H23-08)長期安定収穫が可能なトマト栽培技術の確立	23	29	県単研究、独法委託	野菜花き、生産環境、南部園芸
野菜花き		(H23-08-2000)肥料利用効率の高い新たな窒素施肥基準の策定	23	28	県単研究	生産環境
野菜花き		(H23-08-3000)高温期における草勢管理技術の確立	24	29	県単研究、独法委託	野菜花き
野菜花き		(H23-08-4000)3段階摘芯新栽培様式の確立	23	29	県単研究、独法委託	南部園芸
野菜花き	45	(H24-03)長日要求性素材を利用した極晩抽性ハクサイの安定生産技術の確立	24	29	独法委託	野菜花き
野菜花き	46	(H24-04)岩手型アスパラガス伏せ込み促成栽培安定生産技術の確立	24	28	国庫委託、県単	野菜花き
野菜花き		(H24-04-1000)高温及び低温による休眠打破メカニズムの解明	24	28	国庫委託	野菜花き
野菜花き		(H24-04-2000)高温による休眠打破を利用した新作型の確立	24	28	国庫委託、県単	野菜花き
野菜花き	47	(H24-05)新形質キュウリ安定生産技術の確立	24	28	国庫委託	野菜花き
野菜花き		(H24-05-2000)露地栽培における安定生産技術の確立	26	28	国庫委託	野菜花き
野菜花き	48	(H25-14)ブランド化を促進する野菜の生産・加工技術の実証研究	25	29	国庫委託	野菜花き
野菜花き		(H25-14-1000)露地キュウリと冬春キャベツによる寒冷地高収益モデルの実証研究	25	29	国庫委託	野菜花き
野菜花き		(H25-14-2000)育苗施設等の高度利用によるパプリカの栽培技術実証研究	25	29	国庫委託	野菜花き
野菜花き		(H25-14-3000)省力的なトマト栽培による高収益モデルの実証研究	25	29	国庫委託	野菜花き
野菜花き	49	(H26-16)野菜類抵抗性台木による安定生産技術の確立	26	31	独法委託	野菜花き
野菜花き		(H26-16-1000)ピーマン用トウガラシ台木の系統適応性試験	26	28	独法委託	野菜花き
野菜花き		(H26-16-2000)なす用台木品種の系統適応性試験	29	31	独法委託	野菜花き
野菜花き	50	(H26-18)収穫量の時期別変動が小さいパプリカ安定栽培技術の確立	26	28	県単研究、国庫委託	野菜花き

主査 研究室	連番	(課題番号)課題名	開始	終了	予算区分	担当研究室
【南部園芸研究室】						
南部園芸	51	(H25-03)地域適応性の高いいちご系統の選定	25	27	県単研究	南部園芸
南部園芸		(H25-03-1000)地域適応性の高い半促成栽培向けいちご系統の選定	25	27	県単研究	南部園芸
南部園芸		(H25-03-2000)地域適応性の高い夏秋どり栽培向けいちご系統の選定	25	27	県単研究	南部園芸
南部園芸		(H25-03-3000)地域適応性の高い無加温促成栽培向けいちご品種の選定	27	27	県単研究	南部園芸
南部園芸	52	(H25-12)中山間地域における施設園芸技術の実証研究	25	29	国庫委託	南部園芸
南部園芸		(H25-12-1000)中山間立地に適応性の高い低コスト耐候性ハウスの実用化と設置技術の実証	25	29	国庫委託	南部園芸
南部園芸		(H25-12-2000)地域木質資源を活用した低コスト暖房技術の実用化実証	25	29	国庫委託	南部園芸
南部園芸		(H25-12-3000)分散する中小規模園芸施設の効率的な管理技術の実用化実証	25	29	国庫委託	野菜花き
南部園芸		(H25-12-4000)中山間立地特性に適応した収益性の高い園芸品目の技術実用化総合実証	25	29	国庫委託	南部園芸
【生産環境研究室】						
生産環境	53	(H15-24)環境保全型有機質資源連用効果調査	15	27	県単(土壌対策)	生産環境
生産環境		(H15-24-1000)水田における有機質資源連用効果	15	27	県単(土壌対策)	生産環境
生産環境		(H15-24-2000)畑地における有機質資源連用効果	15	27	県単(土壌対策)	生産環境
生産環境	54	(H16-22)新肥料の実用化	16	27	民間委託	生産環境
生産環境		(H16-22-5000)プロジェクト推進室	20	27	民間委託	プロジェクト
生産環境		(H16-22-7000)技術部	20	27	民間委託	果樹、作物(技術)、野菜花き、南部園芸
生産環境		(H16-22-7100)作物研究室(技術)担当分	20	27	民間委託	作物(技術)
生産環境		(H16-22-7300)南部園芸研究室担当分	20	27	民間委託	南部園芸
生産環境		(H16-22-7400)果樹研究室担当分	20	27	民間委託	果樹
生産環境		(H16-22-7500)野菜花き研究室担当分	20	27	民間委託	野菜花き
生産環境		(H16-22-8000)環境部	20	27	民間委託	生産環境
生産環境		(H16-22-8100)生産環境研究室担当分	20	27	民間委託	生産環境
生産環境		(H16-22-9000)県北農業研究所	20	27	民間委託	園芸(県北)、作物(県北)
生産環境		(H16-22-9100)園芸研究室(県北)担当分	20	27	民間委託	園芸(県北)
生産環境		(H16-22-9200)作物研究室(県北)担当分	20	27	民間委託	作物(県北)
生産環境	55	(H20-20)土壌由来温室効果ガスインベントリ情報等整備調査	20	32	独法委託	生産環境
生産環境	56	(H15-23)土壌機能実態モニタリング調査	15	35	県単(土壌対策)	生産環境
生産環境	57	(H23-12)土壌環境に配慮した家畜由来有機質資源の肥料的評価	23	27	県単研究	生産環境
生産環境	58	(H26-02)補給型施肥がりんごの樹体生育と果実品質、土壌の蓄積養分量に及ぼす影響調査	26	30	県単研究	生産環境、果樹
生産環境	59	(H27-05)小麦の施肥体系の確立	27	29	県単研究	生産環境
生産環境	60	(H27-07)野菜・花きの鮮度保持技術の確立	27	31	県単研究	生産環境
生産環境		(H27-07-1000)県産野菜の鮮度保持技術の確立	27	28	県単研究	生産環境
生産環境		(H27-07-2000)県産花きの鮮度保持技術の確立	27	31	県単研究	生産環境
生産環境	61	(H27-08)雨よけトマト栽培におけるリン酸・カリ減肥基準の検証	27	30	県単研究	生産環境
生産環境	62	(H27-09)りんどう新品種適正施肥量の検証	27	31	県単研究	生産環境、野菜花き

主査 研究室	連番	(課題番号)課題名	開始	終了	予算区分	担当研究室
【病理昆虫研究室】						
病理昆虫	63	(402)新農薬の効果検定と防除指針作成	9	30	民間委託	病理昆虫
病理昆虫		(402-2000)県北地域	9	30	民間委託	園芸(県北)
病理昆虫		(402-4000)環境部	9	30	民間委託	病理昆虫
病理昆虫		(402-5000)技術部	16	30	民間委託	果樹
病理昆虫	64	(H15-28)地域特産物における新防除資材の実用化	15	30	国庫補助	病理昆虫
病理昆虫		(H15-28-K001)リンドウ 炭疽病	26	27	国庫補助	病理昆虫
病理昆虫		(H15-28-O000)リンドウ 黒斑病	26	27	国庫補助	病理昆虫
病理昆虫		(H15-28-P000)リンドウ 苗腐敗症	26	27	国庫補助	病理昆虫
病理昆虫		(H15-28-Q000)リンドウ キオビトガリメイガ	26	27	国庫補助	病理昆虫
病理昆虫	65	(H22-04)ハダニ類を主体としたリンゴ病害虫防除体系の最適化	22	28	国庫補助	病理昆虫、果樹
病理昆虫		(H22-04-1000)夏期の防除体系の最適化	22	28	国庫補助	病理昆虫
病理昆虫		(H22-04-3000)ナミハダニ薬剤抵抗性個体群の動態把握	26	28	国庫補助	病理昆虫
病理昆虫		(H22-04-4000)枝幹害虫防除のための薬剤散布条件の解明	27	28	国庫補助	果樹
病理昆虫	66	(H23-13)耕種の防除と天敵製剤を組み合わせた果菜類害虫の防除技術の開発	23	28	国庫補助	病理昆虫
病理昆虫		(H23-13-2000)施設栽培ピーマンにおける天敵製剤を活用した化学合成農薬削減技術の開発	23	28	国庫補助	病理昆虫
病理昆虫		(H23-13-3000)施設栽培トマトにおける防虫ネットを活用した化学合成農薬削減技術の開発	26	28	国庫補助	病理昆虫
病理昆虫	67	(H25-01)水稻細菌病類(もみ枯細菌病・苗立枯細菌病)を主体とした種子伝染性病害の総合防除技術の確立	25	27	国庫補助	病理昆虫、作物(技術)
病理昆虫		(H25-01-1000)種子生産(原原種、原種、採種)における効果的な種子保菌量低減技術の開発	25	27	国庫補助	病理昆虫、作物(技術)
病理昆虫		(H25-01-2000)育苗期の耕種条件と苗腐敗症発生との関係解明	25	27	国庫補助	病理昆虫
病理昆虫		(H25-01-3000)水稻細菌病類の種子保菌量と苗腐敗症発生量との関係解明	25	27	国庫補助	病理昆虫
病理昆虫	68	(H25-02)大豆のマメシンクイガに対する効率的な防除対策の確立	25	27	令達	病理昆虫
病理昆虫	69	(H25-04)りんどうこぶ症関連ウイルス(GKaV)の伝搬経路の探索	25	27	県単研究	病理昆虫、野菜花き
病理昆虫		(H25-04-1000)りんどうこぶ症ウイルス(GKaV)の媒介生物、保毒雑草、保毒微生物の探索	25	27	県単研究	病理昆虫
病理昆虫		(H25-04-2000)りんどうこぶ症ウイルス(GKaV)の花粉・種子伝染の確認	25	27	県単研究	野菜花き
病理昆虫	70	(H26-01)薬効特性を踏まえた斑点米カメムシ防除体系の検討	26	28	国庫補助	病理昆虫

主査 研究室	連番	(課題番号)課題名	開始	終了	予算区分	担当研究室
【家畜育種研究室】						
家畜育種	71	(237)日本短角種産肉能力検定(現場後代検定法)	17	30	令達	家畜育種(いわて短角0.5)
家畜育種	72	(236)日本短角種産肉能力検定(直接法)	S45	30	令達	家畜育種(いわて短角0.5)
家畜育種	73	(H23-16)生産農場におけるパークシャー種豚群の遺伝的改良システムの構築	23	27	県単研究	家畜育種
家畜育種	74	(H26-03)黒毛和種肥育期間短縮のための素牛育成期を含めた飼料給与体系の確立	26	30	県単研究	家畜育種
家畜育種	75	(H26-04)受胎性を高める新たな牛胚形態評価法の開発	26	27	県単研究	家畜育種
家畜育種	76	(H26-05)ゲノムワイド関連解析による肉用牛改良に有用なDNAマーカーの検出	26	30	県単研究	家畜育種(DNA育種基盤)
家畜育種	78	(H26-06)南部かしわ母鶏生産用ロードアイランドレッド改良のための交配選抜試験	26	29	県単研究	家畜育種
家畜育種	78	(H27-13)SNP情報を利用した牛ゲノム選抜手法の確立	27	29	令達	家畜育種
家畜育種	79	(H27-14)パークシャー種における飼料用米活用による豚肉の高品質化・高付加価値化技術の開発	27	31	県単研究	家畜育種
【家畜飼養・飼料研究室】						
家畜飼養・飼料	80	(H24-20)イタリアンライグラス系統適応性試験	25	27	独法委託	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	81	(H25-05)草地更新における除草剤処理等を活用した春期牧草播種技術の確立	25	27	県単研究	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	82	(H25-16)放射性セシウム汚染草地における除染効果の検証および放射性セシウムレベルの追跡調査	25	27	県単研究	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	83	(H26-07)初乳給与量等が哺育育成期乳牛の増体とその後の産乳性に及ぼす影響の解明	26	29	県単研究	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	84	(H26-08)飼料畑におけるアレチウリ防除技術の確立	26	29	県単研究	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	85	(H27-15)大規模酪農経営における牛加速度センサー・咀嚼計等を活用した個体管理省力化技術の確立	27	29	県単研究	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	86	(H27-16)外部支援組織による自給飼料生産・利用システムの確立 - 外部支援組織の運営効率化支援システムの確立	27	30	県単研究	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	87	(H27-17)外部支援組織による自給飼料生産・利用システムの確立 - 自給飼料の迅速な成分分析手法の確立	27	31	県単研究	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	88	(H27-19)外部支援組織による自給飼料生産・利用システムの確立 - 外部支援組織への不耕起栽培導入に向けた実用技術の開発	27	31	独法委託	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	89	(H27-20)子実トウモロコシサイレージの生産・調製・給与技術の開発 b 乳牛への給与技術の確立	27	31	独法委託	家畜飼養・飼料
【外山畜産研究室】						
外山畜産	90	(H25-06)生育速度の速い草種等を用いた放牧地の春期更新・早期利用技術体系の確立	25	27	県単研究	外山畜産
外山畜産	91	(H25-07)寒冷時期生産牧草サイレージへの低温性乳酸菌添加による牧草サイレージおよび発酵TMRの品質向上技術の確立	25	27	県単研究	外山畜産
外山畜産	92	(H27-18)表層攪拌法および簡易硬盤破碎による草地更新技術の確立	27	29	県単研究	外山畜産
【種山畜産研究室】						
種山畜産	93	(235)黒毛和種産肉能力検定(間接法・現場後代検定)	1	30	管理運営費	種山畜産、家畜育種
種山畜産	94	(857)県有種雄牛の利用及び能力調査	14	30	管理運営費	種山畜産
種山畜産	95	(234)黒毛和種産肉能力検定(直接法)	S62	30	管理運営費	種山畜産、家畜育種

主査 研究室	連番	(課題番号)課題名	開始	終了	予算区分	担当研究室
【園芸研究室(県北研)】						
園芸(県北)	96	(H22-28)地球温暖化によるほうれんそうの高温影響評価モデルの作成	26	29	独法委託	園芸(県北)
園芸(県北)	97	(H24-18)たまねぎ春まき栽培技術の確立	24	28	独法委託	園芸(県北)
園芸(県北)		(H24-18-3000)たまねぎ栽培で問題となる病害虫防除対策	26	28	国庫補助	園芸(県北)
園芸(県北)		(H24-18-4000)加工・業務用品種の特性把握	26	27	民間委託	園芸(県北)
園芸(県北)		(H24-18-5000)機械移植に対応した育苗法	27	29	県単独	園芸(県北)
園芸(県北)	98	(H26-09)生食用露地ほうれんそう栽培法の確立	26	28	県単研究	園芸(県北)
園芸(県北)	99	(H27-10)生食用ほうれんそう軽労生産システムの確立	27	29	国庫委託	園芸(県北)、農業経営
園芸(県北)	100	(H27-11)多様なほうれんそう害虫の発生に応じた防除対策の確立	27	29	国庫補助	園芸(県北)
園芸(県北)	101	(H27-12)キャベツ長期安定出荷のための10月収穫作型の確立	27	29	県単独	園芸(県北)
園芸(県北)	102	(H26-18)ほうれんそう等のルテイン機能性表示に向けた実証研究	26	27	国庫補助	園芸(県北)、作物(県北)
園芸(県北)		(H26-18-1000)ほうれんそうのルテイン機能性表示に向けた実証研究	26	27	国庫補助	園芸(県北)
園芸(県北)		(H26-18-2000)アワのルテイン機能性に関する研究	26	27	国庫補助	作物(県北)
【作物研究室(県北研)】						
作物(県北)	103	(H22-22)いわて雑穀生産・販売戦略を支援する雑穀優良種子の生産	16	30	令達	作物(県北)(県雑穀遺伝資源センター)
作物(県北)	104	(H26-11)県北・沿岸地域の生産性・収益性の高い組織営農モデルの育成	26	30	県単研究	作物(県北)、園芸(県北)、経営
作物(県北)		(H26-11-1000)寒冷地組織営農における実需ニーズに対応する園芸生産技術の確立	26	30	県単研究	園芸(県北)
作物(県北)		(H26-11-2000)県北・沿岸地域における低コスト稲作技術の確立	26	30	県単研究	作物(県北)
作物(県北)		(H26-11-3000)組織営農モデルの組み立て実証	27	28	県単研究	経営、作物(県北)、園芸(県北)
作物(県北)	105	(H26-10)雑穀の高付加価値化に向けた機能性成分の高い品種育成と低コスト栽培技術の開発	26	30	未定	作物(県北)
作物(県北)		(H26-10-1000)機能性成分の高い雑穀品種育成	26	30	未定	作物(県北)
作物(県北)		(H26-10-2000)低コスト・安定多収栽培に向けた新たなアワ栽培技術の確立	26	27	県単独、民間委託	作物(県北)
作物(県北)		(H26-10-3000)作業能率の高い雑穀機械移植栽培法の確立	27	30	未定	作物(県北)

(3)平成28年度試験研究を要望された課題とその措置一覧

1 要望課題一覧

連番	部会	要望機関	要望課題名	担当研究室 ○主査	措置 区分
1	農産	農林水産部農村計画課	基盤整備による水田作物生産費の軽減	プロジェクト推進室	C,D
2	農産	全国農業協同組合連合会岩手県本部	野生鳥獣(ハクビシン・ニホンジカ・ツキノワグマ・イノシシ等)による農作物被害を防止する技術の開発	研究企画室	D
3	農産	中央農業改良普及センター(県域)	岩手県の多様な圃場条件に適応した低コストで効果的な鳥獣被害防止技術の開発	研究企画室	D
4	農産	農林水産部農業振興課	人口減少問題に対応した営農類型の提示	農業経営研究室	C,D
5	農産	中央農業改良普及センター(県域)	岩手県リアルタイムメッシュ気象情報システムの応用システム(「水稻作期策定支援システム」及び「生育診断予測支援」)に代替するシステム開発	技術部作物研究室	B
6	農産	中央農業改良普及センター(県域)及び中央農業改良普及センター(地域)	水田転換畑小麦における干ばつ対策	技術部作物研究室	B,C
7	農産	盛岡農業改良普及センター	岩手県における小麦の赤かび病防除同時尿素葉面散布の効果	病理昆虫研究室	C
8	農産	中央農業改良普及センター(県域)	岩手107号の低コスト病害虫防除技術の開発	病理昆虫研究室	A1,C
9	園芸	中央農業改良普及センター(県域)及び奥州農業改良普及センター	大規模施設園芸経営体(ピーマン)における省力・低コスト技術及び栽培体系の確立	○野菜花き研究室 農業経営研究室	D
10	園芸	中央農業改良普及センター(県域)	大規模施設園芸経営体(トマト)における省力・低コスト技術及び栽培体系の確立	○野菜花き研究室 農業経営研究室	C
11	園芸	中央農業改良普及センター(県域)及び奥州農業改良普及センター	大規模施設園芸経営体(きゅうり)における省力・低コスト技術及び栽培体系の確立	○野菜花き研究室 農業経営研究室	A1
12	園芸	中央農業改良普及センター(県域)	露地栽培なす立毛中果実の小陥没症状の発生要因解明と対策技術の確立	野菜花き研究室	A2 (H29以降)
13	園芸	中央農業改良普及センター(県域)	岩手県における夏秋トマトの単収向上に向けた収量構成要素の解析	野菜花き研究室	A2 (H29以降)
14	園芸	中央農業改良普及センター(県域)	冬どりキャベツの内部黒変防止対策及び長期貯蔵方法の確立	○野菜花き研究室 生産環境研究室	B,C
15	園芸	中央農業改良普及センター(県域)	りんご園における効率的な施肥体系の解明	生産環境研究室	B,D
16	園芸	中央農業改良普及センター(県域)	岩手県における青枯病対策技術の確立と体系化	病理昆虫研究室	A1,C
17	園芸	全国農業協同組合連合会岩手県本部	加工・業務用野菜の栽培技術確立	県北農業研究所園芸研究室	A1,B,C
18	畜産	一般社団法人岩手県畜産協会	細断型ラップサイレージの2次発酵防止策	家畜飼養・飼料研究室	C
19	畜産	中央農業改良普及センター(県域)	フェストロリウム東北1号の県牧草奨励品種としての検討	家畜飼養・飼料研究室	A1

【措置区分】 A1:次年度実施予定 A2:○○年度実施予定(実施予定年度を記載) B:現在実施中
C:既知見あり D:実施できない

5 共同研究等の推進

(1) 食料生産地域再生のための先端技術展開事業(委託)

課題名	委託元	研究期間	研究の内容	担当研究室
中小区画土地利用型営農技術の実証研究	東北農業研究センター(*)	H25～29	中小区画水田における土地利用型作物の安定生産技術及び地域の気象条件を生かした加工品開発により収益性の向上を図る実証研究	プロジェクト推進室 農業経営 作物(技術部) 生産環境
技術・経営診断技術開発研究	中央農業総合研究センター(*)	H25～29	実証研究において現地実証された先端技術の有効性を導入効果について分析し、被災地の農業経営の将来像を改善するとともに、開放型研究拠点(オープンラボ)を整備・運営し、技術展示や情報共有を図る	研究企画室 農業経営
中山間地域における施設園芸技術の実証研究	農林水産技術会議事務局	H24～29	木骨ハウスや木質資源を活用した低コスト暖房、ICT導入による分散施設の効率的な管理などによる、中山間地域に適用性の高い施設園芸技術を構築する実証研究	南部園芸 野菜花き
ブランド化を促進する果実の生産・加工技術の実証研究	農林水産技術会議事務局	H24～29	リンゴの早期成園化技術、北限のユズの栽培技術の構築と加工品開発、ブドウの新品種導入、加工品開発、省力栽培技術などによる、付加価値の高い果実の生産・加工技術を構築する実証研究	果樹
ブランド化を促進する野菜の生産・加工技術の実証研究	農林水産技術会議事務局	H24～29	露地キュウリと冬春キャベツによる高収益栽培体系の確立、水稻育苗施設を用いたパブリカの高品質生産技術、省力的なトマト栽培技術などにより収益性の高い新たな営農モデルを構築し、産地ブランド化を目指す実証研究	野菜花き

* (国立研究開発法人)農業・食品産業技術総合研究機構

(2) 農林水産省委託プロジェクト研究事業(委託)

課題名	委託元	研究期間	研究の内容	担当研究室
低コスト・安定生産を可能とする飼料用米品種の育成	作物研究所(*)	H26～27	寒冷地北中部に適した飼料用米品種の育成(特にいもち病抵抗性)	作物(技術部)
実需者等のニーズに応じた加工適性と広域適応性を持つ大豆品種等の開発	作物研究所(*)	H26～30	大豆有望系統の黒根腐病に対する抵抗性の判定	作物(技術部)
生産コストの削減に向けた効率的かつ効果的な施肥技術の開発委託事業	中央農業総合研究センター(*)	H27～31	野菜作における土壌可給態窒素の簡易測定に基づく適正施肥技術の開発	生産環境(環境部)
栄養収量の高い国産飼料の低コスト生産・利用技術の開発	畜産草地研究所(*)	H27～31	トウモロコシ子実サイレージの生産・調製・給与技術の開発	家畜飼養・飼料
			安定多収トウモロコシ品種の育成・選定と低コスト栽培技術の開発	
農地等の放射性物質の除去・低減技術の開発	畜産草地研究所(*)	H27	耕起困難草地における低減対策技術の開発	外山畜産
			除染草地における超過要因解析と対策技術の開発	家畜飼養・飼料
営農再開のための放射性物質対策技術の開発	畜産草地研究所(*)	H27～29	除染後草地の省力的維持管理技術の確立	家畜飼養・飼料
飼料用米の給与による畜産物の差別化技術及び家畜の健全性向上技術の開発	畜産草地研究所(*)	H27	飼料用米の活用による豚肉の差別化技術の開発	家畜飼養・飼料
多収阻害要因の診断法及び対策技術の開発	中央農業総合研究センター(*)	H27～31	薬用作物栽培における雑草管理の安定化と軽労化	作物(県北研)
農林業に係る気候変動の影響評価	(国研)農業環境技術研究所	H25～29	温暖化が野菜生産に及ぼす影響評価(ハウレンソウ生育・遮光管理法高温影響評価)	園芸(県北研)

* (国立研究開発法人)農業・食品産業技術総合研究機構

(3)農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業委託事業(委託)

課題名	共同研究機関 (筆頭が中核機関)	研究期間	研究の内容	担当研究室
ゲノム育種により有用形質を集積した水稻品種の低コスト生産技術の確立と適地拡大	(公財)岩手生物工学研究センター、国立大学法人岩手大学、福島県、沖縄県農業研究センター、(地独)青森県産業技術センター ※岩手県農業研究センターが中核機関	H27～29	「スーパーひとめぼれ」について、岩手、青森、福島、沖縄での栽培試験・特性検定を経て、良食味かつ低コスト栽培の現地実証試験を行う。ゲノム育種により、「高度耐冷性・早生スーパーひとめぼれ」系統を迅速に育成し、東北北部における栽培試験(移植・直播)を行い、広域栽培・作期分散のための適応性を解明する。	作物(技術部)
「ひとめぼれ」大規模交配集団を用いた有用遺伝子単離と遺伝子相互作用解明	(公財)岩手生物工学研究センター	H27～29	大規模RILsの形質評価と準同質遺伝子系統作出のうち、(1)「RILsの形質評価」において、RILs 3,078系統の形質評価を行う。(2)「準同質遺伝子系統の作出」において、目的の形質を持つ系統(RIL)と「ひとめぼれ」の交配を行う。	作物(技術部)
耐冷性やいもち病を強化した東北オリジナル業務・加工用多収品種の開発	東北農業研究センター(*), (地独)青森産技セ, 秋田農総試, 山形農総セ, 福島農総セ	H26～30	(1)「地域適応性検定、岩手県(直播)」では鉄コーティング・湛水表面直播検定技術を開発し、育成系統の直播適性を評価 (2)「東北地域耐冷性新基準品種」を用いて育成系統の評価を行う。	作物(技術部)
地域資源を活かし、気候変動に対応したブドウ新品種の早期育成と気候変動影響評価(ブドウ系適)	果樹研究所(*),山梨県,福岡県,愛媛県農林水産研究所,鹿児島県農業開発総合センター	H26～30	(1)選抜系統「山梨48号」の岩手県(東北地域)における地域適応性の解明において、試験栽培により選抜系統の特性評価を行う。 (2)新規需要を生み出す優良赤ワイン系統の選抜において、岩手県内実需者と共に選抜系統のワイン品質および岩手県への適応性評価を行う。	果樹
ホウレンソウ等のルテインの機能性表示に向けた実証研究 ※H26農林水産業の革新的技術緊急展開事業	宮城県農業・園芸総合研究所、(公財)岩手生物工学研究センター	H26～27 (H26繰越で27に実施)	ホウレンソウ、アワのルテイン含量の時期的変動及び品種間差の解析	園芸、作物(県北研)

* (国立研究開発法人)農業・食品産業技術総合研究機構

(4)研究成果最適展開支援事業((国県)科学技術振興機構、委託)

課題名	共同研究機関	研究期間	研究の内容	担当研究室
(育成研究) 長日要求性素材を利用した極晩抽性ハクサイの安定生産技術の確立	東北農業研究センター(*), 岩手大学、サカタのタネ	H24～29	選抜系統の優良F ₁ 組合わせを用いた新作型の開発	野菜花き

* (国立研究開発法人)農業・食品産業技術総合研究機構

(5) その他独法等からの委託(10/10委託)

事業・課題名	共同研究機関	研究期間	研究の内容	担当研究室
受託研究	作物研究所(*)	H23～30	育成地等からの麦類育成系統の耐寒雪性圃場検定	作物(技術部)
受託研究	果樹研究所(*)	H23～30	ブドウ育種試験に係る系統適応性・特性検定試験	果樹(技術部)
受託研究	東北農業研究センター(*)	H24～27	イタリアンライグラスの系統適応性特性検定試験	家畜飼養・飼料
受託研究	野菜茶業研究所(*)	H26～28	トウガラシの系統、トウガラシ安濃交3号の寒冷地適応性評価	野菜花き(技術部)
受託研究	生研センター(*)	H25～28	小型幹周草刈機のわい化リング園での実証試験	果樹
受託研究	生研センター(*)	H26～28	軟弱野菜(ホウレンソウ)の高エネルギー調製機の現地試験	園芸(県北研)
受託研究	生研センター(*)	H26～28	不耕起トウモロコシ播種機の現地適応試験	家畜飼養・飼料
受託研究	東北農政局	H27～	農地土壌炭素貯留等基礎調査事業	生産環境(環境部)

* (国立研究開発法人)農業・食品産業技術総合研究機構

(6) 民間委託試験(10/10委託)

事業名・課題名	相手方	研究の内容	担当研究室
農薬及び植物調節剤等の効果検定試験	(一社)岩手県植物防疫協会	(社)日本植物防疫協会からの委託	病理昆虫、園芸(県北研)、作物(県北研)
		(社)日本植物調節剤研究協会からの委託	作物(技術部)、果樹、家畜飼養・飼料、作物(県北研)
肥料の効果等に関する試験	岩手県施肥合理化協議会	(対象作物) 水稲、水稲(育苗)、大豆、りんご、ピーマン、キャベツ(育苗)、りんどう、小ぎく	果樹、作物(技術部)、野菜花き、生産環境、作物(県北研)、園芸(県北研)
大規模水田営農を支える省力・低コスト技術の確立	農食産業技術振興協会(新稲作研究会)	多様なほ場条件に対応した鉄コーティング種子の無代かき湛水直播栽培技術の確立	プロジェクト推進室
春播きタマネギの作型開発試験	全国農業協同組合連合会	加工・業務適性の高いタマネギの安定生産に向け、岩手県北地域に適した品種特性を明らかにする	園芸(県北研)
水稲の密苗(高密度播種・短期育苗)栽培技術の実証試験	ヤンマー(株)	水稲の密苗(高密度播種・短期育苗)栽培の生育調査、坪刈収量調査、品質調査	プロジェクト推進室

(7) (公財)岩手生物工学研究センターとの共同研究

研究課題名	生工研担当	研究期間	研究の内容	担当研究室
水稲における重要形質のゲノム育種法の開発	ゲノム育種研究部	H26～30	生工研と共同で遺伝子解析に基づくDNAマーカーの開発及びそれらを用いた岩手オリジナル水稲品種の育成	作物(技術部)
リンドウ優良品種育成支援技術の開発 リンドウの安定生産に寄与する生理・生態の解明	園芸資源研究部(育種栽培技術開発チーム)	H26～30	純系や倍数性を利用した育種技術及びDNAマーカーの開発と新品種育成への応用 越冬性向上や生育調節に係る技術開発及び難培養性系統の培養増殖法開発	野菜花き
現場ニーズに対応した実践的植物病害防除技術の開発	園芸資源研究部(植物病態分子研究チーム)	H26～30	リンドウこぶ症関連ウイルス(GKaV)とこぶ症発症との因果関係の解明 分子生物学的な病害虫診断技術を利用した新たな病害虫防除システムの構築	病理昆虫 野菜花き
農林水産物の機能成分解明と活用	生物資源研究部	H26～30	雑穀の在来系統群から抽出した機能成分の同定と評価及び高付加価値を有する雑穀オリジナル品種の育成	作物(県北研)

(8) 他の公設試との共同研究

課題名等	相手方	研究期間	担当研究室
ワイン専用ぶどう新系統の醸造特性評価	工業技術センター	H6～	果樹
県産小麦品種の加工特性評価	工業技術センター	H7～	作物(技術部)

(9) AFR(岩手農林研究協議会)研究会

ア 研究会

名称	構成	研究期間	担当研究室
1 岩手育種談話会	◎岩手大学農学部・教育学部、東北農業研究センター、岩手県農業研究センター、岩手生物工学研究センター	H10～	作物(技術部)
2 水稻栽培研究会	◎岩手大学農学部、岩手県農業研究センター	H11～	作物(技術部)
3 イワテヤマナシ研究会	◎神戸大学大学院農学研究科、岩手大学農学部・教育学部、岩手県農業研究センターほか	H24～	果樹
4 リンドウ研究会	◎岩手大学農学部、東北農業研究センター、岩手県農業研究センター、八幡平市花き研究開発センター	H11～	野菜花き

※平成24年度協議会(11/16)において継続活動実績のある研究会に整理することを承認。これを受けて当センター職員が参加している研究会のみを掲載した。

イ AFR協議会等の開催

開催月日	場所	内容
27.8.6	岩手大学農学部1号会議室	平成27年度岩手農林研究協議会(AFR)協議会 1 副会長の改選について 2 平成26年度岩手農林研究協議会審議内容の確認について 3 研究等の情報交換について 4 AFR研究会の活動状況等について 5 リーフレットの更新について

(10) FAMS(動物医学食品安全教育研究センター)

開催月日	場所	内容
27.6.11	畜産研究所	畜産研究所主査開催 ・「生体センサーを活用した牛のモニタリング技術」

(11) その他共同研究

課題名	相手方	研究期間	研究の内容	担当研究室
肉用牛における経済形質とDNAマーカーの連鎖解析	(社)畜産技術協会	H13～	岩手県種雄牛の約300頭からなる半きょうだい家系を作成し、DNAマーカーによる連鎖解析を行い、経済形質遺伝子座を明らかにする。また、遺伝的不良形質について、500頭程度の半きょうだいサンプルを追加、原因領域に新たなマーカーの追加等を行い原因となる遺伝子座を明らかにする。	家畜育種
三軸加速度センサを用いた牛の行動解析	(国大)岩手大学	H27～	牛の頸部に装着した三軸加速度センサを用い、疾病、発情および分娩を予知することにより、飼養管理技術の改善を図る。	家畜飼養・飼料
生物遺伝資源交換に関する研究協定	(独)農業生物資源研究所	H14～	植物、動物、微生物の生物遺伝資源及びDNAの相互交換	センター全体
寒冷地向けイチゴ品種の育成に関する研究	東北農業研究センター(*)、(地独)青森県産業技術センター、宮城県農業・園芸総合研究所、秋田県農業試験場、山形県	H24～27	選抜初期世代から東北各地域における適応性を検定し、安定生産を可能にする寒冷地向けイチゴ品種の育成の効率化を実現する。	南部園芸

課題名	相手方	研究期間	研究の内容	担当研究室
JM7台利用樹の樹勢衰弱症状に関する研究	果樹研究所(*)	H27～	(1)樹勢衰弱症状を示すJM7台利用樹からの疫病菌の検出 (2)樹勢衰弱症状の初期発生の確認および現地の状況の把握	果樹(技術部)
「ナンブコムギ」に縞萎縮病耐病性を付与した系統の育成	東北農業研究センター(*)	H27～	「ナンブコムギ」に縞萎縮病耐病性を付与した系統の育成	作物(技術部)
シードル向きリンゴ品種・系統の予備選抜	果樹研究所(*)	H27～	加工向けリンゴの省力・高収益栽培(28年度以降の本格実施に向けた圃場準備等)	果樹(技術部)

* (国立研究開発法人)農業・食品産業技術総合研究機構

(12) 産学官連携

名称	開催年月	場所	内容	担当研究室
第1回 いわて産学官連携推進協議会会議	27.7.3	盛岡市 (岩手大学地域連携推進センター)	平成26年度活動報告および平成27年度事業計画について	研究企画室
第2回 いわて産学官連携推進協議会会議	27.10.15	盛岡市 (岩手大学地域連携推進センター)	いわて産学官連携フォーラム開催に向けて(打合せ)	研究企画室
いわて産学官連携フォーラム	27.11.4	盛岡市 (岩手大学復興祈念銀河ホール)	研究シーズ発表による県内企業とのマッチング (事務局:岩手大学地域連携推進センター)	研究企画室

※1 平成27年度リエゾン-Iマッチングフェアでパネル等展示およびプレゼンテーションを行った研究シーズ

研究シーズ名	担当研究室
遊休ハウスを利用した簡易なパプリカ養液栽培技術(先端プロ)	野菜花き
ブドウ醸造用新品種の垣根仕立て省力栽培技術(先端プロ)	果樹
飼料用米を活用した自給率の高い乳牛の飼料給与技術	家畜飼養・飼料
雑穀新品種「ゆいこがね」、「ひめこがね」	作物(県北)

6 現地試験の実施

内 容 (試験研究課題名)	市町村名	地 区 名	担 当 (関係研究室)
委託プロジェクト研究「多収阻害要因の診断法及び対策技術の開発」 大豆・粟用作物における条間・株間除草機を活用した除草体系の構築 県中南部における大豆難防除雑草の除草体系の構築	奥州市	水沢区佐倉河	プロジェクト推進室 (県北作物)
「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」 中小区画土地利用型営農技術の実証研究 水稲生産の省力化・低コスト化技術の実証	陸前高田市	広田、小友	(技術部作物) (生産環境)
省力生産を前提にした安定多収栽培技術の実証 (大豆) (ソバ・ナタネ)	陸前高田市 大槌町	小友 浪板	
省力・低コスト収穫作業体系の実証 (水稲) (大豆) (ソバ・ナタネ) 中山間水田における畦畔法面の省力管理技術の実証研究	陸前高田市 陸前高田市 大槌町 陸前高田市	広田 小友 波板 浜田川、小友	
施肥合:いわて純情米総合実証展示圃	奥州市 奥州市 北上市 花巻市 花巻市 雫石町 八幡平市 九戸村	水沢区 胆沢区 宮野目 東和町	技術部 作物
水稲奨励品種決定現地調査 (粳) (粳) (粳) (粳) (粳) (粳) (粳) (粳) (粳) (粳) (粳) (粳) (粳) (粳) (粳) (籼) (籼) (籼) (籼) (籼) (籼) (飼料米) (飼料米) (飼料米)	雫石町 紫波町 岩手町 花巻市 西和賀町 奥州市 一関市 大船渡市 遠野市 山田町 久慈市 二戸市 九戸村 九戸村 九戸村 九戸村 八幡平市 軽米町 久慈市	長山 星山 土川 鍋倉 沢内前郷 江刺区稲瀬 萩荘 日頃市 上郷町 豊間根 夏井 安比 荒谷 伊保内 山屋 戸田 田頭 上館 宇部町	
麦類耐寒雪性特性検定試験	一戸町	奥中山	
麦類奨励品種決定調査(現地調査)	一関市 矢巾町	舞川 煙山	
大豆奨励品種決定調査(現地調査)	奥州市 盛岡市	江刺区田原 玉山区	

内 容 (試験研究課題名)	市町村名	地 区 名	担 当 (関係研究室)
岩手118号現地試験	奥州市 奥州市 奥州市 奥州市	江刺区愛宕 江刺区田原 江刺区藤里 前沢区	技術部 作物
リンゴ育種系統の現地適応性試験	二戸市 宮古市 矢巾町 奥州市 一関市	金田一 内の沢 煙山 江刺区小倉沢 花泉町金沢	技術部 果樹
「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」 ブランド化を促進する果実の生産・加工技術の実証研究	陸前高田市	米崎町 広田町	
「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」 ブランド化を促進する野菜の生産・加工技術の実証研究	陸前高田市 大槌町	竹駒 高田 小友 大槌	技術部 野菜花き
長日要求性素材を利用した極晩抽性ハクサイの安定生産技術の確立	大船渡市	赤崎	
リンドウ栽培安定化技術の開発 (県育成極早生品種の株養成技術の開発)	奥州市 九戸村	衣川区 江刺家	
「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」 中山間地域における施設園芸技術の実証研究	陸前高田市	米崎	技術部 南部園芸
地域適応性の高いイチゴ系統の選定	陸前高田市	横田、下有住	
補給型施肥がりんごの樹体生育と果実品質、土壌蓄積養分に及ぼす影響	滝沢市 花巻市	滝沢 石鳥谷滝田 石鳥谷五大堂	環境部 生産環境
リンドウ採花期間における環境にやさしい肥料の検討	八幡平市	安代	
水稻に対するケイ酸質肥料の施用効果の確認	花巻市	石鳥谷	
飼料用米新規肥料の施肥効果確認	花巻市	西宮野目	
大豆における粗粒でんろ石灰の土壌pH矯正と土づくり肥料効果の確認	奥州市	江刺区	
麦一発肥料の肥効確認	紫波町	大巻	
ナス鮮度保持技術確立	一関市	花泉	
「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」 復旧水田での地力改善による水稻の安定生産実証	陸前高田市	竹駒、広田	
鉄コーティング湛水直播栽培における病害虫防除技術の確立	①紫波町 ②北上市 ③奥州市 ④一関市	①赤石 ②藤根 ③水沢区佐倉河 ④千厩	病理昆虫
大豆のマメシンクイガに対する効率的な防除対策の確立	①矢巾町 ②紫波町	①南矢幅 ②犬草	
ハダニ類を主体としたリンゴ病害虫防除体系の最適化	①紫波町	①西長岡	
りんどうこぶ症関連ウイルス(GKaV)の伝搬経路の探索	①八幡平市 ②雫石町	こぶ症発症圃場	

内 容 (試験研究課題名)	市町村名	地 区 名	担 当 (関係研究室)
新農薬の効果試験と防除指針作成	①三戸町 ②軽米町 ③岩手町 ④八幡平市 ⑤盛岡市 ⑥奥州市 ⑦一関市	①斗内 ②晴山 ③南山方 ④松尾村 ⑤羽場 ⑥江刺区、衣川区 ⑦花泉町	病理昆虫
生産農場におけるパークシャー種豚群の遺伝的改良システムの構築	岩泉町		畜産研究所 家畜育種
パークシャー種における飼料用米活用による豚肉の高品質化・高付加価値化技術の開発			
飼料用トウモロコシの不耕起栽培の現地実証	一戸町	奥中山	家畜飼養・飼料
飼料畑におけるアレチウリ防除技術の確立	八幡平市	前森	
大規模酪農経営における牛加速度センサー・咀嚼計等を活用した牛群管理技術の確立	一戸町	奥中山	
外部支援組織の運営効率化支援システムの確立	滝沢市、奥州市、金ヶ崎町、 花巻市、西和賀町、一関市		
寒冷時期生産牧草サイレージへの低温性乳酸菌添加による牧草サイレージおよび発酵TMRの品質向上技術の確立	八幡平市	上坊	外山畜産
キャベツ10月収穫作型の確立	岩手町 八幡平市	御堂 若谷地	県北農業研究所 園芸
リンドウ極早生品種の株養成技術	九戸村	長興寺 江刺家	
県北・沿岸地域における低コスト稲作技術の確立	二戸市	金田一	県北農業研究所 作物
県北部における大豆難防除雑草の除草体系の構築	二戸市	金田一	
薬用作物の機械除草体系の確立	軽米町		
薬用作物に効果的な除草剤の適用試験	岩手町		
水稲奨励品種決定調査(2)本調査②早生系統	九戸村 九戸村 九戸村 九戸村 久慈市 二戸市 八幡平市 軽米町 久慈市	江刺家 長興寺 荒谷 戸田 夏井 安比 田頭 上館 宇部町	

Ⅲ 試験研究の成果

Ⅲ 試験研究の成果

1 試験研究成果

(1)平成27年度成果数

成果区分	普及 (普及に移しうる 成果)	指導 (技術指導に 参考となる成果)	行政 (行政施策等に反 映すべき成果)	研究 (研究手法等に 関する成果)	総計
1 農業構造・経営管理	0	0	0	0	0
2 水稻	1	2	3	0	6
3 畑作物	0	1	0	0	1
4 作業技術	0	1	0	0	1
5 果樹	1	4	0	0	5
6 野菜	1	1	0	2	4
7 花き	2	0	0	1	3
8 生産環境	0	1	0	0	1
9 土壌作物栄養	0	1	0	0	1
10 病害虫制御	0	1	2	0	3
11 乳用牛	0	0	0	0	0
12 肉用牛	0	1	6	2	9
13 中小家畜(豚・鶏)	0	1	0	0	1
14 草地・飼料作物	1	3	0	0	4
15 畜産環境	0	0	0	0	0
16 県北農業振興	0	2	0	1	3
17 震災復興	0	1	0	1	2
[計]	6	20	11	7	44

普及:農家等へ普及することによって、経済効果や経営改善等が見込まれる成果

指導:普及指導員等の技術指導上の参考として適当と認められる成果

行政:行政からのニーズに対応した研究成果等で、行政施策の企画等に参考になると認められるもの

研究:研究手法・分析手法、育種母本等に関するもの

(2) 平成27年度成果名一覧

【普及(普及に移しうる成果)】

分野	成果番号	成果名	担当研究室
2 水稲	(H27-普-01)	水稲新品種「銀河のしずく」の高品質・良食味米安定栽培法	技術部作物研究室
4 果樹	(H27-普-02)	りんご「大夢」の収穫適期判断	技術部果樹研究室
5 野菜	(H27-普-03)	アスパラガス伏せ込み促成栽培における高温を利用した休眠打破技術	技術部野菜花き研究室
6 花き	(H27-普-04)	8月上中旬開花の切り花向け青色リンドウF1品種「いわてEB-2号」の育成	技術部野菜花き研究室
6 花き	(H27-普-05)	8月中旬開花の切り花向け青色リンドウF1品種「いわてMB-2号」の育成	技術部野菜花き研究室
14 草地・飼料作物	(H27-普-06)	生育速度の速い草種を併用した放牧地の春期草地更新技術	畜産研究所外山畜産研究室

【指導(技術指導に参考となる成果)】

分野	成果番号	成果名	担当研究室
7 作業技術	(H27-指-01)	中小区画ほ場における小型汎用コンバインの導入条件	プロジェクト推進室
2 水稲	(H27-指-02)	超強力小麦「銀河のちから」の高品質安定栽培法	技術部作物研究室
2 水稲	(H27-指-03)	平成27年岩手県産水稲の生育経過の特徴と作柄・品質に影響した要因の解析	技術部作物研究室
8 生産環境	(H27-指-04)	岩手県の津波被災農地における水田雑草「コウキヤガラ」発生の確認	技術部作物研究室
3 畑作物	(H27-指-05)	大豆の補給型施肥による生育および収量	環境部生産環境研究室
9 土壌作物栄養	(H27-指-06)	津波被災後の復旧水田における水稲の生育及び収量向上事例	環境部生産環境研究室
16 県北農業振興	(H27-指-07)	アワ品種「ゆいこがね」の収穫適期	県北農業研究所作物研究室
4 果樹	(H27-指-08)	りんご品種「トキ」の栽培特性	技術部果樹研究室
4 果樹	(H27-指-09)	ヒオモン水溶剤によるりんご「ふじ」の裂果軽減効果と使用上の留意点	技術部果樹研究室
4 果樹	(H27-指-10)	ぶどう短梢栽培用平棚における「エーデルロツ」の仕立法	技術部果樹研究室
4 果樹	(H27-指-11)	ブルーベリー栽培における有機質資材の利用法(追補)	技術部果樹研究室
10 病虫害制御	(H27-指-12)	りんご園地におけるヒメボクトウ若齢幼虫の効果的な防除方法(追補)	環境部病理昆虫研究室
5 野菜	(H27-指-13)	ミニトマトの露地疎植栽培に適した誘引法(追補)	技術部野菜花き研究室
17 震災復興	(H27-指-14)	地域木質資源を用いた木質製園芸用ハウス	技術部南部園芸研究室
16 県北農業振興	(H27-指-15)	たまねぎ春まき作型におけるアザミウマ被害実態と有効薬剤	県北農業研究所園芸研究室
14 草地・飼料作物	(H27-指-16)	春期牧草播種技術と秋の追播による植生改善技術	畜産研究所家畜飼養・飼料研究室

分野	成果番号	成果名	担当研究室
14 草地・飼料作物	(H27-指-17)	耕起困難及び耕起不能採草地における利用再開後の施肥管理	畜産研究所家畜飼養・飼料研究室
14 草地・飼料作物	(H27-指-18)	希塩酸抽出法によるイネ科主体乾草のミネラル測定	畜産研究所家畜飼養・飼料研究室
13 中小家畜(豚・鶏)	(H27-指-19)	県内パークシャー種豚能力改良システムの構築	畜産研究所家畜育種研究室
12 肉用牛	(H27-指-20)	パーコール濃度15%のPBS溶液による胚の品質評価	畜産研究所家畜育種研究室

【行政(行政施策等に反映すべき成果)】

分野	成果番号	成果名	担当研究室
2 水稲	(H27-行-01)	平成27年度水稲奨励品種決定調査本調査・現地調査結果	技術部作物研究室
2 水稲	(H27-行-02)	平成28年度水稲奨励品種決定調査本調査・現地調査新規供試系統	技術部作物研究室
2 水稲	(H27-行-03)	平成28年度水稲奨励品種決定調査予備調査に供試する「岩手123号」「岩手124号」「岩手125号」「岩手126号」	技術部作物研究室
10 病害虫制御	(H27-行-04)	水稲種子生産における種子予措～育苗期のもみ枯細菌病およびばか苗病防除体系	環境部病理昆虫研究室
10 病害虫制御	(H27-行-05)	イネもみ枯細菌病菌の種子保菌状況を把握するための簡易検定法	環境部病理昆虫研究室
12 肉用牛	(H27-行-06)	日本短角種産肉能力検定(直接法)成績	畜産研究所家畜育種研究室
12 肉用牛	(H27-行-07)	日本短角種産肉能力検定(現場後代検定法)成績	畜産研究所家畜育種研究室
12 肉用牛	(H27-行-08)	黒毛和種子牛市場における産子番号と市場成績及び育種価表示との関連	畜産研究所種山畜産研究室
12 肉用牛	(H27-行-09)	黒毛和種産肉能力検定(直接法)成績	畜産研究所種山畜産研究室
12 肉用牛	(H27-行-10)	黒毛和種産肉能力検定(現場後代検定)成績	畜産研究所種山畜産研究室
12 肉用牛	(H27-行-11)	黒毛和種産肉能力検定(現場後代検定)成績(平成26年度成果追補)	畜産研究所種山畜産研究室

【研究(研究手法等に関する成果)】

分野	成果番号	成果名	担当研究室
5 野菜	(H27-研-01)	パプリカのロックウール栽培における育苗方法	技術部野菜花き研究室
5 野菜	(H27-研-02)	低圧細霧を用いた多段階飽差制御法	技術部野菜花き研究室
17 震災復興	(H27-研-03)	100坪ハウスにおける薪ストーブの燃焼および加温特性	技術部南部園芸研究室
16 県北農業振興	(H27-研-04)	雨よけほうれんそうの軽作業化・省力化のための農業機械の選定及びこれに適合する雨よけハウス(4Kハウス)設置のポイント	県北農業研究所園芸研究室

分野	成果番号	成 果 名	担当研究室
6 花き	(H27-研-05)	エゾリンドウとササリンドウの種間雑種における塊茎と越冬芽の特徴	技術部野菜花き研究室
12 肉用牛	(H27-研-06)	黒毛和種におけるゲノムワイド連関解析による有用なマーカーの検出	畜産研究所家畜育種研究室
12 肉用牛	(H27-研-07)	日本短角種におけるゲノムワイド連関解析による有用マーカーの検出	畜産研究所家畜育種研究室

2 追跡評価

○平成27年度追跡評価の概要

(1) 評価視点

岩手県農業研究センター試験研究課題評価実施要領別表5の規程により、「成果の活用状況」について、「現在も有効な成果であるか」「成果が経済活動等で活用されているか」の評価視点で追跡評価を実施。

(2) 追跡評価の調査方法

ア 評価1(評価の視点「現在も有効な成果であるか」)

(ア) 評価対象 平成9年度から平成23年度までに公表した「普及」、「指導」区分の試験研究成果(1,093成果)

(イ) 評価方法 成果の主査研究室が関係研究室と調整の上、自己評価

(ウ) 評価区分

- A: (現在でも)有効
- B: 目的達成(既に、成果の目的を達成し、現在では有効性がない)
- C: 後年度の成果に反映(更新)
- D: 無効(Bの概念に含まないもの)

イ 評価2(評価の視点「成果が経済的活動等で活用されているか」)

(ア) 評価対象

- a 平成24年度に公表した「普及」区分の研究成果(9成果)
- b 平成24年度に公表した「指導」区分の研究成果(24成果)

(イ) 評価方法

a 「普及区分」

(a) 本庁各室課が定める要綱・要領等に基づき検討されている成果は、自己評価を実施

- ① 農作物奨励品種等の決定及び改廃に関する要綱(奨励品種等)
※ 農産園芸課が所管する稲、麦類、豆類、果樹、野菜、花き等が対象
- ② 岩手県農作物病害虫・雑草防除指針作成要領(農薬の採用・使用上の留意点等)
- ③ いわて和牛改良増殖対策事業推進協議会設置要領(種雄牛の作出)
- ④ 日本短角種集団育種推進事業推進協議会設置要領(種雄牛の作出)

(b) 上記(a)以外の成果は、成果の活用状況(「成果活用による効果等」)について、以下により、生産者等に調査を依頼

- ① 評価調書による調査: 成果毎に調査対象者*1を定め、評価調書による調査を依頼
※ 調査対象者は、農業改良普及センターの協力を得て選定

a 「指導区分」

(a) 成果の活用状況について、主要農業改良普及センター等に調査を依頼

(b) 評価区分

- a 評価調書による調査: 成果毎に調査対象者を定め、評価調書による調査を依頼
※ 調査対象は、中央農業改良普及センターの協力を得て選定

(3) 追跡評価の結果

ア 評価1(評価の視点「現在も有効な成果であるか」)

評価区分	成果数
A	888
B	149
C	41
D	15
合計	1093

イ 評価2(評価の視点「成果が経済的活動等で活用されているか」)

(ア) 「普及区分」

a 自己評価

課題名	農家への普及状況	成果活用による効果
(H24-普-09)「粒が黄色く大きい短稈・多収の糯アワ新品種「アワ岩手糯3号」の育成」	B	A
注1) 農家への普及状況 A(目標の75%)、B(目標の50%から75%)、C(25%から50%)、D(25%未満)、-(目標値なし)		
注2) 成果活用による効果 A(大いにあった)、B(あった)、C(あまりなかった)、D(なかった)		

b 生産者による評価

課題名	成果の活用
水稲湛水作溝同時直播栽培における新たな低コスト排水装置	1.3
水稲有機栽培における機械除草を中心とした除草体系	3.0
湛水直播栽培における「つぶみのり」、「つぶゆたか」の出穂期予測に基づく	1.7
ディスク式畑用中耕除草機を改良した麦・大豆用畦立て播種機	1.4
ぶどう白色大粒品種「シャインマスカット」は短梢せん定に適する	2.0
ライ麦と飼料用トウモロコシ二毛作におけるトウモロコシ播種期および窒素施用	1.0
作溝式播種機を用いることによる傾斜放牧地での初冬期播種技術の有効性	1.3
大規模草地におけるトラクタ搭載型GPS作業支援システムを活用した牧草反	1.5
注) 成果の活用は「よく活用」を3、「たまに活用」を2、「活用機会がない」を1、「活用できない」を0として加重平均した。	

b 普及センター等による評価

課題名	指導効果等の向上
農業技術体系データ⇒Z-BFMデータ変換ツール[FS-DATA to Z-BFM]	2.3
平成24年岩手県産水稲の生育経過の特徴と作柄・品質に影響した要因の解析	3.0
平成24年岩手県産小麦の生育経過の概要と特徴	3.0
平成24年岩手県産大豆の生育経過の概要と特徴・特に夏季高温干ばつの影響の解析	3.0
りんご新規鮮度保持剤「1-MCP剤(スマートフレッシュTM)」の利用上の留意点	3.7
ブルーベリーの特徴評価と優良品種の選定(追補)	3.0
点滴かん水を利用した露地ピーマンのリン酸減肥技術と導入効果	3.0
トマトの低温障害果発生にかかると品種間差異と対策	2.3
大豆の安定生産のための土壌pH改良効果	3.0
水稲出穂期以降のアカスジカスミカメ防除対策	4.3
ダイズ害虫ウコンノメイガの要防除水準	4.3
キュウリ黒星病に対する感受性の品種間差異	2.7
施設ピーマンにおけるスワルスキーカブリダニの放飼条件	3.0
施設ピーマンにおける光反射資材の害虫侵入抑制効果	2.3
施設なすにおける光反射資材の害虫侵入抑制効果	2.0
リンドウホソハマキに対する数種殺虫剤の防除効果	3.8
飼料用トウモロコシ栽培における耕起作業前後の堆肥施用効果	2.7
飼料用トウモロコシ栽培における効果的な除草剤処理法	2.7
日本短角種における舎飼期自然交配により生産された早生まれ子牛の発育成績	1.7
発酵バターミルク等を活用したリキッドフィーディング	1.3
ほうれんそう産地における土壌中の硫酸イオン蓄積の実態と蓄積要因	3.5
県北地域におけるりんどう「いわて夢あおい」露地トンネル栽培の不織布被覆期間およびその効果	1.0
アワ、キビの移植栽培における移植時期と適する栽植密度	2.0
ヒエを加害するイネヨトウの越冬世代羽化消長とBT剤による防除時期	1.3
注) 指導効果等の向上は「大いに向上した」を4、「向上した」を3、「あまり向上しなかった」を2、「向上しなかった」を1、未回答を0として加重平均した。	

3 東北農業試験研究成果

<研究成果情報>

(1) 研究成果数

推進部会名	稲	畑作物	農業生産基盤	野菜花き	果樹	生産環境	畜産飼料作	計
研究成果数	0	1	1	4	2	0	2	10

(2) 研究成果名

推進部会名	成 果 名	分 類	主査研究室
畑作物	超強力小麦「銀河のちから」の高品質安定栽培法	普及	作物(技術部)
農業生産基盤	中小区画ほ場における小型汎用コンバインの導入条件	普及	プロジェクト推進室
野菜花き	アスパラガス伏せ込み促成栽培における高温処理による11月生産技術	普及	野菜花き
	タマネギ春まき栽培における除草剤体系処理による雑草防除法	研究	園芸(県北)
	ハウレンソウの高能率化に適した作業機械及び雨よけハウス設置のポイント	研究	園芸(県北)
	エゾリンドウおよびササリンドウの種間雑種における塊茎と越冬芽の特徴	研究	野菜花き
果樹	リンゴ「大夢」の収穫期はふじの地色カラーチャート指数で判断される	研究	果樹
	リンゴ剪定枝チップのマルチ資材としての利用効果	研究	果樹
畜産飼料作	春期草地更新時にイタリアンライグラスを混播すると更新当年から放牧できる	普及	外山畜産
	オーチャードグラス採草地の春期播種技術と秋の追播による植生改善技術	研究	家畜飼養・飼料

IV 試験研究成果の発表

IV 試験研究成果の発表

1 試験成績書等刊行物

資料番号等	表題名	発行年月	総頁数
企画管理部 経営 26 No.1	平成25年度 26年度 試験研究成績書(農業経営研究室)	28.3	240
技術部 技術 27 No.1	平成27年度 水稲関係除草剤試験成績書(技術部作物研究室)	27.10	180
技術 26 No.3	平成26年度 作物研作物栽培チーム成績書(技術部作物研究室)	27.3	
技術 27 No.2	平成26年度 果樹試験成績書(技術部果樹研究室)	28.1	270
	リンゴ産地の早期再生を図る早期成園化・品質向上マニュアルver.1	28.2	29
環境部 環境 27 No.1	平成27年度 試験研究成績書(病理昆虫研究室)	28.4	300
環境 27 No.2	平成27年度 試験研究成績書(生産環境研究室)	28.3	170
環境 27 No.3	稲細菌病類(もみ枯細菌病・苗立枯細菌病)を主体とした種子伝染性病害の総合防除技術の確立 事業完了報告書	28.3	50
病虫害防除部	平成27年度 植物防疫事業年報	28.5	180
畜産研究所 畜産 27 No.1	平成27年度試験成績書(畜産研究所)	28.3	88
県北農業研究所 県北 27 No.1	平成27年度 試験研究成績書(園芸研究室)	27.3	89
県北 27 No.2	平成27年度 試験研究成績書(作物研究室)	27.4	100

2 研究レポート(平成27年度発行分)

No.	試験研究成果名	担当研究室
789	水稲新品種「銀河のしずく」の高品質・良食味米安定栽培法	作物(技術)
790	りんご「大夢」の収穫適期判断	果樹
791	伏せ込み床の熱を利用してアスパラガスの休眠を簡単に打破しよう！	野菜花き
792	8月上中旬開花の切り花リンドウF1品種「いわてEB-2号」の育成	野菜花き
793	8月中旬開花の切り花リンドウF1品種「いわてMB-2号」の育成	野菜花き
794	生育速度の速い草種を併用した放牧地の春期草地更新技術	外山畜産
795	中小区画ほ場における小型汎用コンバインの導入条件	プロジェクト推進
796	超強力小麦「銀河のちから」の高品質安定栽培法	作物(技術)
797	岩手県の津波被災水田で雑草「コウキヤガラ」が発生しています	作物(技術)
798	大豆の補給型施肥による生育及び収量	生産環境
799	津波被災後の復旧水田における水稲の生育及び収量向上事例	生産環境
800	アワ品種「ゆいこがね」の収穫適期	作物(県北)
801	りんご品種「トキ」の栽培特性	果樹
802	ヒオモン水溶剤によるりんご「ふじ」の裂果軽減効果と使用上の留意点	果樹
803	ぶどう短梢栽培用平棚における「エーデルロツソ」の仕立法	果樹
804	ブルーベリー栽培における有機質資材の利用法(追補)	果樹
805	りんご園地におけるヒメボクトウ若齢幼虫の効果的な防除方法(追補)	病理昆虫
806	ミニトマトの露地疎植栽培に適した誘引法(追補)	野菜花き
807	地域木質資源を用いた園芸用ハウス(木骨ハウス)	南部園芸
808	たまねぎ春まき作型におけるアザミウマ被害と有効薬剤	園芸(県北)
809	オーチャードグラスの春期播種と秋の追播による植生改善技術	家畜飼養・飼料
810	利用再開した耕起困難採草地へは標準量の施肥を忘れずに！	家畜飼養・飼料
811	希塩酸抽出法によるイネ科主体乾草のミネラル測定	家畜飼養・飼料
812	県内パークシャー種豚能力改良システムの構築	家畜育種
813	水稲種子生産における種子予措～育苗期のもみ枯細菌病およびばか苗病防除体系	病理昆虫

No.	試験研究成果名	担当研究室
814	日本短角種産肉能力検定(直接法)成績	家畜育種
815	日本短角種産肉能力検定(現場後代検定法)成績	家畜育種
816	黒毛和種子牛市場における産子番号と市場成績及び育種価表示	種山畜産
817	県基幹種雄牛に「百合茂勝」、「晴奈」、「照也」、「花金幸」を選抜	種山畜産
818	ほうれんそう栽培を高能率化する作業機械及び4Kハウス	園芸(県北)
819	黒毛和種・日本短角種におけるゲノムワイド連関解析	家畜育種
820	低温条件下における牧草サイレージへの低温性乳酸菌添加効果	外山畜産
821	パーコール濃度15%のPBS溶液による胚の品質評価	家畜育種

3 岩手県農業研究センター研究報告

第14号(平成27年10月発行)

区分	論文題名	著者	所属
報文	日本短角種における遺伝的マーカーを利用した育種方法に関する研究	佐藤 洋一	元畜産研究所家畜育種研究室 (現 岩手県立農業大学校)
	アワ新品種「ゆいこがね」の育成	仲條 眞介	県北農業研究所作物研究室 (現 技術部作物研究室)
要報	放牧地における作溝式播種機を用いた簡易更新の有用性	佐々木 正俊	畜産研究所外山畜産研究室
		菊池 恭則	元畜産研究所外山畜産研究室 (現 サージミヤワキ株式会社)
		増田 隆晴	畜産研究所外山畜産研究室
飼料用とうもろこし栽培における耕起作業前後のたい肥施用効果		山形 広輔	畜産研究所家畜飼養・飼料研究室
		尾張 利行	畜産研究所家畜飼養・飼料研究室
		佐藤 直人	元畜産研究所家畜飼養・飼料研究室 (現 岩手県立農業大学校)
くず大豆を輸入大豆粕の代替として用いた発酵TMRの産乳性、消化性の評価		齋藤 浩和	元畜産研究所家畜飼養・飼料研究室 (宮古農業改良普及センター岩泉普及サブセンター)
		木戸場 結香	元畜産研究所家畜飼養・飼料研究室 (現 県北広域振興局農政部二戸農林振興センター)
		佐藤 直人	元畜産研究所家畜飼養・飼料研究室 (現 岩手県立農業大学校)
		嶺野 英子	(独)農業・食品産業技術総合研究機構 東北農業研究センター

第15号(平成28年3月発行)

区分	論文題名	著者	所属
報文	休眠特性の解明によるアスパラガス新作型の開発	山口 貴之	技術部野菜花き研究室
要報	黒毛和種去勢肥育牛における給与飼料中のNFC/DIP比と尿石症発症リスクの関連性	児玉 英樹	畜産研究所家畜育種研究室
		神山 洋	畜産研究所家畜育種研究室
		米澤 智恵美	元畜産研究所家畜育種研究室 (現 中央農業改良普及センター軽米普及サブセンター)
		鈴木 強史	元畜産研究所家畜育種研究室 (現 沿岸広域振興局農林部)
		齋藤 久孝	元畜産研究所家畜育種研究室 (現 岩手県中央家畜保健衛生所)
		細川 泰子	畜産研究所家畜育種研究室

4 学会等研究報告

(1) 学術論文(専門家の査読を受け、掲載された論文)

H26年分

日本土壌肥科学会(2014年東京大会:2014.9.9~11開催・東京農工大学小金井キャンパス)

- | |
|--|
| <p>○高橋 彩子*1(ほか)(2014)
水田土壌の地力低下の実態とその対策
日本土壌肥科学雑誌86(4):332-338 資料
*1現・奥州農業改良普及センター</p> |
|--|

H27年分

東北農業研究

- | |
|--|
| <p>○仲條真介・尾形茂・小館琢磨
良食味で耐冷性、耐病性、耐倒伏性の水稻品種「岩手107号」の育成
東北農業研究 68 : 9-10</p> |
| <p>○太田裕貴 1・野々上慈徳 2
1岩手県農業研究センター、2岩手県生物工学研究センター
DNAマーカーを利用したもち病真性抵抗性遺伝子型推定
東北農業研究 68 : 53-54</p> |
| <p>○藤田智美1・吉田宏1・寺田道一1・松浦貞彦2・高橋昭喜3
1岩手県農業研究センター、2岩手県中央農業改良普及センター、3岩手県二戸農業改良普及センター
ディスク式畑用中耕除草機を活用した大豆の一貫栽培体系
東北農業研究 68 : 63-64</p> |
| <p>○小原公則・荻内謙吾
超強力小麦「銀河のちから」の原粒タンパク質含有率と容積重を確保するための後期窒素追肥量
東北農業研究 68 : 73-74</p> |
| <p>○飯村太一1・増田隆晴1・佐々木正俊2
1岩手県農業研究センター畜産研究所、2岩手県中央農業改良普及センター
イタリアンライグラスを併用した放牧地の春期更新・夏期利用技術
東北農業研究 68 : 81-82</p> |
| <p>○伊藤孝造1・齋藤浩和2
1岩手県農業研究センター畜産研究所、2宮古農業改良普及センター岩泉普及サブセンター
経産牛用TMRを利用した乳用育成牛の早期育成技術
東北農業研究 68 : 91-92</p> |
| <p>○浅川知則1・川守田真紀1・佐々木真人1・小原繁2・及川耳呂3
1岩手県農業研究センター、2岩手県農林水産部農産園芸課、3一関農業改良普及センター
11月中旬に収穫される着色良好で貯蔵性が優れるリング赤色品種「岩手4号」
東北農業研究 68 : 99-100</p> |
| <p>○福田拓斗1・横田啓1・武田純子2
1岩手県農業研究センター県北農業研究所、2岩手県久慈農業改良普及センター
岩手県のタマネギ春まき作型における除草剤及び処理時期の違いによる除草効果
東北農業研究 68:125-126</p> |
| <p>○鈴木朋代1・清宮靖之2・山根弘陽3・山田修4・藤尾拓也1・太田祐樹1・川村浩美1
1岩手県農業研究センター、2岩手県工業後術センター、3農業生産法人株式会社GRA、4岩手県中央農業改良普及センター
インタープランティングを活用したトマトの3段階摘心新栽培様式における栽植密度の検討
東北農業研究 68:137-138</p> |
| <p>○田中英輝
地域未利用資源を活用した商品開発と地域ブランド化について
東北農業研究 68 : 169-170</p> |
| <p>○村上和史
岩手県における地下水位制御システムの導入状況と課題
東北農業研究 68 : 171-172</p> |

農村経済研究

- 高橋太一*1・前山 薫(2015)
地域シンポジウムの概要報告「新政策に対する担い手の動向と展開方向－岩手県の実態をふまえて－」
農村経済研究 第33巻第1号:39-43
*1 東北農研

園芸学研究

- 山口貴之1・前田智雄2
アスパラガス一年生株には休眠導入されない発育相が存在する
園学研. (Hort.Res.(Japan)) 15(1):67-72.2016
1 岩手県農業研究センター, 2 弘前大学農学生命科学部

日本作物学会東北支部報

- 阿部陽2、野々上慈徳2、菅原浩視1
(1 岩手農研セ、2 岩手生工研)
イネ初期伸長性QTL “qPHS3-2” が湛水直播の初期生育に与える効果
日本作物学会東北支部報58 : 23-24
- 小館琢磨、太田裕貴
異なる窒素施肥量が岩手県における水稻多収品種の着粒構造に及ぼす影響について
日本作物学会東北支部報58 : 65-66

プロジェクト研究成果シリーズ(農林水産省農林水産技術会議事務局)

- 太田久稔1、福嶋陽1、梶亮太1、津田直人1、中込弘二1、前田一春2、菅原浩視3、小館琢磨3
(1 東北農研セ、2 青森農林総研、3 岩手農研セ)
多収でいもち病抵抗性・耐冷性・識別性を有する飼料用米品種の育成
(1)東北地域北中部向けの多収飼料用米品種の育成
研究成果第545号 低コスト・省力化、軽労化技術等の開発-自給飼料を基盤とした国産畜産物の高付加価値化技術の開発(育種) -: 17-21

日本土壤肥科学雑誌

- 佐藤 喬*1(2015)
津波被災農地の実態調査
1.岩手県の無作付水田における土壌ECを指標とした塩類の溶脱に対する土壌物理性の影響
日本土壤肥科学雑誌 86(5):396-398 進歩総説
*1(現在)二戸農業改良普及センター
- 佐藤 喬*1(2015)
津波被災農地の実態調査
3.岩手県の津波被災水田での土壌ECを指標とした除塩後および塩類濃度が異なるポット栽培における水稻生育反応
日本土壤肥科学雑誌 86(5):424-427 進歩総説
*1(現在)二戸農業改良普及センター
- 村上 圭一*1・佐藤 喬*2・小柳 渉*3・加藤直人(2015)
植物栄養学を生かした農業生産技術について
5.生産現場におけるリン酸過剰に対応した低コスト施肥技術
一家畜ふん等を利用した低コスト・肥料低減技術の事例紹介－
日本土壤肥科学雑誌 86(5):475-481 講座
*1三重県農林水産部、*2(現在)二戸農業改良普及センター、*3新潟農総研畜研セ、*4農研機構中央農総研
- 佐藤 喬*1・大友 英嗣*2・吉田 宏*3(2015)
津波により被災した岩手県沿岸部水田のECを指標とした土壌塩類の溶脱に対する自然降雨と土壌理化学性の影響
日本土壤肥科学雑誌 86(6):553-556
*1(現在)二戸農業改良普及センター、*2(現在)一関農業改良普及センター、*3県北農研(現在:岩手農研)

北日本病害虫研究会報

菅 広和・富永 朋之*(2015) 水稻品種「ひとめぼれ」における薬剤茎葉散布による穂いもち防除効果 北日本病害虫研究会報 66:18-22 *現宮古農業改良普及センター岩泉普及サブセンター
菅 広和・富永 朋之*(2015) 穂いもち防除を省略した水稻品種「ひとめぼれ」差以内地域における穂いもち被害発生リスク評価 北日本病害虫研究会報 66:23-26 *現宮古農業改良普及センター岩泉普及サブセンター
久保田 真衣・横田 啓(2015) マメシクイガに対する各種殺虫剤の防除適期 北日本病害虫研究会報 66:129-131
羽田 厚・藤根勝榮*(2015) 岩手県のブドウ園におけるクビアカスカシバの発生生態に基づいた防除機の推定 北日本病害虫研究会報 66:157-159 * 花巻市葡萄ヶ丘農業研究所
○横田 啓・藤沢 巧・福田拓斗・鈴木良則(2015) ホウレンソウケナゴコナダニに対する殺虫剤の防除効果と施肥の影響 北日本病害虫研究会報 66:140-143

Systematic and Applied Acarology (印刷中)

HIROSHI HADA, NORIHIDE HINOMOTO*1 & TETSUO GOTOH*2(2016) Genetic structure of Tetranychus urticae (Acari: Tetranychidae) populations under acaricide selection pressure assessed using microsatellite markers *1中央農研 *2 茨城大学
--

(2)学会発表(発表要旨)

H27年分

東北農業経済学会(第51回新潟大会:2015.8.28~29開催・新潟大学)

○田中英輝

半農半漁地域における営農展開の方向性ー岩手県陸前高田市広田地区を事例としてー
(個別報告)

園芸学会(平成27年度秋季大会:2015.9.26~28開催・徳島県 徳島大学常三島キャンパス 園芸学研究. 14(別2): 2015.9月発行)

○阿部弘1・内藤善美1・梅澤学2・高橋正樹2・関根健太郎3・高橋秀行3

エンゾリンドウに発生したまだら退色症状
2015.園学研. (Hort. Res. (Japan)) (別) 2: 245.
1岩手農研セ, 2中央農改普セ, 3岩手生工研セ

○北條怜子1・染谷美和2・鈴木玲美2・樋口洋子2・青木理佐3・岩崎美和3・萩原綾乃3・清水雅司3・藤尾拓也4・甲村浩之3・

山初仁志5・加藤正一5・松永邦則6・元木悟2
異なる地域におけるソバージュ栽培が露地夏秋どりミニトマトの収量および品質に及ぼす影響
2015.園学研. (Hort. Res. (Japan)) (別) 2: 245.
1明治大院農学研究科, 2明治大農学部, 3県立広島大生命循環学部, 4岩手農研セ, 5秋田横手市実験農場, 6パイオニアエコサイエンス(株)

○吉田泰1・藤尾拓也1・山口貴之1・松浦拓也1・元木悟2・北條怜子3・染谷美和2・樋口洋子2・松永邦則4・高橋守1

ミニトマトの露地栽培におけるソバージュ栽培の2つの誘引法が収量に及ぼす影響
2015.園学研. (Hort. Res. (Japan)) (別) 2: 425.
1岩手農研セ, 2明治大農学部, 3茨城鹿行農林事務所, 4パイオニアエコサイエンス(株)

○藤尾拓也1・山口貴之1・松浦拓也1・吉田泰1・安東赫2・中野明正2・高橋守1・太田祐樹1

1液型肥料を用いたトマトの循環式ロックワール栽培における培養液組成の変動
2015.園学研. (Hort. Res. (Japan)) (別) 2: 432.
1岩手農研セ, 2農研機構野菜茶研

○加藤一幾1・武藤由子1・高島真輔1・立澤文見1・藤尾拓也2・高橋守2・小玉智3・戸塚悠介4・雑賀正人4・勝野志朗4・大込敏夫4

岩手県大槌町におけるシタケ廃菌床を利用したクッキングトマト栽培(第2報)
2015.園学研. (Hort. Res. (Japan)) (別) 2: 436.
1岩手大農学部, 2岩手農研, 3キセキ東北, 4井関農機

○千葉彩香1・山田修2, 太田祐樹1・藤尾拓也1・石村眞一3・小国克也3・水戸谷剛4・佐藤良4・小野寺牧民4・赤堀卓央4・田上栄司4・松田周5・吉越恆5・川村浩美1

イチゴ栽培における薪ストーブ加温による加温特性
2015.園学研. 園芸学研究. 14(別2): 413.
1岩手農研セ, 2岩手中央農改セ, 3石村工業(株), 4東日本機電開発(株), 5農研機構近中四農研セ

○太田祐樹1・熊谷秀明2・千葉彩香1・鈴木朋代1・山田修3・藤尾拓也1・山崎浩道4・松田周5・吉越恆5・川村浩美1

岩手県沿岸部の被災地域における木質ハウスを利用したイチゴの周年栽培
2015.園学研. 園芸学研究. 14(別2): 404.
1岩手農研セ, 2木楽創研(株), 3岩手中央農改セ, 4農研機構東北農研セ, 5農研機構近中四農研セ

○横田 啓・福田拓斗(2015)

岩手県のたまねぎ春まき作型におけるセルトレイ育苗法
園芸学研究 第14巻 別冊2 -2015- 園芸学会平成27年度秋季大会研究発表およびシンポジウム講演要旨:p479

・横田 啓○福田拓斗(2015)

岩手県のたまねぎ春まき作型における収穫適期の検討
園芸学研究 第14巻 別冊2 -2015- 園芸学会平成27年度秋季大会研究発表およびシンポジウム講演要旨:p480

園芸学会アスパラガス研究小集会(平成28年度春季大会:2016.3.25開催・東京農業大学厚木キャンパス)

○山口貴之

アスパラガスの休眠とその制御

東北農業試験研究第58回発表会(2015.7.28 開催・山形市)・東北農業研究(第68号)

○仲條真介・尾形茂・小館琢磨 良食味で耐冷性、耐病性、耐倒伏性の水稲品種「岩手107号」の育成 東北農業研究 68:9-10
○太田裕貴 1・野々上慈徳 2 1岩手県農業研究センター、2岩手県生物工学研究センター DNAマーカーを利用したもち病真性抵抗性遺伝子型推定 東北農業研究 68:53-54
○藤田智美1・吉田宏1・寺田道一1・松浦貞彦2・高橋昭喜3 1岩手県農業研究センター、2岩手県中央農業改良普及センター、3岩手県二戸農業改良普及センター ディスク式畑用中耕除草機を活用した大豆の一貫栽培体系 東北農業研究 68:63-64
○小原公則・荻内謙吾 超強力小麦「銀河のちから」の原粒タンパク質含有率と容積重を確保するための後期窒素追肥量 東北農業研究 68:73-74
○飯村太一1・増田隆晴1・佐々木正俊2 1岩手県農業研究センター畜産研究所、2岩手県中央農業改良普及センター イタリアンライグラスを併用した放牧地の春期更新・夏期利用技術 東北農業研究 68:81-82
○伊藤孝造1・齋藤浩和2 1岩手県農業研究センター畜産研究所、2宮古農業改良普及センター岩泉普及サブセンター 経産牛用TMRを利用した乳用育成牛の早期育成技術 東北農業研究 68:91-92
○浅川知則1・川守田真紀1・佐々木真人1・小原繁2・及川耳呂3 1岩手県農業研究センター、2岩手県農林水産部農産園芸課、3一関農業改良普及センター 11月中旬に収穫される着色良好で貯蔵性が優れるリング赤色品種「岩手4号」 東北農業研究 68:99-100
○福田拓斗1・横田啓1・武田純子2 1岩手県農業研究センター県北農業研究所、2岩手県久慈農業改良普及センター 岩手県のタマネギ春まき作型における除草剤及び処理時期の違いによる除草効果 東北農業研究 68:125-126
○鈴木朋代1・清宮靖之2・山根弘陽3・山田修4・藤尾拓也1・太田祐樹1・川村浩美1 1岩手県農業研究センター、2岩手県工業後術センター、3農業生産法人株式会社GRA、4岩手県中央農業改良普及センター インタープランティングを活用したトマトの3段階心新栽培様式における栽植密度の検討 東北農業研究 68:137-138
○田中英輝 地域未利用資源を活用した商品開発と地域ブランド化について 東北農業研究 68:169-170
○村上和史 岩手県における地下水位制御システムの導入状況と課題 東北農業研究 68:171-172

日本作物学会(第241回講演会—2016春季:2016.3.28~29開催・茨城大学)

○小館琢磨・太田裕貴 水稲品種“ひとめぼれ”の粒厚が玄米品質および米飯物性に与える影響 日本作物学会第241回講演会要旨集(2016):106
○河本健正 1・仲條真介 2・上村松生 1・下野裕之 1 (1 岩手大学・2 岩手農研セ) 次世代のイネ穂ばらみ期耐冷性に着粒位置が及ぼす影響 日本作物学会第241回講演会要旨集(2016):211

日本作物学会東北支部会 第58回講演会(2015.8.20 開催・岩手大学)

<p>○阿部陽2、野々上慈徳2、菅原浩視1 (1 岩手農研セ、2 岩手生工研) 岩手県北における水稲直播栽培の新たな適応性評価法の提案 支部会報. 58 : 23-24</p>
<p>○小館琢磨、太田裕貴 異なる窒素施用量が岩手県における水稲多収品種の着粒構造に及ぼす影響について 支部会報. 58 : 65-66</p>

農業環境工学関連5学会2015年合同大会(2015.9.14~18 開催:岩手大学)

<p>○岡留博司1、齊藤勲2、安江紘幸3、御子柴義郎3、持田秀之3、太田久稔3、小館琢磨4、五月女格1、佐々木朋子1 (1農研機構食総研、2(株)ナカショク、3農研機構東北農研セ、4岩手農研セ) 三陸地域向け低アミロース米品種の炊飯・流通条件に伴う米飯物性の変動解析 農業環境工学関連学会合同大会講演要旨集</p>
<p>○川村浩美1・太田祐樹1・千葉彩香1・藤尾拓也1・山田修2・杉浦誠3 被災地域の農業復興に向けた岩手県農業研究センター南部園芸研究室の取り組み 農業環境工学関連5学会2015合同大会講演要旨集 C702 1岩手農研セ、2岩手県中央農業改良普及センター、3農研機構近畿中国四国農業研究センター</p>
<p>○太田祐樹1・熊谷秀明2・千葉彩香1・鈴木朋代1・山田修3・藤尾拓也1・松田周4・吉越恆4・川村浩美1 地域木質資源を利用したハウスの園芸への利用拡大に向けた現状と課題 農業環境工学関連5学会2015合同大会講演要旨集 C703 1岩手農研セ、2木楽創研(株)、3岩手中央農改セ、4農研機構近中四農研セ</p>
<p>○鈴木朋代1・熊谷秀明2・太田祐樹1・千葉彩香1・山田修3・藤尾拓也1・松田周4・吉越恆4・川村浩美1 地域木質資源を利用したハウスの構造および地域適応性 農業環境工学関連5学会2015合同大会講演要旨集 C705 1岩手農研セ、2木楽創研(株)、3岩手中央農改セ、4農研機構近中四農研セ</p>
<p>○千葉彩香1・山田修2、太田祐樹1・鈴木朋代1・藤尾拓也1・石村眞一3・小国克也3・水戸谷剛4・佐藤良4・小野寺牧民4・赤堀卓央4・田上栄司4・松田周5・吉越恆5・川村浩美1 地域木質資源を燃料源としたバイオマス加温機による暖房効果と廃熱の利用 農業環境工学関連5学会2015合同大会講演要旨集 C704 1岩手農研セ、2岩手中央農改セ、3石村工業(株)、4東日本機電開発(株)、5農研機構近中四農研セ</p>

園芸学会(平成28年度春季大会:2016.3.26~27開催・東京農業大学厚木キャンパス 園芸学研究. 15(別1): 2016.3月発行)

<p>○阿部弘1 エゾリンドウとササリンドウの種間雑種における塊茎と越冬芽の特徴 2016.園学研. (Hort. Res. (Japan)) (別) 1: 234. 1岩手農研セ</p>
<p>○山口貴之1・藤尾拓也1 アスパラガス伏せ込み促成栽培における高温を利用した休眠打破技術 2016.園学研. (Hort. Res. (Japan)) (別) 1: 165. 1岩手農研セ</p>
<p>○田崎啓介1・樋口敦美1・藤田晃平1・内藤善美2・阿部弘2・藤原一道3・高橋守2・佐々木伸大1・西原昌宏1 リンドウにおける八重咲き形質早期選抜用DNA マーカーの開発と育種への利用 2016.園学研. (Hort. Res. (Japan)) (別) 1: 211. 1岩手生工研セ、2岩手農研セ、3岩手花きセ</p>
<p>○藤尾拓也1・山口貴之1・松浦拓也1・吉田泰1・太田祐樹1・安東赫2・安場健一郎3・高橋守1 低圧細霧を用いた多段階飽差制御法の開発 2016.園学研. (Hort. Res. (Japan)) (別) 1: 330. 1岩手農研セ、2農研機構野菜茶研、3岡山大農学部</p>
<p>○北條怜子1・染谷美和2・中西祥2・藤尾拓也3・吉田泰3・元木悟2 ソバージュ栽培における雨よけ栽培での夏秋どりミニトマトの収量および品質 2016.園学研. (Hort. Res. (Japan)) (別) 1: 332. 1明治大院農学研究科、2明治大農学部、3岩手農研セ</p>

<p>○吉田泰1・藤尾拓也1・山口貴之1・松浦拓也1・元木悟2・北條伶子3・松永邦則4・高橋守1 ミニトマトのソバージュ栽培における品種と誘引法の違いが収穫作業に及ぼす影響 2016.園学研. (Hort. Res. (Japan)) (別) 1: 333. 1岩手農研セ, 2明治大農学部, 3明治大院農学研究科, 4パイオニアエコサイエンス(株)</p>
<p>○高島真輔1・武藤由子2・立澤文見2・藤尾拓也3・高橋守3・加藤一幾2 ポット試験においてシタケ廃菌床の施用がクッキングトマトの生育・収量と土壌窒素成分に及ぼす影響 2016.園学研. (Hort. Res. (Japan)) (別) 1: 337. 1岩手大院農学研究科, 2岩手大農学部, 3岩手農研セ</p>

日本土壌肥料学会 2015年東北支部大会 (2015.7.6～7開催・秋田市カレッジプラザ)

<p>○島 輝夫・小林卓史*1(2015) 岩手県陸前高田市津波被災水田における収量向上対策(第1報) *1 前岩手農研</p>
--

日本土壌肥料学会 (2015年京都大会:2015.9.9～11開催・京都大学吉田キャンパス)

<p>○佐藤 喬*1 ほか(2015) 岩手県津波被災農地の実態と除塩対策 シンポジウム「津波被災農地の営農再開における土壌肥料分野の貢献と課題」 日本土壌肥料学会61:202,講要 *1(現在)二戸農業改良普及センター</p>
--

第24回日本ダニ学会 (2015.9.11～13開催・東京都)

<p>○羽田 厚 (2015) リンゴ園地でカブリダニの有効な利用方法を考える</p>

第69回 北日本病害虫研究発表会 (2016.2.25～26開催・札幌市 北日本病害虫研究会報. 67: 印刷中)

<p>○菅 広和・久保田 真衣 (2016) 水稲鉄コーティング種子湛水直播栽培におけるいもち病の発生と防除効果に関する調査事例</p>
<p>○久保田 真衣・菅 広和(2015) 2015年岩手県中南部における直播水稲のイネミズゾウムシ発生様相</p>
<p>○羽田 厚・大友 令史 (2016) ヒメボクトウ若齢幼虫に対するフルベンジアミド水和剤の散布適期</p>
<p>○大友 令史・仲谷 房治*1 (2016) リンドウクダアザミウマ(新称)の発生と農業害虫としての可能性 *1 岩手県植物防疫協会</p>
<p>○細川 健*1・菅 広和・小山田 早希・佐藤美和子・岩館康哉*2 (2016) ナスの果実に見られた小陥没症について *1 一関農業改良普及センター *2岩手県農林水産部農業普及技術課</p>
<p>○小山田 早希・菅 広和・阿部 弘・佐藤 成利*1・鹿糠美雪*2・菅野千聖*2・館田知佳*3・白川明日佳*3 (2016) リンドウこぶ症発生圃場におけるリンドウこぶ症関連ウイルス(GKaV)感染株の分布について *1中央農改県域グループ *2盛岡農改 *3岩手生工研</p>
<p>○和賀 佳子・小山田 早希・富永 朋之*1 (2016) 岩手県におけるリンドウ黒斑病菌のQol剤感受性 *1 宮古農改岩泉サブ</p>
<p>○飯村茂之・吉田雅紀*1 (2015) 岩手県におけるコナガ個体群の数種殺虫剤に対する感受性 *1 農業普及技術課</p>
<p>○佐藤美和子・佐藤成利*1・梅澤学*2(2015) 岩手県におけるリンドウ黒斑病の早期発生事例 *1中央農業改良普及センター、*2中央農業改良普及センター</p>
<p>○横田 啓・福田拓斗 (2016) タマネギ春まき作型におけるアザミウマ被害実態と有効薬剤</p>

第20回 農林害虫防除研究会 (2015.7.21～22開催・ホルトホール大分 講演要旨)

○羽田 厚・大友令史 (2016)
岩手県のリンゴ園地におけるヒメボクトウの発生状況と防除対策
第20回 農林害虫防除研究会大分大会 講演要旨:p20

日本昆虫学会第76回大会・第60回日本応用動物昆虫学会大会合同大会 (2016.3.26～29開催・大阪府立大学 講演要旨)

○羽田 厚 (2016)
リンゴ園地でのカブリダニ類の有効な利用方法を考える
日本昆虫学会第76回大会・第60回日本応用動物昆虫学会大会合同大会 講演要旨集:p46

○横田 啓・福田拓斗(2016)
アザミウマはタマネギ腐敗に関与する？～殺虫剤散布頻度がネギアザミウマ密度とタマネギ収量及び腐敗球の発生に及ぼす影響～
日本昆虫学会第76回大会・第60回日本応用動物昆虫学会 講演要旨集:p95

平成28年度植物病理学会大会 (2016.3.21～23開催・岡山コンベンションセンター 講演要旨)

○菅 広和・尾形 茂・荻内 謙吾・宍戸 貴洋 (2016)
イネもみ枯細菌病菌簡易検出法を用いた種子の保菌状況調査と育苗期の苗腐敗症発生量の関係
日平成28年度植物病理学会大会 プログラム・講演要旨予稿集:p152

第25回 天敵利用研究会 (2015.12.3～4開催・静岡市)

○松橋 伊織・多田 典穂*1
岩手県の施設ピーマン栽培における土着天敵利用上の課題について
第25回 天敵利用研究会静岡大会 講演要旨集:p16
*1中央農改遠野サブ

第53回肉用牛研究会岩手大会 (2015.9.17～17開催・奥州市前沢ふれあいセンター)

○神山洋・細川泰子
岩手県における日本短角種種雄牛造成の取組み

第65回東北畜産学会宮城大会 (2015.8.27～28開催・東北大学院農学研究科)

○越川志津・伊藤孝浩・齋藤浩和・藤原哲雄
飼料用米を活用した自給率の高い乳牛の飼料給与技術

第104回日本養豚学会大会 (2016.3.17～18開催・東京農工大学農学部)

○佐々木康仁・細川泰子
穀類を飼料用米で全量代替した配合飼料がパークシャー種肥育後期豚の発育・肉質に及ぼす影響

5 雑誌等掲載

(1) 専門雑誌等

米麦改良

小原 公則	岩手県における超強力小麦「銀河のちから」の特性と加工利用に向けた取り組み (一社)全国米麦改良協会 2015.6:23-27
-------	---

(2) 月刊農業普及(平成27年4月号～平成28年3月号)

4月号	小林 卓史 太田 祐樹	農業研究センター試験研究レポート「鶏ふん堆肥に尿素を添加したL型肥料の開発と栽培実証」 らぼ・れたあ「建設足場資材利用園芸ハウスにおけるトマトの周年栽培実証試験」
5月号	長嶺 達也 山田 修	農業研究センター試験研究レポート「土壌くん蒸剤による難防除雑草ゴウシュウアリタソウの防除対策」 らぼ・れたあ 「2年目を迎え、より『エコ』に ～ 改良薪ストーブでイチゴハウスを暖房」
6月号	横田 啓 伊勢 智宏	農業研究センター試験研究レポート「ホウレンソウケナガコナダニの防除対策」 らぼ・れたあ 「お隣どうしの強みを活かして ～ 『農研センターと生工研との連携会議』を開催」
7月号	菅 広和 澤田 建	農業研究センター試験研究レポート「水稲品種『ひとめぼれ』におけるいもち病防除と葉いもち・穂いもち発生量の関係および現地ほ場における発生リスク」 らぼ・れたあ「増体系から肉質系まで広くカバー ～ 県基幹種雄牛4頭が新たにデビュー！」
8月号	久保田 麻衣 高橋 好範	農業研究センター試験研究レポート「大豆害虫マメシンクイガの薬剤別防除適期」 らぼ・れたあ「雑穀栽培の除草作業を大幅に省力化 ～ 雑穀機会移植実演会を開催」
9月号	吉田 徳子 中里 崇 大野 浩	特集 集落営農の法人化「各種経営支援ツール 生産技術体系及び営農計画支援シート」 農業研究センター試験研究レポート「切り花向け青色りんどうF1品種『いわてVEB-7号』、『いわてEB-1号』の育成」 らぼ・れたあ「かん水で若樹の生育を後押し ～ りんごフェザー苗樹のかん水試験」
10月号	仲條 眞介 佐々木 康仁	農業研究センター試験研究レポート「食味と栽培特性に優れた新品種『岩手107号』」 らぼ・れたあ「飼料自給率が高く、特徴ある豚肉生産に向けて ～ パークシャー種肥育豚への発芽粃米給与試験を開始」
11月号	横田 啓 福田 拓斗 舘ヶ沢 寛	農業研究センター試験研究レポート「端境期をねらったたまねぎ春まき作型で高単価・安定生産を目指す」 らぼ・れたあ 「創ろう豊かな県北農業 ～ 軽米地区県合同公所の一般公開デー開催」
12月号	飯村 太一 大野 浩	農業研究センター試験研究レポート「黒毛和種妊娠牛の冬期屋外飼養技術」 らぼ・れたあ 「ブドウ新品種の省力&加工技術の研修会を開催しました」
1月号	藤田 智美 谷地 誠	農業研究センター試験研究レポート「ディスク式畑用中耕除草機を活用した大豆の一貫栽培体系」 らぼ・れたあ「家畜の『命』に感謝を込めて ～ 畜産研究所『畜魂祭』を行いました」
2月号	伊藤 孝浩 仲條 眞介	農業研究センター試験研究レポート「経産牛用TMRを利用した乳用育成牛の早期育成技術」 らぼ・れたあ 「次代の水稲品種候補はどれだ!? ～ 水稲個体選抜」
3月号	中西 商量 鈴木 朋代	農業研究センター試験研究レポート「ポット苗田植機を汎用利用した雑穀の畑移植技術」 らぼ・れたあ「甘さも歯ごたえもしっかり! ～ 種子繁殖型イチゴ新品種『よつぼし』の試食会を開催」

(3) 岩手の畜産(平成27年5月号～平成28年3月号)

5月号	佐藤 まり子	耕起による除染をしない放牧地の利用再開後の施肥管理について
9月号	伊藤 孝浩	経産牛用TMRを活用した乳用育成牛の早期育成技術
11月号	伊藤 孝浩	高泌乳牛における乾乳期間の短縮が生産性に及ぼす影響～乾乳期間30日に短縮しても産乳性に影響なし～
1月号	尾張 利行	飼料用トウモロコシ栽培における土壌中交換性カリ含量に応じたカリ施用量と堆肥によるカリ代替効果

(4) 岩手りんごタイムス(平成27年4月号～平成28年3月号)

4月号	浅川 知則 川守田 真紀	凍霜害対策について 「マメコバチ」の利用方法
5月号	阿部 洋 阿部 洋 羽田 厚	ハダニ類の防除について りんごにおける幼果期の防除について 交信攪乱剤使用上の留意点
6月号	大野 浩 羽田 厚 和賀 佳子	樹勢の判定方法について 枝幹害虫の防除について 輪紋病と炭そ病の発生生態と防除
7月号	大野 浩 和賀 佳子 阿部 洋 阿部 洋	夏期管理について 効率的なすす対策について 農薬の安全・適正使用について 盛夏期の防除について
8月号	柳本 麻衣 阿部 洋	早生品種の管理について 収穫期前の防除について
9月号	浅川 知則 柳本 麻衣 数藤 慶亮	紅いわてについて スマートフレッシュについて りんごの施肥について
10月号	浅川 知則	「大夢」について
11月号	数藤 慶亮 阿部 洋	りんご園の土壌診断 野ネズミ(野そ)対策について
12月号	川守田 真紀 阿部 洋	改植の進め方 今年の病害虫防除を振り返って
1月号	渡辺 芳幸 大野 浩 羽田 厚	新年のあいさつ せん定について 平成28年りんご病害虫防除指針の主な改正点
3月号	廣田 志紀子	今旬の防除対策

(5) その他の雑誌等

技術と普及

高草木 雅人 普及が期待される新品種第12回アワ品種「ゆいこがね」、キビ品種「キビ岩手糯1号」 2015年5月号
--

畜産技術

深沢充・佐々木正俊 黒毛和種繁殖牛の寒冷地冬季屋外飼養の普及に向けて(2015.8号 国内情報) 佐々木康仁 穀類を飼料用米で全量代替した配合飼料がハークシャー種肥育後期豚(75-115kg)の発育・肉質に及ぼす影響(2016.1号 国内情報)

デーリマン

越川 志津 今月の技術「くず大豆の発酵TMR原料への利用」(2015.8月号) 今月の技術「飼料用米や大豆WCSを利用する給与技術」(2015.9月号) 伊藤 孝浩 技術フォーカス「経産牛用TMRを給与し初産分娩月齢を短縮」(2015.9月号) 今月の技術「乾乳期間の短縮が高泌乳牛に及ぼす影響」(2015.11月号) 尾張 利行 今月の技術「飼料用トウモロコシ栽培における堆肥のカリウム代替効果」(2015.10月号) 山形 広輔 今月の技術「エゾノギンギシを対象とする春期の草地防除」(2015.12月号)
--

土づくりとエコ農業

阿部 弘 リンドウの根張りに応じた効果的な施肥位置 土づくりとエコ農業, 一般財団法人日本土壌協会, 48(530) (2016) :19-22
--

二子町の歴史ものがたり 3年育成 二子ながいも 二子町は「さといも」同様「ながいも」も特産である

阿部 弘

「ナガイモ」の履歴書

二子町振興協議会(2015):8-11

農業時代

鈴木良則1・藤沢巧2

土壌くん蒸剤による難防除雑草ゴウシュウアリタソウの防除対策

日本曹達株式会社、197(2016):31-34

1岩手農研セ、2二戸農業改良普及センター

6 新聞等掲載

部所名	記事見出し ●は投込記事 ()は関連・間接情報	掲載紙	掲載年月日
共通			
	女性研究者の集い 互いの分野理解 岩手大でフェア	岩手日報	27.5.30
	本県女性研究者が交流 岩手大共同企画推進室 報告会やポスター展	盛岡タイムス	27.6.4
	農と林 より連携を 佐藤農林水産政務官が視察 気仙3市町で	東海新報	27.7.21
プロジェクト推進室			
	低コスト農業に理解深め 陸前高田で現地検討会 関係者が水田視察	岩手日報	27.7.31
	岩手県が技術開発 畦畔覆い雑草抑制 高山植物「イブキジャコウソウ」 定着早く耐寒性も	日本農業新聞	27.8.18
	新技術栽培の大豆初収穫 陸前高田の農事組合 官民で農業復興へ	岩手日報	27.10.27
	大豆新品種を収穫 県農研七実証試験 サンファーム小友 陸前高田	東海新報	27.10.27
	(日本シバで畦畔被覆 除草作業を軽労化 近中四農研セミナー)	日本農業新聞	27.10.30
	(特集 畦畔管理 近未来の畦畔管理 在来種「イブキジャコウソウ」)	日本農業新聞	28.2.19
企画管理部			
研究企画室			
	●池の動植物調査 5年生対象に一日研究員	岩手日日新聞	27.8.1
	●きょう参観・公開デー 農研、生物工学研センター	岩手日日新聞	27.9.5
	●成果、業務に触れる「岩手107号」試食も 県農研、生工研参観・公開デー	岩手日日新聞	27.9.6
	●バイオ研究に関心 北上 農業界連施設を公開	岩手日報	27.9.6
	●科学の夢 地方創生に 北上 研究職員らが研修会	岩手日報	27.11.14
	●生工研、農研合同セミナー ILC誘致 鈴木県立大学長迎え講演	岩手日日新聞	27.11.14
総務課			
	安全運転へ誓約書提出 県農業研究センター	岩手日日新聞	27.7.31
○農業科学博物館			
	●写真で知る昔の稲作 北上・農業科学博物館 55年当時の農具も	岩手日報	27.4.6
	●戦後の米作り知って 道具や機械展示 県立農業科学博物館	岩手日日新聞	27.4.14
	●ソバ栽培に挑戦しよう 8月から体験学習会 農業科学博物館	岩手日日新聞	27.6.18
	●昭和の田植え写真で 5日から企画展 農業科学博物館	岩手日日新聞	27.7.3
	●昭和30年代の田植え 記録写真、用具展示 農業科学博物館	岩手日日新聞	27.7.17
	●ソバ栽培に挑戦 親子で種まき作業 県立農業科学博物館	岩手日日新聞	27.8.3
	●岩手県立農業科学博物館 むかしの稲作を振り返る 当時の写真や農機具を展示	農機新聞	27.8.25
	●そば打ち楽しみ 農業科学博物館 親子一緒に収穫作業	岩手日日新聞	27.10.24
	●昔の圃場管理詳しく 農業科学博物館 用具や写真紹介	岩手日日新聞	27.11.20
	●米作り、収穫にスポット 県立農業科学博物館 来月7日から企画展	岩手日日新聞	27.12.22
	●「むかしの稲作」収穫テーマに用具や記録写真で紹介	岩手日日新聞	28.1.26
技術部			
作物研究室			
	本県の水稻最高級新品種「岩手118号」 極良食味 市内で試験栽培へ	胆江日日新聞	27.4.19
	県政課題 期待の新品種米 積極的な販売戦略が鍵	河北新報	27.8.27
	味したたる「銀河のしずく」 新品種のブランド米命名	朝日新聞	27.11.27
	岩手県の新ブランド米 名称「銀河のしずく」	日本経済新聞	27.11.27
	名称「銀河のしずく」 県オリジナル米 岩手107号	岩手日日新聞	27.11.27
	岩手県独自水稻「岩手107号」名称決定 「銀河のしずく」に	日本農業新聞	27.11.27
	県オリジナル米 岩手107号 「銀河のしずく」に決定 輝きと白さ強調	岩手日報	27.11.27
	命名「銀河のしずく」 県の新品種米 来年から販売	毎日新聞	27.11.30
	15年産米の食味ランキング 銀河のしずく特A 県独自品種で初	岩手日報	28.2.26
	銀河のしずく特A 岩手オリジナル開発で初(参考品種)	河北新報	28.2.26
果樹研究室			
	●果実生産体制確立へ技術実証圃場を視察 陸前高田で農研センター北限のゆず ブランド化一歩一歩 陸前高田の研究会設立1年 特産開発、栽培拡大へ	岩手日日新聞	27.9.12
	(紅いわて 10キロ5万円 県産リンゴ 昨年より早い出荷)	岩手日報	27.9.18
	陸前高田で県農業研究センター 果物産地復活へ着々 3年目、収量増に手応え	岩手日報	27.10.2
	(県産リンゴ品質競う 北上でコンテスト)	岩手日報	27.10.16
	(りんごコンテスト 3部門の入賞者決まる)	岩手日日新聞	27.10.17
	●ブドウ効率栽培探る 陸前高田で研修会	岩手日報	27.10.20

部所名	記事見出し ●は投込記事 ()は関連・間接情報	掲載紙	掲載年月日
果樹研究室(続き)			
	●低コスト栽培に理解 ブドウ新品種導入へ現地検討会 陸前高田	東海新報	27.10.21
	(新興醸造所 続々誕生 「ワイン王国」岩手名乗り 高品質ブドウと技術力強み「復興銘柄」確立目指す)	河北新報	27.12.8
	(震災越えた希望のワイン 陸前高田のブドウ園63年ぶり「区切り迎えた時、乾杯する酒に」)	朝日新聞	27.12.22
	三陸の海の味引き立てる 滴香り立つ 岩手・ワイン王国へ挑む	河北新報	28.1.15
	(品質向上へ試行繰り返す 滴香り立つ 岩手・ワイン王国へ挑む)	河北新報	28.1.16
	(農家と成長 世界レベルに 滴香り立つ 岩手・ワイン王国へ挑む)	河北新報	28.1.17
	(「北限のゆず」発信さらに 陸前高田で「楽しむ会」)	岩手日報	28.2.11
	(ゆずとショウガが香る 広田町「工房めぐ海」の新商品)	東海新報	28.2.27
	●復興支援、ブランド化へ 果実の生産・加工技術 実証研究6事例発表	岩手日日新聞	28.2.27
	●岩手のブランド化 研究グループ 果実加工で復興支援 ユズ果皮 ワイン…技術成果を発表	日本農業新聞	28.2.27
	“北限のゆず”復興のシンボルに 岩手・陸前高田市 北限のゆず研究会 市民に希望の光ともし	全国農業新聞	28.3.11
	県オリジナルリンゴ「紅いわて」に鮮度保持剤「スマートフレッシュ」 JAいわて花巻果樹部会 長期販売めざす	日本農業新聞	28.3.19
野菜花き研究室			
	直立ネット誘引で良果収量2割向上 ミニトマトの露地栽培	開拓情報	27.4.15
	リンドウ岩手県育成の新品種 花数そろい調製楽々	日本農業新聞	27.7.24
	ミニトマト ソバージュ栽培 直立ネット誘引 アーチ型より 株数増やし収量 10アール当たり20万円の差	日本農業新聞	27.12.16
	アスパラ伏せ込み 端境期出荷へ 根株冷蔵で休眠打破 1ヵ月超 前進 岩手県北上市の農業生産法人 単価 夏の2倍	日本農業新聞	27.12.23
南部園芸研究室			
	イチゴ栽培装置提供(東日本機電)	岩手日報	27.4.23
	中山間施設園芸コンソーシアム現地検討会 木骨ハウス“進化”理解	東海新報	27.10.16
	間伐材で木骨ハウス 岩手県農研センター実証 資材費鉄の7割	日本農業新聞	28.12.31
	地域資源の木材を活用 岩手県農業研究センター南部園芸研究室 大震災からの農業復興に	全国農業新聞	28.1.15
	四季成り性イチゴ・作期を2年に 年間収量倍増を実現 「なつあかり」で試験 岩手農研センター	全国農業新聞	28.3.11
環境部			
病理昆虫研究室			
	東北農研 土壌病害軽減へ 転炉スラグ成果報告	日本農業新聞	27.4.8
	ウリ科野菜根腐病マニュアルを発行 東北農研センター	日本農業新聞	27.4.16
	フザリウム病防除成果集 土壌pH高めて軽減 農研機構	日本農業新聞	27.10.1
病害虫防除部			
病害虫防除課			
	県内水稲 出穂平年より5日早く カメムシ防除を	岩手日報	27.8.8
畜産研究所			
家畜飼養・飼料研究室			
	育成牛に経産牛用TMR 成長早く搾乳前倒し 嗜好性高く2ヶ月短縮	日本農業新聞	27.4.8
	乳牛にくず大豆原料のTMR 有効性を実証 飼料中5%まで	日本農業共済新聞	27.5.20
	3産以上乾乳期間30日程度短縮 生涯乳量の増加に期待	開拓情報	27.6.15
	搾乳牛のTMR 2割飼料米に 乳量・質変化なし	日本農業新聞	27.10.29
	コントラクター向けシステム スマホで作業記録	日本農業新聞	28.1.8
	乳用雌牛の発情・体調 餌かみの動きで察知 システム開発	日本農業新聞	28.1.14
種山畜産研究室			
	共同利用種雄牛の評価公表 「山根雲」増体性優秀	日本農業新聞	27.5.6
県北農業研究所			
共通			
	●県北農業の技 理解求めて 軽米・公開デー	岩手日報	27.9.5
	●サツマイモ掘りに歓声 軽米の晴山保育園	岩手日報	27.10.22
園芸研究室			
	●春まきタマネギに理解 軽米で現地検討会	岩手日報	27.7.25
	●県北農業の技 理解深めて 軽米・公開デー ほうれんそうセミナー	岩手日報	27.9.5
作物研究室			
	(雑穀にアイデア新鮮 県産もちアワゆいこがね 岩大生がゆべし開発)	盛岡タイムス	27.5.2
	軽米 雑穀苗植え機実演 県北農業研究所 省力化に期待	岩手日報	27.6.4
	岩手農研センター県北研究所 中山間の法人へ初交流会 水稲低コスト策共有	岩手日報	27.7.15
	とうほく一番物語 雑穀生産量日本一(岩手県) 健康食ブームが追い風に	河北新報	27.11.15

7 テレビ・ラジオ放送

(1) テレビ

部所名	出演者	内 容	放送局名	放送年月日	投込み有無
企画管理部 農業科学博物館	藤原 勝栄	第66回企画展「むかしの稲作(本田管理)」の紹介	テレビ岩手	27.10.6	有
技術部 作物研究室	菅原浩視	県政テレビ番組「いわて！わんこ広報室」 県産米のブランド化推進	民放4局	27.5.11～15	無

(2) ラジオ

部所名	出演者氏名	内 容	放送局名	放送年月日	投込み有無
企画管理部 研究企画室	—	5きげんテレビ (告知)	テレビ岩手	27.8.20	無

8 指導資料等掲載

部所・研究室名	執筆者氏名	タイトル	掲載資料名	発行年月
企画管理部 農業経営研究室	村上 和史	経営成長の管理	平成26年度いわてアグリフロンティアスクール講義資料	27.6
	吉田 徳子	生産技術体系(2015年度版)	平成28年度野菜栽培技術指針	28.3
技術部 果樹研究室	浅川 知則	果樹雑草防除及び果樹用成長調整剤使用指針	平成28年度 岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	28.3
作物研究室	尾形 茂	雑草防除(水稲)	平成28年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	28.3
	荻内 謙吾 小原 公則	雑草防除(畑作物)	平成28年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	28.3
野菜花き研究室	山口 貴之	防除指導資料 (野菜雑草防除及び野菜成長調整剤)	平成28年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	28.3
	阿部 弘	防除指導資料 (花き雑草防除及び花き成長調整剤)	平成28年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	28.3
	松浦 拓也	野菜栽培資料(パプリカ)	平成28年度 野菜栽培技術指針	28.3
	山口 貴之	野菜栽培資料(促成アスパラガス)	平成28年度 野菜栽培技術指針	28.3
	藤尾 拓也	野菜栽培資料(点滴かん水施肥技術)	平成28年度 野菜栽培技術指針	28.3
	吉田 泰	野菜栽培資料(夏季高温対策)	平成28年度 野菜栽培技術指針	28.3
	阿部 弘	りんどう 生育と生理・生態	農業技術大系(花卉編)第9巻 追録第18号	27.6
南部園芸研究室	千葉 彩香	野菜栽培資料(燃油節減技術)	平成28年度野菜栽培技術指針	28.3
	太田 祐樹	野菜栽培資料(イチゴ)	平成28年度野菜栽培技術指針	28.3
環境部 生産環境研究室	菊地 淑子	野菜の鮮度保持対策	平成28年度野菜栽培技術指針	28.3
	桐山 直盛	野菜の分析診断手法	平成28年度野菜栽培技術指針	28.3
病理昆虫研究室	和賀 佳子	防除指導資料(果樹・花き病害)	平成28年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	28.3
	羽田 厚	防除指導資料(果樹・花き害虫)	平成28年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	28.3
	菅 広和	防除指導資料(畑作、土壌病害)	平成28年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	28.3
	菅 広和	防除指導資料(水稲病害、資材消毒、展着剤の利用)	平成28年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	28.3

部所・研究室名	執筆者 氏名	タイトル	掲載資料名	発行年月
病理昆虫研究室	久保田 真衣	防除指導資料(水稲・畑作害虫、土壌害虫、鳥獣害防除)	平成28年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	28.3
	小山田 早希	防除指導資料(野菜病害)	平成28年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	28.3
	小山田 早希	近年問題となっている病害虫(病害)	平成28年度野菜栽培技術指針	28.3
	松橋 伊織	防除指導資料(野菜害虫)	平成28年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	28.3
	小山田 早希	近年問題となっている病害虫(病害)	平成28年度野菜栽培技術指針	28.3
	松橋 伊織	近年問題となっている病害虫(害虫)	平成28年度野菜栽培技術指針	28.3
	菅 広和	水稲、小麦、大豆の採種ほ基本防除体系(病害防除)	平成28年度主要農作物採種ほ病害虫基本防除体系	28.3
	久保田 真衣	水稲、小麦、大豆の採種ほ基本防除体系(虫害防除)	平成28年度主要農作物採種ほ病害虫基本防除体系	28.3
	菅 広和	ホップ病害虫防除要領	平成28年発行 ホップ栽培暦	28.3
病害虫防除部 病害虫防除課	高田 真	農薬安全使用指針	平成28年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	28.3
畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室	尾張 利行	雑草防除(飼料作物)	平成28年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	28.3
	尾張 利行 佐藤 まり子 山形 広輔	牧草、飼料作物栽培技術指導資料	平成28年度牧草飼料作物生産利用指針	28.3
県北農業研究所 園芸研究室	横田 啓	野菜栽培資料(たまねぎ)	平成28年度 野菜栽培技術指針	28.3

9 図書資料収集・提供

項目	冊数・人数
総蔵書数	71,723 冊
平成27年度収集図書数	516 冊
学会誌	21 冊
資料	166 冊
研究報告	119 冊
気象	16 冊
記録誌	0 冊
国関係刊行物	0 冊
社団法人	2 冊
財団法人	11 冊
図鑑	0 冊
総記	5 冊
単行本	3 冊
定期	0 冊
統計	6 冊
図書	12 冊
洋雑誌	3 冊
CD-ROM	14 冊
雑誌	138 冊
図書室利用者数(延べ)	186 名
同貸し出し冊数	386 冊

※数値はいずれもセンター本部のみ(2016/3/31現在)

10 ホームページ

項目		件数	内訳
入力件数	研究レポート	94	平成27年度発行分(No.742～788)
	試験研究成果	26	平成27年度試験研究成果書
	研究報告類	5	農業研究センター研究報告 第14号
	らぼ・れたあ	52	No. 1～52(研究トピックス)
	行事予定	4	参観デー、一日子供農業研究員、親子そばづくり体験
	各種資料	45	平成26年度業務年報
	農業科学博物館	5	企画展第64～67回、農業ふれあい公園だより Vol.22
	その他	12	月別アクセス状況
アクセス件数	トップページ	28,977	平成27年度分
	総ページビュー	4,588,194	平成27年度分

V 指導・啓発活動

V 指導・啓発活動

1 技術伝達研修等への対応

担当部所	開催期日	開催場所	内 容	参集人員
農業研究センター主催				
県北農業研究所 園芸研究室	27.7.24	軽米町(県北農業研究所)	平成27年度春まきたまねぎ現地検討会 (春まき作型の栽培法、県内の春まきたまねぎ普及状況、圃場見学)	70名
	27.9.4	軽米町 (県北農業研究所)	一般公開デーほうれんそうセミナー (ほうれんそうのルテイン機能性表示、4Kハウス、根切機実演)	82名
県北農業研究所 作物研究室	27.6.3	軽米町	平成27年度雑穀栽培低コスト化研究会「雑穀機械移植実演会」	80名
	27.7.14	軽米町(県北農業研究所)及び二戸市(金田一)	平成27年度中山間・沿岸地域農業生産法人交流会	25名
	27.9.4	軽米町 (県北農業研究所)	一般公開デー雑穀セミナー 雑穀移植栽培名人の技を全て見せます	39名
	28.1.15	二戸市 (JA新しいわて北部営農経済センター)	中山間地域における収益性の高い組織営農確立実証にかかる平成27年度実績検討会ならびに平成28年度計画検討会	18名
【新技術・普及活動検討会】(中央農業改良普及センター主催)				
畜産研究所 家畜育種研究室 家畜飼養・飼料研究室 種山畜産研究室	28.1.27	滝沢市 (畜産研究所)	平成27年度新技術・普及活動検討会(畜産)	30名
プロジェクト推進室 企画管理部 農業経営研究室 技術部 作物研究室 環境部 生産環境研究室 病理昆虫研究室 県北農業研究所 作物研究室	28.1.21	北上市 (農業研究センター)	平成27年度新技術・普及活動検討会(作物部門)	32名
技術部 野菜花き研究室 環境部 病理昆虫研究室 県北農業研究所 園芸研究室	28.1.26	北上市 (農業研究センター)	平成27年度新技術・普及活動検討会(花き)	24名
技術部 果樹研究室 環境部 病理昆虫研究室	28.1.21～22	北上市 (農業研究センター)	平成27年度新技術・普及活動検討会(果樹)	25名
企画管理部 農業経営研究室 技術部 野菜花き研究室 環境部 病理昆虫研究室 県北農業研究所 園芸研究室	28.1.22	北上市 (農業研究センター)	平成27年度新技術・普及活動検討会(野菜)	53名
企画管理部 農業経営研究室	28.1.29	金ヶ崎町 (岩手県立農業大学校)	平成27年度新技術・普及活動検討会(経営)	13名

担当部所	開催期日	開催場所	内 容	参集人員
【普及指導員専門技術研修】(中央農業改良普及センター主催)				
技術部				
果樹研究室	28.3.4	北上市 (農業研究センター)	スペシャリスト養成研修(りんご)	1名
	27.6.12 27.7.7 28.2.22 28.3.3	北上市 (農業研究センター)	スペシャリスト養成研修(ぶどう)	1名
	27.6.9 28.3.8-9	北上市 (農業研究センター)	スペシャリスト養成研修(核果類)	2名
	27.6.9 27.8.31 28.3.8~9	北上市 (農業研究センター)	スペシャリスト養成研修(地域特産果樹)	2名
作物研究室	27.6.16~18	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(作物Ⅰ)	2名
	27.8.18,20	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(作物Ⅱ)	2名
	27.10.8~9	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(作物Ⅲ)	2名
	27.11.17	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(作物Ⅳ)	2名
野菜花き研究室	27.7.28	北上市 (農業研究センター)	スペシャリスト養成研修(野菜・なす)	1名
	27.6.9	北上市 (農業研究センター)	スペシャリスト養成研修(野菜・アスパラガス)	4名
	27.11.27	北上市 (農業研究センター)	スペシャリスト養成研修(野菜・アスパラガス)	4名
南部園芸研究室	27.6.4~5	陸前高田市 (南部園芸研究室)	スペシャリスト養成研修(いちご・Ⅰ期)	2名
	27.9.3	陸前高田市 (南部園芸研究室)	スペシャリスト養成研修(いちご・Ⅱ期)	2名
環境部				
病理昆虫研究室	27.11.30	北上市 (農業研究センター)	スペシャリスト養成研修(花き)	13名
	27.6.17	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(作物Ⅰ)	3名

2 現地指導・研修会等への講師派遣

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
プロジェクト推進室				
藤田 智美	平成27年度岩手県産表現地検討会	27.6.16	岩手県農業再生協議会	農研センター、花巻市、紫波町
藤田 智美 八重樫 耕一	平成27年度岩手県産大豆現地研修会 大豆の栽培管理技術等について「ディスク式畑用 中耕除草機を活用した大豆の一貫栽培体系」、ほ 場研修	27.9.8	岩手県農業再生協議会	農研センター
寺田 道一 吉田 宏	水稻直播現地検討会	27.9.16	八幡平農業改良普及セン ター	八幡平市
八重樫 耕一	果菜3品(きゅうり、トマト、ピーマン)実績検討会 研修「水田転換畑における排水対策」	27.12.8	岩手県園芸産地改革戦略推 進会議・全農産地改革ネット ワーク	農研センター
吉田 宏	イブキジャコウソウ研修	27.12.14	公益社団法人岩手県農産物 改良種苗センター	奥州合庁江刺分庁 舎
吉田 宏	平成27年度 農業機械開発改良試験研究打合せ 会議水田作・畑作分科会「小型汎用コンバイン セッション」	28.3.11	(独)生研センター	さいたま市 (生研センター)
企画管理部				
農業経営研究室				
村上 和史	いわてアグリフロンティアスクール講義『経営成長 の管理』	27.6.18	岩手大学	盛岡市
村上 和史	「いわての美味しいお米生産・販売戦略」に係る担 当課長会議	27.5.15	農産園芸課	盛岡市
村上 和史	園芸産地新生プロジェクト支援事業産地マネジメ ント計画審査会	27.4.13	農産園芸課	盛岡市
村上 和史	平成27年度第1回いわての野菜産地戦略企画部 会	27.6.17	農産園芸課	矢巾町
村上 和史	平成27年度第2回いわての野菜産地戦略企画部 会	27.7.15	農産園芸課	農研センター
村上 和史	平成27年度第3回いわての野菜産地戦略企画部 会	27.8.10	農産園芸課	盛岡市
村上 和史	園芸産地拡大実践プランの取組支援にかかる意 見交換会(盛岡地方推進会議)	27.9.7	農産園芸課	盛岡市
村上 和史	施設園芸経営規模拡大実践支援セミナー「経営 を語る会」	28.1.20	農産園芸課	金ケ崎町
村上 和史	園芸振興に係る担当課長等会議	28.2.10	農産園芸課	農研センター
村上 和史	特産農作物生産振興共進会(ホップ部門)審査委 員会	27.12.25	農産園芸課	盛岡市
村上 和史	特産農作物生産振興共進会(ホップ部門)表彰式	28.2.17	農産園芸課	盛岡市
村上 和史	土地改良事業営農推進対策委員会中央幹事会	28.2.8	農村計画課	盛岡市
村上 和史	特産農作物生産振興共進会(タバコ部門)審査委 員会	28.3.23	農産園芸課	盛岡市
前山 薫	平成27年度岩手県農業農村整備事業地区担 い手育成協議会	27.11.9	農村建設課	盛岡市
前山 薫	「農業担い手対策等課題解決チーム(平成27年度 第1回)」及び「生産技術体系・営農類型策定ワー キングチーム(第17回)」合同会議	27.7.14	農業振興課	盛岡市

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
前山 薫	「農業担い手対策等課題解決チーム(平成27年度第2回)」及び「生産技術体系・営農類型策定ワーキングチーム(第18回)」合同会議	28.1.26	農業振興課	盛岡市
前山 薫	稲作生産コスト低減地域行動計画に係る担当者会議	28.2.15	農産園芸課	農研センター
前山 薫	平成27年度稲作生産コスト低減研修会講演『生産費の把握による経営改善について』	27.6.17	農産園芸課	農研センター
前山 薫	東北土を考える会研修会講演『あなたの生産費はいくら？—生産費の把握による作業・経営改善に向けて—』	28.3.6	東北土を考える会	花巻市
田中 英輝	陸前高田市大規模施設園芸運営協議会WG会議(第1回)	27.4.27	陸前高田市	陸前高田市(総合営農指導センター)
田中 英輝	陸前高田市大規模施設園芸運営協議会WG会議(第2回)	27.6.17	陸前高田市	陸前高田市(総合営農指導センター)
田中 英輝	陸前高田市大規模施設園芸運営協議会WG会議(第3回)	27.7.17	陸前高田市	陸前高田市(総合営農指導センター)
田中 英輝	陸前高田市大規模施設園芸運営協議会WG会議(第4回)	27.8.20	陸前高田市	陸前高田市(総合営農指導センター)
田中 英輝	陸前高田市大規模施設園芸運営協議会WG会議(第5回)	27.9.29	陸前高田市	陸前高田市(総合営農指導センター)
田中 英輝	陸前高田市大規模施設園芸運営協議会WG会議(第6回)	27.10.21	陸前高田市	陸前高田市(総合営農指導センター)
田中 英輝	陸前高田市大規模施設園芸運営協議会WG会議(第7回)	27.11.17	陸前高田市	陸前高田市(総合営農指導センター)
田中 英輝	陸前高田市大規模施設園芸運営協議会WG会議(第8回)	27.12.15	陸前高田市	陸前高田市(総合営農指導センター)
田中 英輝	陸前高田市大規模施設園芸運営協議会WG会議(第9回)	28.1.26	陸前高田市	陸前高田市(総合営農指導センター)
田中 英輝	陸前高田市大規模施設園芸運営協議会WG会議(第10回)	28.2.22	陸前高田市	陸前高田市(総合営農指導センター)
田中 英輝	陸前高田市大規模施設園芸運営協議会WG会議(第11回)	28.3.14	陸前高田市	陸前高田市(総合営農指導センター)
田中 英輝	陸前高田市大規模施設園芸運営協議会幹事会	28.3.17	陸前高田市	陸前高田市(総合営農指導センター)
技術部				
果樹研究室				
佐々木 真人 川守田 真紀 浅川 知則 柳本 麻衣	純情りんごコンテスト審査(1期)	27.10.15	全農岩手県本部	北上市 (農研センター)
佐々木 真人 川守田 真紀 浅川 知則 柳本 麻衣	純情りんごコンテスト審査(2期)	27.11.26～ 27	全農岩手県本部	北上市 (農研センター)
大野 浩	農業大学校 講師(作物増殖・果樹)	27.11.16	岩手県立農業大学校	金ヶ崎町
佐々木 真人	りんごフォーラム in おうしゅう	27.2.19	みちのくボタ	奥州市江刺区 (岩谷堂地区センター)

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
作物研究室				
荻内 謙吾	「シュウリュウ」研究会	27.5.1	岩手県	北上市 (農研センター)
仲條 眞介 永富 巨人	第1回岩手107号栽培研究会	27.5.26	県産米戦略室	矢巾町(JA全農いわて)
渡辺 芳幸 菅原 浩視	第1回岩手118号栽培方法研究連絡会	27.6.4	県産米戦略室	奥州市(江刺合同庁舎)
渡辺 芳幸 荻内 謙吾 小原公則	平成27年度産表現地検討会	27.6.16	農産園芸課	紫波町現地圃場ほか
尾形 茂	直播現地検討会	27.6.19	花巻直播研究会	北上市 (農研センター)
尾形 茂	直播現地検討会	27.6.23	北上直播研究会	北上市 (JA北上地域営農センター)
菅原 浩視	施設視察研修(育苗施設)	27.6.30	いわて平泉農業協同組合室 根営農経済センター(9名)	北上市 (農研センター)
尾形 茂	八幡平水稲直播栽培ほ場巡視会	27.6.30	八幡平地方直播研究会	八幡平市現地圃場ほか
仲條 眞介 永富 巨人	第2回岩手107号栽培研究会	27.7.7	県産米戦略室	北上市 (農研センター)
菅原 浩視 尾形 茂	先進地研修(種子生産)	27.7.8	山口県米麦改良協会(15名)	北上市 (農研センター)
菅原 浩視	水稲品種育成について	27.7.8	中里12区(24名)	北上市 (農研センター)
菅原 浩視	農作物検査員育成研修会	27.7.9	岩手県農作物検査機関連絡協議会(30名)	盛岡市(純情米いわて)
菅原 浩視	水稲品種育成について	27.7.14	JAいわて平泉東山(24名)	北上市 (農研センター)
渡辺 芳幸 菅原 浩視 仲條 眞介	第2回岩手118号栽培方法研究連絡会	27.7.16	県産米戦略室	北上市 (農研センター)
小原 公則	麦民間流通連絡協議会	27.7.22	麦民間流通連絡協議会	盛岡市
菅原 浩視	水稲品種育成について	27.8.4	江刺北伊手営農組合	北上市 (農研センター)
小原 公則	部会研修会	27.8.6	岩手中央農業協同組合小麦生産部会	紫波町(岩手中央農業協同組合)
尾形 茂	部会研修会	27.8.22	JAふるさと種子部会	北上市 (農研センター)
荻内 謙吾	大豆優良事例巡回調査	27.8.25	中央農業改良普及センター	矢巾町・奥州市現地ほか
菅原 浩視	水稲107号の特徴と品種特性について	27.9.3	水稲生産部会盛岡支部(14名)	北上市 (農研センター)
仲條 眞介	水稲試験の取り組みについて(奨励品種・水稲除草剤等)	27.9.3	JA新あきた東地区稲作部会(15名)	北上市 (農研センター)
荻内 謙吾	平成27年度岩手県産大豆現地研修会	27.9.8	農産園芸課	北上市(農業研究センター)
菅原 浩視	カシス等の研究成果・栽培方法について	27.9.10	天童市農業者年金協会(14名)	北上市 (農研センター)
仲條 眞介 永富 巨人	第3回岩手107号栽培研究会	27.9.10	県産米戦略室	北上市 (農研センター)
菅原 浩視 仲條 眞介	第3回岩手118号栽培方法研究連絡会	27.9.14	県産米戦略室	奥州市現地圃場他
太田 裕貴	農業大学校(作物増殖)	27.9.14	岩手県立農業大学校	農業大学校
菅原 浩視	お米の食味に関するインタビュー	27.10.2	江刺稲瀬小4年生	北上市 (農研センター)

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
木内 豊 渡辺 芳幸 菅原 浩視 太田 裕貴	知事試食	27.10.8	県産米戦略室	盛岡市(県庁)
尾形 茂	平成27年産水稻種子現物品検討会	27.10.14	公益社団法人岩手県農産物 改良種苗センター	北上市 (農業研究セン ター)
木内 豊 渡辺 芳幸 菅原 浩視 太田 裕貴	常任委員農林水産委員による岩手107号試食	27.10.16	県産米戦略室	盛岡市(県庁)
仲條 眞介	岩手107号試食会	27.10.17	県産米戦略室	盛岡市
太田 裕貴	お米試食アンケート調査	27.10.17～ 18	県産米戦略室	東京都(都道府県 会館)
太田 裕貴	グループインタビュー(お米食味)	27.10.25	県産米戦略室	つくば市
菅原 浩視	岩手県の農業情勢についてほか	27.12.11	十和田おいらせ農業協同組 合十和田湖支店農業青色申 告会(15名)	北上市 (農研センター)
菅原 浩視	銀河のしずくについて	27.12.15	雫石作業改善協議会	北上市 (農研センター)
渡辺 芳幸 菅原 浩視 仲條 眞介 永富 巨人 太田 裕貴	第4回岩手107号栽培研究会	27.12.21	県産米戦略室	北上市 (農研センター)
渡辺 芳幸 菅原 浩視 太田 裕貴	第4回岩手118号栽培方法研究連絡会	27.12.21	県産米戦略室	北上市 (農研センター)
尾形 茂	直播実績検討会	27.12.21	胆江地方直播研究会	奥州市
菅原 浩視	銀河のしずく品種特性等研修会	27.12.22	雫石町農業協議会	雫石町(JA新岩手 南部営農センター)
仲條 眞介	水稻の品種について	27.12.10	JAふるさと育苗センター	北上市 (農研センター)
尾形 茂	平成27年度岩手県農薬管理使用アドバイザー養成研修	28.1.14 28.1.20	岩手県	滝沢市(アビオ) 北上市(農業研究 センター)
菅原 浩視	岩手118号の試食準備	28.1.15	JA江刺水稻部会	奥州市(JA江刺市)
尾形 茂	農薬適正販売研修会	28.1.29	岩手県農薬卸商業協同組合	盛岡八幡宮参集殿
菅原 浩視	銀河のしずく、岩手118号について	28.2.5	東山町認定農業者会(6名)	北上市 (農研センター)
木内 豊 渡辺 芳幸 菅原 浩視 太田 裕貴	いわてオリジナル品種ブランド化戦略会議(岩手 118号試食)	28.2.9	県産米戦略室	盛岡市(エスポワール いわて)
渡辺 芳幸 菅原 浩視 永富 巨人	銀河のしずく研修会	28.2.10	県産米戦略室	北上市 (農研センター)
渡辺芳幸 荻内謙吾 小原公則	大豆「シュウリュウ」研修会	28.3.7	岩手県	北上市 (農研センター)
菅原 浩視	平成28年度卒業研究計画発表会	28.3.9	岩手県立農業大学校	金ヶ崎町 (農業大学校)

担 当 部 所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
野菜花き研究室				
山口 貴之	金ヶ崎町促成アスパラ研究会	27.4.30	金ヶ崎促成アスパラ研究会	金ヶ崎町
渡辺 芳幸 高橋 守 松浦 拓也 山口 貴之 藤尾 拓也	平成27年度第1回岩手野菜研究会談話会研修会	27.6.23	岩手野菜研究会談話会	盛岡市 (岩手大学)
高橋 守 内藤 善美 阿部 弘 佐々木 忍	岩手県園芸育種研究会	27.6.19	農産園芸課	北上市 (農研センター)
高橋 守 内藤 善美 中里 崇 阿部 弘 佐々木 忍	りんどう採種技術検討会	27.6.23	(公社)岩手県農産物改良種 苗センター	金ヶ崎町 (採種ほ場)
藤尾 拓也	技術対策部会トマト現地検討会	27.7.14	中央農業改良普及センター 県域普及グループ	一関市
吉田 泰	技術対策部会なす現地検討会	27.9.1	中央農業改良普及センター 県域普及グループ	奥州市
渡辺 芳幸 高橋 守 内藤 善美	いわてフラワーコンテスト2015審査会	27.9.3	全農岩手県本部、農産園芸 課	盛岡市 (イオンモール盛 岡)
佐々木 忍	リンドウ採種技術検討会	27.9.11	(公社)岩手県農産物改良種 苗センター	金ヶ崎町
高橋 守	土地改良事業営農推進対策委員会・幹事会合同 現地検討会	27.9.11	農村計画課	二戸市
藤尾 拓也	技術対策部会トマト現地検討会	27.9.17	中央農業改良普及センター 県域普及グループ	一関市
松浦 拓也	技術対策部会ピーマン現地研修会	27.9.24	中央農業改良普及センター 県域普及グループ	一関市
山口 貴之	奥中山促成アスパラガス研修会	27.10.6	JA新しいわて	一戸町
山口 貴之	金ヶ崎町促成アスパラ研究会	27.10.8	金ヶ崎促成アスパラ研究会	金ヶ崎町
高橋 守 松浦 拓也 山口 貴之 藤尾 拓也 吉田 泰	平成27年度第2回岩手野菜研究会談話会研修会	27.10.22	岩手野菜研究会談話会	盛岡市(東北農業 研究センター)
山口 貴之	JA岩手ふるさとアスパラガスフォーラム	27.12.22	JA岩手ふるさと	奥州市
山口 貴之	JA岩手ふるさとアスパラガス栽培技術等研修会	28.1.26	JA岩手ふるさと	奥州市
藤尾 拓也	ういづone研修会	28.2.3	JA全農	東京都
藤尾 拓也	平成27年度「ういづOne」実績検討会	28.2.8	JA全農いわて	北上市(農研セン ター)
高橋 守	平成27年度土地改良事業営農推進対策委員会 中央幹事会	28.2.8	農村計画課	盛岡市
高橋 守 中里 崇	農業経営者セミナー	28.2.25	岩手県農業会議	盛岡市(ホテル紫 苑)
渡辺 芳幸 高橋 守 松浦 拓也 山口 貴之 藤尾 拓也 吉田 泰	平成27年度第3回岩手野菜研究会談話会研修会	28.3.7	岩手野菜研究会談話会	盛岡市 (岩手大学)

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
環境部				
多田 勝郎	いわてアグリフロンティアスクール	27.6.23 27.7.1	岩手大学	盛岡市 (岩手大学)
多田 勝郎	消費者交流会	27.7.4	(有)ピース	江刺区内圃場
多田 勝郎	岩手環境保全型農業セミナー	27.11.25	農業普及技術課	北上市 (さくらホール)
生産環境研究室				
菊地 淑子	小麦栽培現地検討会	27.6.16	農産園芸課	農研センターほ場
桐山 直盛	りんどう技術対策部会	27.7.28	中央農業改良普及センター	八幡平市安代
数藤 慶亮 葉上 恒寿	花巻農業高校生職場体験研修	27.8.7	花巻農業高校	農研センター
島 輝夫	平成27年度 土づくり・施肥改善「基礎」研修会	27.11.10 27.11.12	農業普及技術課	奥州市江刺総合支 所会議室 畜産研究所会議室
島 輝夫	平成27年度 土づくり・施肥改善「専門」研修会	27.11.19	農業普及技術課	農研センター会議 室
島 輝夫	土壌診断処方箋作成研修会	27.11.26	農業普及技術課	紫波町 (JAいわて中央)
菊地淑子	花きの鮮度保持にかかる検討会	27.12.14	農研機構 花き研究所	つくば市
桐山 直盛	りんどう技術対策部会	28.1.26	中央農業改良普及センター	農研センター会議 室
菊地 淑子	ナス技術対策会議	28.2.1	中央農業改良普及センター	奥州市江刺区
数藤 慶亮	寒冷地果樹研究会土壌肥料部会	28.2.10	農研機構 果樹研究所	盛岡市 (東北農研センター)
島 輝夫	金ヶ崎町土づくり講座	28.3.8	金ヶ崎町	金ヶ崎町
病理昆虫研究室				
大友 令史	八甲田高冷地野菜生産協議会視察研修	27.4.14	八甲田高冷地野菜生産協議 会	農研センター会議 室
大友 令史	第17回CHUO国際教育フォーラム 農業グループ 事前研修	27.5.21	盛岡中央高等学校	盛岡市 盛岡中央高等学校
大友 令史	消費者交流会	27.7.4	(有)ピース	江刺区内圃場
大友 令史	第3回北東北連携昆虫学セミナー	27.8.10	岩手大学農学部	青森県平川市 たけのこの里
大友 令史	秋田県病害虫防除員協議会視察・参観	27.8.27	秋田県病害虫防除員協議会	農研センター会議 室
大友 令史	雲南省農業シンポジウム	27.11.20	雲南省政府	雲南省昆明市 グリーンレイクホテ
和賀 佳子	平成27年度新技術・普及活動検討会(果樹部門)	28.1.21	中央農業改良普及センター 県域グループ	農研センター会議 室
和賀 佳子	平成27年度新技術・普及活動検討会(花き部門)	28.1.26	中央農業改良普及センター 県域グループ	農研センター会議 室
羽田 厚	JA新しいわて 病害虫防除講習会	27.5.13	JA新しいわて (八幡平農業改良普及セン ター)	JA新しいわて安代支 所

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
羽田 厚	温暖化に伴うりんご病害虫の発生状況とその防除 対策 樹幹を加害するヒメボクトウへの対応	27.6.23	公益社団法人青森県りんご協 会	農研センター会議 室
羽田 厚	平成27年度第2回りんご病害虫防除研修会 ハダニ防除のポイントについて	27.7.14	全国農業協同組合連合会岩 手県本部	農研センター会議 室
羽田 厚	第3回北東北連携昆虫学セミナー	27.8.10	岩手大学農学部	青森県平川市 たけのこの里
羽田 厚	平成27年度普及指導員スペシャリスト養成研修	27.11.30	中央農業改良普及センター 県域グループ	農研センター会議 室
羽田 厚	平成27年度病害虫防除実績検討会(果樹部会)	27.12.18	病害虫防除所	農研センター会議 室
羽田 厚	平成28年度一関地方りんご病害虫防除歴編集会 議	28.1.12	一関地方農林業振興協議会	一関地区合同庁舎 千厩分庁会議室
羽田 厚	平成27年度新技術・普及活動検討会(果樹部門)	28.1.21	中央農業改良普及センター 県域グループ	農研センター会議 室
羽田 厚	平成27年度新技術・普及活動検討会(花き部門)	28.1.26	中央農業改良普及センター 県域グループ	農研センター会議 室
羽田 厚	平成27年度果樹共済事業推進会議並びに評価 講習会	28.2.2	岩手県農業共済組合 東南 部地域センター	陸前高田市総合営 農指導センター
菅 広和	平成27年度花巻市水稻直播現地検討会	27.6.19	中央農業改良普及センター 県域グループ	農研センター会議 室 花巻市内現地圃場
菅 広和	平成27年度北上市水稻直播現地検討会	27.6.23	中央農業改良普及センター 県域グループ	北上地域営農セン ター 北上市内現地圃場
菅 広和	ホップ技術検討会	27.11.18	全国ホップ連合会	メルパルク仙台
菅 広和	水稻採種事業検討会	27.11.19	農産園芸課	農研センター会議 室
菅 広和	平成27年度岩手県植物防疫関係者技術研修会	27.11.26	岩手県植物防疫協会	ホテル志戸平
菅 広和	平成27年度岩手県農薬管理使用アドバイザー養 成研修	28.1.14	農業普及技術課	滝沢市 産文セン ター
菅 広和	平成27年度新技術・普及活動検討会(作物部門)	28.1.21	中央農業改良普及センター 県域グループ	農研センター会議 室
菅 広和	江刺忽布農協病害虫防除講習会	28.1.19	江刺忽布農業協同組合	江刺忽布農業協同 組合 会議室
菅 広和	農薬適正販売研修会	28.1.29	岩手県農薬卸商業協同組合	盛岡八幡宮「参集 殿」
菅 広和	平成28年度ホップ栽培歴検討会	28.2.1～2	岩手県ホップ連合会	ホテル愛真館
菅 広和	転炉スラグを用いた土壌pH改良によるホウレンソウ 萎凋病の被害軽減技術に関する研修	28.2.2	栃木県開拓農協	農研センター環境 部
菅 広和	平成27年度病害虫防除員等防除指導研修会	28.2.3	病害虫防除所 病害虫防除員協議会 病害虫防除連絡協議会	農研センター会議 室
菅 広和	全国農業協同組合東北地区会議	28.2.17	全国農業協同組合	
菅 広和	第45回岩手県ホップ生産者研修会	28.2.17	農産園芸課	盛岡市 エスポワールいわて
菅 広和	秋田県ホップ栽培作業暦編成会議	28.3.1	秋田県ホップ組合連絡協議 会	秋田市 ぶきみ会 館

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
久保田 真衣	平成27年度花巻市水稲直播現地検討会	27.6.19	中央農業改良普及センター 県域グループ	農研センター会議 室 花巻市内現地圃場
久保田 真衣	平成27年度北上市水稲直播現地検討会	27.6.23	中央農業改良普及センター 県域グループ	北上地域営農セン ター 北上市内現地圃場
久保田 真衣	平成27年度岩手県植物防疫関係者技術研修会	27.11.26	岩手県植物防疫協会	ホテル志戸平
久保田 真衣	ダイズシストセンチュウ被害対策研修会	27.12.16	中央農業改良普及センター 県域グループ	農研センター会議 室
久保田 真衣	平成27年度岩手県農業管理使用アドバイザー養成研修	28.1.14	農業普及技術課	滝沢市 産文セン ター
久保田 真衣	平成27年度岩手県農業管理使用アドバイザー養成研修	28.1.20	農業普及技術課	農研センター会議 室
久保田 真衣	平成27年度新技術・普及活動検討会(作物部門)	28.1.21	中央農業改良普及センター 県域グループ	農研センター会議 室
小山田 早希	八甲田高冷地野菜生産協議会視察研修	27.4.14	八甲田高冷地野菜生産協議 会	農研センター会議 室
小山田 早希	キュウリホモプシス根腐病総合防除対策にかかる 緩衝能曲線作成研修	27.6.16	中央農業改良普及センター 県域グループ	農研センター会議 室
小山田 早希	平成27年度普及指導員調査研究実績検討会	27.12.4	中央農業改良普及センター 軽米普及サブセンター	八幡平農業改良普 及センターいわて 駐在
小山田 早希	平成27年度岩手県農業管理使用アドバイザー養成研修	28.1.20	農業普及技術課	農研センター会議 室
小山田 早希	平成27年度新技術・普及活動検討会(野菜部門)	28.1.22	中央農業改良普及センター 県域グループ	農研センター会議 室
小山田 早希	平成26年度園芸産地改革戦略推進会議技術対 策部会・全農産地改革ネットワーク合同「なす実 績検討会」	28.2.1	推進会議会長(農産園芸課 総括課長)	JA全農いわて園芸 部県南園芸セン ター
小山田 早希	キュウリホモプシス根腐病総合防除対策研修会	28.3.10	中央農業改良普及センター 県域グループ	農研センター会議 室
松橋 伊織	第3回北東北連携昆虫学セミナー	27.8.10	岩手大学農学部	青森県平川市 たけのこの里
松橋 伊織	平成27年度新技術・普及活動検討会(野菜部門)	28.1.22	中央農業改良普及センター 県域グループ	農研センター会議 室
病害虫防除部				
病害虫防除課				
高田 真	宮古地方産直連絡会農薬適正使用講習会	27.6.16	宮古地方産直連絡会	宮古市
高田 真	農薬管理使用アドバイザー更新研修	27.9.14	農業普及技術課	二戸市
高田 真	農薬管理使用アドバイザー更新研修	27.11.12	農業普及技術課	奥州市
高田 真	農薬管理使用アドバイザー養成研修	28.1.14	農業普及技術課	滝沢市
高田 真	農薬管理使用アドバイザー養成研修	28.1.20	農業普及技術課	北上市 (農研センター)
高田 真	北上地方生活研究グループ連絡協議会農薬適正 使用講習会	28.3.9	北上地方生活研究グループ 連絡協議会	北上市
佐藤 正昭	農業大学校新規就農者研修会	27.5.26	農業大学校	金ヶ崎町
阿部 洋 飯村 茂之	第1回りんご病害虫防除研修会	27.6.16	全農岩手県本部	北上市 (農研センター)
阿部 洋 飯村 茂之	第2回りんご病害虫防除研修会	27.7.14	全農岩手県本部	北上市 (農研センター)

担 当 部 所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
阿部 洋	花巻農業高校、上野中学校職場体験	27.8.6	花巻農業高校、上野中学校	北上市 (農研センター)
阿部 洋	農業普及員植物防疫事業専門研修	27.10.8	中央農業改良普及センター 県域普及グループ	北上市 (農研センター)
阿部 洋 宍戸 貴洋	植物防疫関係者技術研修会	27.11.26	県植物防疫協会	花巻市
阿部 洋	盛岡地方りんご病害虫防除対策検討会	27.12.22	盛岡地方農業農村振興協議 会	盛岡市
阿部 洋	一関地方りんご病害虫防除暦編集会議	28.1.12	一関地方農林業振興協議会	一関市
阿部 洋	農薬管理使用アドバイザー養成研修	28.1.20	農業普及技術課	北上市 (農研センター)
宍戸 貴洋	県無人ヘリコプタ推進協議会研修会	27.4.24	県無人ヘリ協議会(県農 済連)	盛岡市
宍戸 貴洋	病害虫防除員技術研修会	27.6.2	県病害虫防除員協議会	北上市 (農研センター)
宍戸 貴洋	八戸農好会、三戸地区農村青少年クラブ連絡協 議会視察研修	27.9.1	青森県三八地域県民局地域 農林水産部	北上市 (農研センター)
宍戸 貴洋	農薬管理使用アドバイザー更新研修	27.11.30	農業普及技術課	北上市 (農研センター)
宍戸 貴洋	農薬適正販売使用研修会	28.1.29	岩手県農薬卸商組合	盛岡市
佐藤 美和子	普及指導員スペシャリスト養成研修	27.11.30	中央農業改良普及センター 県域普及グループ	北上市 (農研センター)
佐藤 美和子	農薬アドバイザー更新研修	27.10.30	農業普及技術課	滝沢市
佐藤 美和子	西和賀花卉生産組合りんどう栽培反省会	27.12.10	農業普及技術課	西和賀町
佐藤 美和子	農薬管理使用アドバイザー養成研修	28.1.20	農業普及技術課	北上市 (農研センター)
佐藤 美和子	新技術・普及活動検討会(野菜部門)	28.1.22	中央農業改良普及センター 県域普及グループ	北上市 (農研センター)
佐藤 美和子	りんどう・小ぎく技術対策部会実績検討会	28.1.26	中央農業改良普及センター 県域普及グループ	北上市 (農研センター)
田村 恵里佳	農薬管理使用アドバイザー更新研修	27.10.16	農業普及技術課	釜石市
田村 恵里佳	農薬管理使用アドバイザー養成研修	28.1.14	農業普及技術課	盛岡市
田村 恵里佳	病害虫防除員技術研修会	28.2.3	県病害虫防除員協議会	北上市 (農研センター)

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
畜産研究所				
家畜育種研究室				
児玉 英樹	第59回岩手県家畜共進会日本短角種の部審査員	27.9.3	岩手県畜産協会	雫石町
児玉 英樹	家畜受精卵移植講習会	27.9.10,14,17,18,24~10.1	畜産課	滝沢村 (畜産研究所)
細川 泰子	家畜受精卵移植講習会	27.9.8,9,17,25,30,10.1	畜産課	滝沢村 (畜産研究所)
細川 泰子	青森県獣医師会下北支部研修会(血液検査値を指標とした正常胚率向上・受胎率向上のための飼料給与プログラム)	27.9.15	青森県獣医師会下北支部	青森県むつ市
神山 洋	家畜人工授精講習会	27.11.13,26	畜産課	農業大学校
児玉 英樹	家畜人工授精講習会	27.11.25,30	畜産課	農業大学校
熊谷 祐宏	畜産技術連盟研修会(岩手県における牛ゲノム研究について)	27.9.29	畜産技術連盟	盛岡市
神山 洋	八幡平短角牛生産部会全体研修会(岩手県における日本短角種種雄牛造成の取り組み)	27.12.15	新岩手農業協同組合八幡平営農経済センター	八幡平市
神山 洋	家畜飼養管理Ⅰ(産肉能力検定における肉用牛の飼養管理)	28.2.8	岩手県立農業大学校	金ヶ崎町 (農業大学校)
細川 泰子	平成27年度受精卵移植関連新技術全国会議・シンポジウム(受胎率向上のための受胎牛の栄養管理と血液検査指標値)	28.3.2	(独)家畜改良センター	福島県白河郡西郷村
熊谷 祐宏	新岩手東部和牛改良組合岩手支部総会における研修会(ゲノム研究の畜産への応用)	28.3.14	新岩手農業協同組合東部営農センター 新岩手東部和牛改良組合 岩手支部	八幡平市
家畜飼養・飼料研究室				
越川 志津	家畜人工授精講習会	27.11.24	畜産課	金ヶ崎町 (農業大学校)
越川 志津	農業大学校講義(家畜飼養管理Ⅰ(酪農):牛群検定成績見方)	27.11.27	農業大学校	金ヶ崎町 (農業大学校)
伊藤 孝浩	農業大学校講義(家畜飼養管理Ⅰ(酪農):カウコンフォートのための飼養管理技術)	28.1.18	農業大学校	金ヶ崎町 (農業大学校)
伊藤 孝浩	家畜人工授精講習会	27.11.19 27.11.26	畜産課	金ヶ崎町 (農業大学校)
伊藤 孝浩	家畜商協講習会	27.11.24	流通課	盛岡市
尾張 利行	酪農プロ養成塾の講師	27.8.11	全農岩手県本部	八幡平市
外山畜産研究室				
熊谷 光洋	農業大学校講義	28.1.25	農業大学校	金ヶ崎町 (農業大学校)
種山畜産研究室				
澤田 建	いわて肉用牛若手後継者技術向上研修会	27.8.26	畜産課	盛岡市
澤田 建	県北地域和牛講習会	27.11.25	岩手県北家畜衛生協議会	二戸市
澤田 建	いわてくじ和牛改良組合研修会	27.12.4	いわてくじ和牛改良組合	久慈市
澤田 建	いわて肉用牛生産性向上研修会	28.1.28	畜産課 (いわて肉用牛躍進運動推進協議会)	滝沢市
澤田 建	県南和牛育種組合和牛女性研修会	28.2.2	全農岩手県本部	花巻市

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
澤田 建	いわて和牛中央育種組合和牛女性研修会	28.2.4	全農岩手県本部	花巻市
澤田 建	江刺市農協和牛部会梁川支部研修	28.2.12	江刺市農協和牛部会梁川支 部	住田町
澤田 建	遠野地方和牛改良組合講習会	28.2.26	花巻農協和牛改良部会遠野 支部	遠野市
西田 清 澤田 建	家畜人工授精講習会	27.11.16～ 17	畜産課	住田町(種山)
昆野 勝 西田 清 澤田 建	家畜人工授精講習会	27.11.6, 12,20	畜産課	金ヶ崎町 (農業大学校)
澤田 建	農業大学校講師	27.8.12	農業大学校	金ヶ崎町 (農業大学校)
昆野 勝	農業大学校講師	27.12.7	農業大学校	金ヶ崎町 (農業大学校)
澤田 建	家畜人工授精担当者会議	28.3.3	岩手県畜産協会	盛岡市
昆野 勝	家畜受精卵移植講習会	27.9.11.15	畜産課	滝沢市 (畜産研究所)
澤田 建 羽田 雅紀	子牛市場ワンポイント講習会	27.9.9～10	全農岩手県本部	奥州市 (県南家畜市場)
澤田 建 羽田 雅紀	子牛市場ワンポイント講習会	27.9.16～18	全農岩手県本部	奥州市 (中央家畜市場)
澤田 建 羽田 雅紀	子牛市場ワンポイント講習会	28.3.9～10	全農岩手県本部	奥州市 (県南家畜市場)
澤田 建 羽田 雅紀	子牛市場ワンポイント講習会	28.3.16～18	全農岩手県本部	奥州市 (中央家畜市場)
県北農業研究所				
及川 一也 高橋 好範	第47回岩手県特産農作物生産振興共進会審査 委員会(ホップ部門)	27.12.25	岩手県特産農作物生産振興 協議会	盛岡市
及川 一也	INS未利用資源活用研究会・土づくり研究会合同 現地研究会	27.10.2	INS土づくり研究会	八幡平市
作物研究室				
高橋 好範	平成27年度土壌医等資格登録者研修	27.12.5	一般社団法人日本土壌協会	東京都
高橋 好範	平成27年度第2回二戸地方雑穀ブランド認証会	28.2.26	二戸地方雑穀ブランド推進委 員会	二戸市
高橋 好範	平成27年度にのへ地域飼料用米多収コンクール 審査委員会	28.1.15	二戸地方農林水産振興協議 会	二戸市(合同庁舎)
中西 商量	新岩手農協北部地域大豆栽培研究会研修会	27.6.10	新岩手農協北部地域営農経 済センター	二戸市(新岩手農 協北部営農経済セ ンター)
中西 商量	平成27年度岩手県大豆栽培研修会	27.9.8	岩手県農業再生協議会	北上市 (農業研究セン ター)
中西 商量	ダイズシストセンチュウ被害対策研修会	27.12.16	中央農業改良普及センター 県域グループ	北上市 (農業研究セン ター)
中西 商量	シュウリユウ研修会	28.3.7	農産園芸課	北上市 (農業研究セン ター)
中西 商量 高草木 雅人	平成27年度二戸地域雑穀推進大会	28.1.20	二戸地域雑穀ブランド推進委 員会、二戸地方農林水産振 興協議会	二戸市「二戸パー クホテル」

担 当 部 所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
園芸研究室				
横田 啓	平成27年度玉ねぎ出荷説明会	27.7.8	JAいわて花巻	花巻市
横田 啓	岩手野菜研究談話会第5回定例会 (内容 岩手県北農研におけるたまねぎ春まき作 型の開発と現地普及状況)	27.10.22	岩手野菜研究談話会	盛岡市(東北農研)
横田 啓	岩手県植物防疫関係者技術研修会 (内容 たまねぎ春まき作型における アザミウマ被	27.11.26	岩手県植物防疫協会	花巻市
横田 啓	春まきたまねぎ打合せ	27.11.24	二戸青果生産組合	二戸市
横田 啓	春まきたまねぎ栽培指導会	28.1.18	二戸青果生産組合	二戸市
横田 啓	平成27年度園芸産地づくり推進セミナー(ほうれ んそうの害虫防除)	28.1.19	久慈地方農業農村活性化推 進協議会	久慈市

3 視察者、見学者の受け入れ状況

区 分	来所者数	参観デー来場者数	合計	備 考
本 部	1,447 人	2,000 人	3,447 人	・平成27年4月～平成28年3月
畜産研究所	850 人	1,000 人	1,850 人	
種山畜産研究室	282 人		282 人	
県北農業研究所	356 人	466 人	822 人	
計	2,935 人	3,466 人	6,401 人	

4 春季一般公開及び参観デー

名 称	開催期日	開催場 所	参 集 人 員
春季一般公開	27.4.14～19	農業ふれあい公園 「農業科学博物館」	72 名
参観デー(本部)	27.9.5	農業研究センター本部 農業ふれあい公園 「農業科学博物館」	2,000 名
参観デー(畜産研究所)	27.8.28～30	岩手産業文化センター(アピオ)	1,000 名
一般公開デー(県北農業研究所)	27.9.4～5	県北農業研究所	466 名

5 技術セミナー等の開催

開催期日	開催場所	主な内容	参集人員	担当室・課
27.9.14	陸前高田市	水稻直播栽培および大豆栽培技術	27名	プロジェクト推
28.2.19	陸前高田市	鉄コーティング湛水直播栽培技術研修	22名	プロジェクト推
27.4.14	陸前高田市	ユズ苗木の植栽技術講習会	25名	果樹
27.10.19	陸前高田市	加工用ブドウ新品種栽培現地研修会	50名	果樹
28.2.26	岩手県農業研究センター	【先端プロ】 ブランド化を促進する果実の加工・生産技術の実証研究成果発表会	70名	果樹
27.8.24	北上市	ミニトマトソバージュ栽培、ベイトアルファ型キュウリの特徴	45名	野菜花き
27.12.3	北上市	カラーピーマン光照射追熟技術の研修会	30名	野菜花き
28.3.1	陸前高田市	イチゴ栽培および木質資源有効活用セミナー	40名	南部園芸
27.9.4	軽米町	ほうれんそうの機能性成分と軽労生産システム	82名	園芸(県北)
27.9.4	軽米町	雑穀の機械移植技術	40名	作物(県北)

6 一日子供農業研究員

名 称	開催期日	内 容	参集人員
一日子供農業研究員 ～夏休み農業 研究体験～	27.7.31	小学5年生を対象とした研究体験 ・農業ふれあい公園内にある『ひょうたん池』に生息する魚類や昆虫類の調査 講師:岩手県立大学総合政策学部 辻盛生准教授	20名

7 農業科学博物館、農業ふれあい公園、加工工房(加工体験)の利用者

項 目	主 な 内 容	開催年月日	参集人数	
農業科学博物館	入館者数	入館者総数(企画展、イベント、その他を含む来館者数)	6,888名	
		農業研究センター春季一般公開	27.4.14～19 (72名)	
		農業研究センター参観デー	27.9.5 (1,020名)	
	企画展	収蔵品を「企画テーマ」に合わせて年4回展示紹介		—
		第64回「むかしの稲作(育苗)」	27.4.5～6.26	
		第65回「むかしの稲作(田植)」	27.7.5～9.27	
		第66回「むかしの稲作(本田管理)」	27.10.6～12.25	
	イベント	「松飾り作り体験」	27.12.20	24名(11組)
		「ソバづくり体験」	4回	23名(10組)
	その他	学校教育支援活動 30校(社会科実習、校外学習等の受入)	-	1,627名(30校)
在宅高齢者支援活動(北上市在宅高齢者ふれあいデーサービス事業)		-	177名(8団体)	
農業ふれあい公園 ゲートボール場	ゲートボール、グラウンドゴルフ	利用期間 4月～11月	8,292名 (363件)	
農業ふれあい公園 加工工房	加工試作	そば打ち体験	27.11.8 21名	

8 研修生の受け入れ

(1) 海外研修

氏名	所属	研修目的	受け入れ部所 (研究室)	期間
(なし)				

(2) 北東北3県連携にかかわる人事交流(研修)

氏名	所属	研修目的	受け入れ部所 (研究室)	期間
佐々木 大	青森県農林総合研究所	雑穀類の栽培、調製、加工に関する技術、知識の習得	技術部 (作物研究室)	27.9.17

(3) 短期研修生

氏名	所属	研修目的	受け入れ部所 (研究室)	期間
氏家 健 河原 喜一 佐藤 雅哉 仁杉 正汰	岩手県農業共済組合	果樹共済推進に係る果樹栽培技術研修	技術部 (果樹研究室)	27.6.10～11 27.9.11 27.10.14～16 28.2.22～24
鎌田 洋晃	岩手県農業共済組合中部地域センター	水稻部門に関する技術研修	技術部 (作物研究室)	27.7.14～16 27.9.29～10.1 27.11.4～6

(4) 体験学習の受け入れ

ア 小中学校等の「総合的な学習の時間」等に対応したもの

所属	研修内容	人数(人)	受け入れ研究室等	期日
盛岡市立米内小学校 5年生	放牧地の自然体験学習	20	外山畜産研究室	27.5.21
滝沢市立柳沢中学校	体験学習	1	家畜育種研究室	27.9.1
軽米町立晴山保育園	サツマイモ作り体験(苗定植及び収穫)	70 (のべ)	県北農業研究所	27.6.8 27.10.21
軽米町立軽米中学校 2年生	職場体験学習	3	県北農業研究所	27.9.28～29

イ 高等学校、大学の「職場体験研修」「視察」等に対応したもの

所属	研修内容	人数(人)	受け入れ研究室等	期日
花巻農業高等学校	職場体験研修	3	研究企画室 プロジェクト推進室 農業経営研究室 果樹研究室 作物研究室 野菜花き研究室 生産環境研究室 病理昆虫研究室	27.8.4 27.8.6～7
飯豊中学校	職場体験研修	1	研究企画室 プロジェクト推進室 果樹研究室 野菜花き研究室 生産環境研究室	27.10.27～28
岩手県立農業大学校本科1年	農業研究センター施設内外の見学	59	作物研究室ほか	27.5.8
上野中学校	職場体験研修	1	研究企画室 野菜花き研究室 生産環境研究室	27.8.6
岩手大学 3年	農業研究センターの研究概要(耐冷性 検定圃場など)	33	作物研究室ほか	27.7.24
県立農業大学校農業研修生	農業研究センター内の野菜・花きに関 する試験実施内容について	10	野菜花き研究室	27.6.23
岩谷堂高等学校 1年生	職場見学	36	病理昆虫研究室	27.8.25
岩手大学農学部生命科学課程 3年	畜産研究所における研究概要	36	家畜飼養・飼料研究室 家畜育種研究室	27.6.19
県立農業大学校畜産学科 1年 事例視察研修	畜産研究所における牛の研究概要	17	家畜飼養・飼料研究室 家畜育種研究室	27.7.16
岩手大学農学部・東京農工大学農 学部共同獣医学科 1年	畜産研究所における研究概要と乳牛・ 肉牛管理の見学	74	家畜飼養・飼料研究室 家畜育種研究室	27.9.16
岩手大学農学部動物科学課程 2年	畜産研究所における研究概要と乳牛・ 肉牛管理の見学	35	家畜育種研究室 家畜飼養・飼料研究室	27.10.14
岩手大学農学部共同獣医学科 3年	畜産研究所における研究概要と乳牛・ 肉牛管理の見学	36	家畜育種研究室 家畜飼養・飼料研究室	27.10.21
岩手大学農学部共同獣医学科 5年	黒毛和種種雄牛造成、凍結精液生産 について	40	種山畜産研究室	27.6.3
岩手大学農学部動物科学課程 4年	黒毛和種種雄牛造成、凍結精液生産 について	16	種山畜産研究室	27.7.14
岩手県立農業大学校畜産学科 1年	黒毛和種種雄牛造成、凍結精液生産 について	15	種山畜産研究室	27.8.25
水沢農業高校農業科学科畜産専 攻1～2年	黒毛和種種雄牛造成、凍結精液生産 について	14	種山畜産研究室	28.3.23
盛岡農業高等学校特別専攻科1 年	雑穀栽培について	3	県北農業研究所 作物研究室	27.12.21

ウ インターンシップ等に対応したもの

氏名	所属	研修内容	受入研究室等	期日
(新規就農者12名)	農業大学校	新規就農者研修	果樹研究室 作物研究室 他	27.6.23
(新採用職員45名)	岩手県農林水産部	農林水産部新採用職員研修	作物研究室 病理昆虫研究室 他	27.6.9
千葉 大介	北海道大学大学院環境 科学院生物圏科学専攻 修士1年	インターンシップ研修	果樹研究室 野菜花き研究室 生産環境研究室 病理昆虫研究室	27.9.7～9 9.17～18
伊藤 菜々美	新潟大学農学部応用生 物科学科3年	インターンシップ研修	作物研究室 他	27.8.17～21
岩崎 優衣	帯広畜産大学	・畜産研給所の業務概要 ・岩手県における肉用牛種雄牛造成	種山畜産研究室	27.8.27
棚橋 美優 須藤 香織 家子 貴裕	東京大学 北里大学 酪農学園大学	・畜産研給所の業務概要 ・岩手県における肉用牛種雄牛造成 ・獣医業務補助 等	外山畜産研究室	27.9.2
森 幸菜	岩手県立軽米高等学校 普通科 2年	主要研究課題の試験・調査について (高校生インターンシップ)	県北農業研究所	27.7.22～24
池田 汐里	岩手大学農学部応用生 物学課程 3年	県北・沿岸地域の課題解決に向けた 農業技術開発や地域に開かれた研究 機関のあり方について(インターンシ ップ実習生)	県北農業研究所	27.9.1～5

9 協議会、委員会等委員

協議会、委員会等の名称	役 職	職 名	担 当 機 関
岩手県研究開発推進連絡会議	委員	所長	商工労働観光部科学・ものづくり振興課
岩手県農業技術開発会議	構成員 構成員 構成員 構成員 構成員 構成員 構成員	所長 副所長 企画管理部長 技術部長 環境部長 病虫害防除部長 畜産研究所長 県北農業研究所長	農業普及技術課
岩手県バイオテクノロジー研究調整会議	委員	所長	農業普及技術課
岩手県農業農村指導士選考委員会	選考委員	所長	農業普及技術課
岩手県農業気象協議会	委員 委員 幹事 幹事 幹事 幹事 幹事	技術部長 病虫害防除所長 (病虫害防除部長) 果樹研究室長 作物研究室長(技術部) 野菜花き研究室長 家畜飼養・飼料研究室長 作物研究室長(県北研) 病虫害防除所次長 (病虫害防除課長)	農業普及技術課
岩手県農薬管理使用アドバイザー認定委員会	副会長 委員	病虫害防除部長 環境部長	農業普及技術課
放射性物質の農作物等への影響に係る 生産管理指導対策会議	構成員	環境部長 畜産研究所次長	農業普及技術課
特別栽培農産物に係る慣行レベル検討会議	構成員	プロジェクト推進室長 果樹研究室長 作物研究室長 野菜花き研究室長 生産環境研究室長 病理昆虫研究室長 病虫害防除課長 次長兼園芸研究室長(県 北研) 作物研究室長(県北研)	農業普及技術課
岩手県農業共済保険審査委員会	委員	技術部長	団体指導課
いわて純情米需要拡大推進協議会	幹事	技術部長	流通課
いわての大豆普及推進協議会	委員	技術部長	流通課
土地改良事業営農推進対策委員会	副委員長 委員 委員 中央幹事 中央幹事 中央幹事 中央幹事 中央幹事	企画管理部長 技術部長 県北農業研究所長 農業経営研究室長 野菜花き研究室長 生産環境研究室長 家畜飼養・飼料研究室長 次長兼園芸研究室長(県 北研)	農村計画課

協議会、委員会等の名称	役職	職名	担当機関
岩手県農業農村整備事業地区担い手育成協議会	委員	農業経営研究室経営チーム長	農村建設課
農作物奨励品種検討会議	構成員	所長	農産園芸課
岩手県特産農産物生産振興共進会	審査委員長 審査委員 審査委員	県北農業研究所長 農業経営研究室長 次長兼園芸研究室長(県北研)	農産園芸課
岩手県農業機械士認定委員会	委員	技術部長	農産園芸課
岩手県農業機械士技能検定	技能検定員 技能検定員	プロジェクト推進室長 主任技能員、技能員(プロジェクト推進室、技術部、環境部)	農産園芸課
岩手県麦・大豆等産地体制確立推進協議会 同 事務局	委員 事務局員	技術部長 作物研究室長(技術部)	農産園芸課
全国豆類経営改善共励会岩手県審査委員会	審査委員長 審査委員 審査委員	技術部長 作物研究室長(技術部) 作物研究室長(県北研)	農産園芸課
全国麦作共励会岩手県審査委員会	審査委員長 審査委員 審査委員	技術部長 作物研究室長(技術部) 作物研究室長(県北研)	農産園芸課
岩手県特産農作物生産振興共進会審査委員会	審査委員長 審査委員 審査委員	県北農業研究所長 作物研究室長(技術部) 作物研究室長(県北研)	農産園芸課
園芸産地新生プロジェクト支援事業産地マネジメント計画審査会	審査委員	農業経営研究室長	農産園芸課
稲作生産コスト低減推進会議	委員 幹事	企画管理部長 農業経営研究室長	農産園芸課
麦・大豆収益性向上対策チーム	構成員 構成員	プロジェクト推進室長 作物研究室長(技術部)	農産園芸課
いわてリーディング経営体育成支援事業等経営発展計画選定委員会	審査委員	農業経営研究室長	農業振興課
生産技術体系・営農類型策定ワーキングチーム	副チーム長 チーム員	農業経営研究室長 農業経営研究室経営チーム長	農業振興課
農業担い手対策等課題解決チーム	チーム員	農業経営研究室経営チーム長	農業振興課
(公財)岩手生物工学研究センター評議会	評議員	所長	(公財)岩手生物工学研究センター
花北地方農業農村振興連絡協議会 (花巻地域希望農業技術サポート会議を兼ねる)	構成員	企画管理部長	県南広域振興局農政部 花巻農林振興センター
大船渡地方農業振興協議会	構成員	南部園芸研究室長	沿岸広域振興局農林部 大船渡農林振興センター
中央環境審議会土壌農薬部会農薬小委員会	専門委員	病害虫防除部長	環境省 水・大気環境局
東北土地利用型作物安定生産推進協議会	構成員	作物研究室長(技術部)	東北農政局
北上市みどりのまちづくり審議会	委員	企画管理部長	北上市
住田町農業振興協議会	構成員	南部園芸研究室長	住田町
陸前高田市大規模園芸施設運営協議会	委員	農業経営研究室長	陸前高田市
日本農業経営学会	理事	農業経営研究室長	(独)中央農業総合研究センター
東北農業試験研究協議会	理事	所長	(独)農研機構・東北農業研究センター
東北農業経済学会	評議員	農業経営研究室長	東北大学農学部
東北畜産学会	評議員	畜産研究所長、次長	東北大学農学部
岩手農林研究協議会(AFR)	副会長(委員) 幹事	所長 技術部長	岩手大学農学部
いわて純情米体質強化推進協議会	幹事	技術部長	全国農業協同組合連合会岩手県本部

協議会、委員会等の名称	役 職	職 名	担 当 機 関
日本農業賞岩手県代表選考審査委員	委員長	所長	全国農業協同組合連合会岩手県本部
岩手県施肥合理化協議会	参与 参与 幹事 幹事 幹事 幹事 幹事	環境部長 畜産研究所長 果樹研究室長 野菜花き研究室長 生産環境研究室長 家畜飼養・飼料研究室長 次長兼園芸研究室長(県北研)	全国農業協同組合連合会岩手県本部
いわて純情りんごコンテスト	審査委員長 審査員 審査員 審査員	技術部長 果樹研究室長 研究室員 (果樹研究室) 病理昆虫研究室長	全国農業協同組合連合会岩手県本部
いわてフラワーコンテスト	審査委員長 審査委員	技術部長 野菜花き研究室長	全国農業協同組合連合会岩手県本部
岩手県麦民間流通地方協議会	構成員	作物研究室長(技術部)	全国農業協同組合連合会岩手県本部
岩手県農業共済組合損害評価会	損害評価審議委員 (農作物・水稲) 損害評価審議委員 (農作物・水稲) 損害評価審議委員 (農作物・水稲) 損害評価審議委員 (果樹) 損害評価審議委員 (果樹) 損害評価審議委員 (農作物・麦) 損害評価審議委員 (農作物・麦) 損害評価審議委員 (畑作物・大豆・ ホップ) 損害評価審議委員 (畑作物・麦・ 大豆・ホップ) 損害評価審議委員 (園芸施設) 審議委員(家畜) 家畜診療所運営委 員	主査(病虫害防除課) 主査専門研究員 (技術部作物研究室) 病理昆虫研究室長 果樹研究室長 主任主査 (病虫害防除課) 主査専門研究員 (技術部作物研究室) 主査 (病虫害防除課) 上席専門研究員 (技術部作物研究室) 主任 (病虫害防除課) 野菜花き研究室長 畜産研究所次長 (研究担当) 畜産研究所次長 (研究担当)	岩手県農業共済組合
岩手県産業用無人ヘリコプター推進協議会	幹事	病虫害防除課長	岩手県農業共済組合
(公財)日本植物調節剤研究協会東北支部	委員	作物研究室長(技術部)	(公財)日本植物調節剤研究協会東北支部
(社)岩手県植物防疫協会	幹事 幹事 幹事 試験委員会委員 試験委員会委員 試験委員会委員 試験委員会委員 試験委員会委員 試験委員会委員	技術部長 環境部長 病虫害防除所長 (病虫害防除部長) 作物研究室長(技術部) 果樹研究室長 野菜花き研究室長 病理昆虫研究室長 家畜飼養・飼料研究室長 病虫害防除所次長 (病虫害防除課長)	(社)岩手県植物防疫協会

協議会、委員会等の名称	役職	職名	担当機関
種子価格設定委員会	委員	作物研究室長(技術部)	(公社)岩手県農産物改良種苗センター
種子事故防止委員会兼種子事故調査委員会	委員 委員	作物研究室長(技術部) 病理昆虫研究室長	(公社)岩手県農産物改良種苗センター
いわて和牛改良増殖対策事業推進協議会	委員 委員	畜産研究所次長兼 種山畜産研究室長 家畜育種研究室長	畜産課
いわて短角和牛改良推進協議会	委員	家畜育種研究室長 外山畜産研究室長	日本短角種集団育種推進協議会 畜産課
全国和牛能力共進会出品対策委員会	委員 委員	畜産研究所次長兼 種山畜産研究室長 家畜育種研究室長	畜産課 全国農業協同組合連合会岩手県本部
岩手県飼料増産推進協議会	委員	家畜飼養・飼料研究室長	畜産課
岩手県畜産技術連盟	世話人	畜産研究所長	畜産研究所
盛岡市牧野運営協議会委員	委員	外山畜産研究室長	盛岡市
岩手県乳質改善協議会	委員	畜産研究所長	全国農業協同組合連合会岩手県本部
ミルクシステム診断事業推進委員会	委員	家畜飼養・飼料研究室長	(社)岩手県畜産協会
岩手県乳用牛群検定推進協議会	幹事	家畜飼養・飼料研究室長	(社)岩手県畜産協会
全国和牛登録協会登録委員産肉能力検定委員会	参与 参与 委員	畜産研究所長 畜産研究所次長兼 種山畜産研究室長 主査専門研究員 (種山畜産研究室)	全国和牛登録協会
和牛改良専門委員会	委員 委員	畜産研究所次長兼 種山畜産研究室長 家畜育種研究室長	全国和牛登録協会岩手県支部
県南和牛育種組合育種推進委員会	育種推進委員	主査専門研究員 (種山畜産研究室)	全国和牛登録協会岩手県支部
中央和牛育種組合育種推進委員会	育種推進委員	主査専門研究員 (種山畜産研究室)	全国和牛登録協会岩手県支部
日本短角種検定委員会	委員	家畜育種研究室長	日本短角種登録協会
日本短角種研究会	評議員	家畜育種研究室長	日本短角種研究会
日本短角種枝肉情報分析委員会	委員	家畜育種研究室長	肉用牛改良情報活用協議会
国産牛肉新需要創出緊急対策事業地方特定品種牛肉検討部会	委員	家畜育種研究室長	(社)全国肉用牛振興基金協会
日本ホルスタイン登録協会岩手県支部	評議員	畜産研究所次長 (研究担当)	(社)岩手県畜産協会
八戸平原地域営農推進協議会	委員	県北農業研究所長	東北農政局 北奥羽調査管理事務所

VI 職員研修

VI 職員研修

1 大学院派遣

職・氏名	所属部所・研究室	研究内容	派遣先	派遣期間
主任専門研究員 羽田 厚	環境部 病理昆虫研究室	リンゴ重点防除害虫の分子生物学的識別と個体群構造の解析	東京農工大学大学院連合農学研究科	25.10～ 28.9
主査専門研究員 増田 隆晴	畜産研究所 外山畜産研究室	高標高・寒冷地域における粗飼料調製技術に関する研究	岩手大学大学院連合農学研究科 (岩手大学)	23.4～

2 海外派遣・研修

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容等	派遣先	派遣期間
病理昆虫研究室長 大友 令史	環境部 病理昆虫研究室	農業シンポジウム参加	中華人民共和国雲南省昆明市	27.11.17～22

3 国内研修への派遣

(1) 依頼研究員

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
主査専門研究員 伊藤 孝浩	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室	高泌乳牛における乾乳期間短縮と繁殖成績および周産期疾病発生の関係の解明	国立研究開発法人・農総研機構北海道農業研究センター	27.8.17～ 11.13

(2) 北東北3県研究職員交流(職員派遣)

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
(該当なし)				

(3) 農林水産関係研究リーダー研修

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
(該当なし)				

(4) 独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構 短期集合研修

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
主任専門研究員 吉田 徳子	企画管理部 農業経営研究室	農業生産における技術と経営の評価方法	茨城県つくば市(農林水産技術会議事務局筑波事務所)	27.7.6～10
主任専門研究員 菅 広和	環境部 病理昆虫研究室	植物病原細菌同定研修	東北農業研究センター	28.3.8,10
技師 小山田 早希	環境部 病理昆虫研究室	植物病原細菌同定研修	東北農業研究センター	28.3.8,10
技師 松橋 伊織	環境部 病理昆虫研究室	有用天敵カブリダニ類識別技術講習会	東北農業研究センター	27.9.28

(5) 農林水産関係研究者研修

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
技師 松橋 伊織	環境部 病理昆虫研究室	平成27年度病害虫防除所等中央研修	横浜市(横浜植物防疫所)	27.12.8～11
技師 福田 拓斗	県北農業研究所 園芸研究室	平成27年度農林水産関係若手研究者研修	茨城県つくば市(農林水産技術会議事務局筑波事務所)	27.7.8～10

(6) その他

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
主任専門研究員 藤田 智美	プロジェクト推進室	土壌水分・環境・気象センサー技術セミナー	東京都	27.5.29
プロジェクト推進室長 八重樫 耕一 主査専門研究員 寺田 道一	プロジェクト推進室	農作業学会関東支部現地見学会	茨城県竜ヶ崎市	27.6.26～27
主任専門研究員 藤田 智美	プロジェクト推進室	東北農業試験研究発表会	山形県山形市	27.7.28
プロジェクト推進室長 八重樫 耕一	プロジェクト推進室	農業食料工学会東北支部大会	秋田県秋田市 (秋田県立大学)	27.8.19
主査専門研究員 寺田 道一	プロジェクト推進室	日本作物学会第240回講演会	長野県長野市 (信州大学)	27.9.4～5
主任専門研究員 藤田 智美	プロジェクト推進室	新品種・新技術コーディネーター研修(豆類)	東京都	27.9.9～11
プロジェクト推進室長 八重樫 耕一	プロジェクト推進室	農業環境工学関連5学会2015年合同大会	盛岡市 (岩手大学)	27.9.16～17
プロジェクト推進室長 八重樫 耕一	プロジェクト推進室	平成27年度日本農学会シンポジウム	東京都 (東京大学)	27.10.2～3
プロジェクト推進室長 八重樫 耕一	プロジェクト推進室	H27「農業経済研究ネットワークいわて」研究会	滝沢市 (岩手県立大学)	27.11.14
主査専門研究員 寺田 道一	プロジェクト推進室	2015農業機械化フォーラム	埼玉県さいたま市	27.12.10
プロジェクト推進室長 八重樫 耕一 上席専門研究員 吉田 宏 主査専門研究員 寺田 道一 主任技能員 菅野 輝彦	プロジェクト推進室	農業食料工学会シンポジウム 第20回テクノフェスタ	埼玉県さいたま市	27.12.11
主任専門研究員 藤田 智美	プロジェクト推進室	農研機構シンポジウム 大豆の多収限界に向けた挑戦	仙台市	27.12.14
主任専門研究員 藤田 智美	プロジェクト推進室	「いわて女性研究者支援ネットワーク」キックオフシンポジウム	盛岡市 (岩手大学)	28.1.8
プロジェクト推進室長 八重樫 耕一 主任専門研究員 藤田 智美	プロジェクト推進室	東北大豆シンポジウム	仙台市	28.1.21
プロジェクト推進室長 八重樫 耕一 上席専門研究員 吉田 宏	プロジェクト推進室	第16回ソバ研究会	茨城県つくば市	28.2.6
プロジェクト推進室長 八重樫 耕一 主査専門研究員 寺田 道一 主任専門研究員 藤田 智美 主任技能員 菅野 輝彦	プロジェクト推進室	平成27年度全国農業システム化研究会 最終成績検討会	東京都	28.2.16～17
上席専門研究員 吉田 宏 主査専門研究員 寺田 道一 主任専門研究員 藤田 智美 主任技能員 菅野 輝彦	プロジェクト推進室	平成27年度生研センター研究報告会・農業機械開発改良試験研究打合せ会議	埼玉県さいたま市	28.3.10～11
上席専門研究員 吉田 宏	プロジェクト推進室	日本農作業学会2016年度春季大会	宮城県仙台市 (宮城県立大学)	28.3.24

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
主査専門研究員 寺田 道一	プロジェクト推進室	日本作物学会第241回講演会	茨城県水戸市 (茨城大学)	28.3.27～30
主任専門研究員 伊勢 智宏	企画管理部 研究企画室	平成27年度第1回広報研修	盛岡市	27.7.9
主任専門研究員 伊勢 智宏	企画管理部 研究企画室	ITサポート研修	花巻市	27.6.12
主任専門研究員 伊勢 智宏	企画管理部 研究企画室	ITマスタ技術研修会	盛岡市	27.6.26
主任専門研究員 伊勢 智宏	企画管理部 研究企画室	平成27年度第1回広報研修	盛岡市	27.7.9
主任専門研究員 伊勢 智宏	企画管理部 研究企画室	職務発明ガイドライン案説明会	宮城県仙台市	28.2.23
農業経営研究室長 村上 和史 主査専門研究員 前山 薫	企画管理部 農業経営研究室	平成27年度日本農業経営学会研究大会	北海道札幌市	27.9.10～12
企画管理部長 畠山 俊行 農業経営研究室長 村上 和史 主査専門研究員 前山 薫 主任専門研究員 吉田 徳子 専門研究員 田中 英輝	企画管理部 農業経営研究室	平成27年度「農業経済研究ネットワークい わて」研究会	盛岡市	27.11.14
主査専門研究員 前山 薫	企画管理部 農業経営研究室	2015年度農業問題研究学会秋季大会	東京都	27.11.7
農業経営研究室長 村上 和史 主査専門研究員 前山 薫 主任専門研究員 吉田 徳子 専門研究員 田中 英輝	企画管理部 農業経営研究室	2016年度日本農業経済学会大会	秋田県秋田市	28.3.29～30
主査専門研究員 前山 薫	企画管理部 農業経営研究室	稲作コスト低減シンポジウム	東京都	27.12.17
主査専門研究員 前山 薫	企画管理部 農業経営研究室	JC総研シンポジウム	東京都	28.3.5
主任専門研究員 吉田 徳子 専門研究員 田中 英輝	企画管理部 農業経営研究室	第37回施設園芸総合セミナー	東京都	28.2.18～19
専門研究員 田中 英輝	企画管理部 農業経営研究室	第51回東北農業経済学会新潟大会	新潟県新潟市	27.8.28～29
専門研究員 田中 英輝	企画管理部 農業経営研究室	2015年度第2回 農研機構 植物工場研修会 「植物工場実証・展示・研修事業の成果と 展開」	茨城県つくば市	27.12.3
専門研究員 田中 英輝	企画管理部 農業経営研究室	2015農業機械化フォーラム「大規模土地利 用型農業の機械利用」	埼玉県さいたま市	27.12.10
専門研究員 田中 英輝	企画管理部 農業経営研究室	低炭素社会戦略センターシンポジウム「低 炭素社会実現のための課題と展望」	東京都	27.12.24
専門研究員 田中 英輝	企画管理部 農業経営研究室	次世代施設園芸フォーラム	兵庫県姫路市	28.1.19
専門研究員 田中 英輝	企画管理部 農業経営研究室	第16回ソバ研究会ーソバ多収化への道ー	茨城県つくば市	28.2.6
専門研究員 田中 英輝	企画管理部 農業経営研究室	東北ソバ研究会	宮城県仙台市	28.2.25
専門研究員 太田 裕貴	技術部 作物研究室	第2回東北農業研究センターセミナー	盛岡市(東北農業研 究センター)	27.7.13

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
上席専門研究員 尾形 茂	技術部 作物研究室	平成27年度東北六県原種・原々種生産情報交換会	宮城県名取市 (宮城県農業園芸総合研究所バイオテクノロジー開発部)	27.7.29～30
専門研究員 太田 裕貴	技術部 作物研究室	お米アドバイザー認定事業スクーリング・認定試験	仙台市(アエル仙台)	27.8.4～5
専門研究員 太田 裕貴	技術部 作物研究室	平成27年度普及指導員資格試験(筆記試験)	仙台市(仙台合同庁舎)	27.8.18～19
上席専門研究員 仲條 眞介 主査専門研究員 小原 公則 専門研究員 太田 裕貴	技術部 作物研究室	東北農業試験研究発表会	山形市(山形テルサ)	27.7.28
主任専門研究員 小館 琢磨 専門研究員 太田 裕貴	技術部 作物研究室	日本作物学会東北支部第58回講演会	盛岡市(岩手大学)	27.8.20
専門研究員 太田 裕貴 技師 藤岡 智明	技術部 作物研究室	普及指導員スペシャリスト養成研修(純情米いわて見学)	盛岡市(純情米いわて)	27.11.20
専門研究員 太田 裕貴	技術部 作物研究室	平成27年度普及指導員資格試験(個人面接)	仙台市(仙台ビジネスホテル)	27.11.25
専門研究員 太田 裕貴 技師 藤岡 智明	技術部 作物研究室	炊飯米工場見学(パールライス宮城、全農みやぎ)	宮城県大和町(パールライス宮城)・仙台市(全農みやぎ炊飯工場)	27.11.26
専門研究員 太田 裕貴	技術部 作物研究室	良質・良食味米生産に向けた本県の今後の取組雄予備食味評価手法向上にかかる視察	東京都(一般財団法人日本穀物検定協会)	28.2.12
上席専門研究員 尾形 茂 主査専門研究員 永富 巨人	技術部 作物研究室	第69回北日本病害虫研究発表会	札幌市(北海道立道民活動センタービル)	28.2.25～26
上席専門研究員 仲條 眞介 主任専門研究員 小館 琢磨	技術部 作物研究室	農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業「ゲノム育種により有用形質を集積した水稻品種の低コスト生産技術の確立と適地拡大」の研究推進に関する打ち合わせ	沖縄県石垣市(沖縄県農業試験場石垣支所)	28.2.29～3.2
専門研究員 太田 裕貴	技術部 作物研究室	亜熱帯地域における水稻遺伝資源、栽培状況および世代促進に関する研修	沖縄県石垣市(国際農林水産研究センター熱帯・島嶼研究拠点)	28.2.29～3.2
上席専門研究員 仲條 眞介	技術部 作物研究室	日本育種学会第129回講演会	横浜市(横浜市立大学)	28.3.21～22
主任専門研究員 小館 琢磨 専門研究員 太田 裕貴 技師 藤岡 智明	技術部 作物研究室	日本作物学会第240回講演会	茨城県水戸市(茨城大学)	28.3.28～29
主査専門研究員 藤尾 拓也	技術部 野菜花き研究室	合同新施設園芸ICT 세미나・見学会およびUECS研究会・スマートアグリコンソーシアム合同総会	岡山県	27.6.5～6
主査専門研究員 山口 貴之 藤尾 拓也 主任専門研究員 阿部 弘 吉田 泰	技術部 野菜花き研究室	園芸学会秋季大会	徳島県	27.9.26～27
主任専門研究員 佐々木 忍	技術部 野菜花き研究室	平成27年度花き研究シンポジウム「花きの新品種開発の現状と今後の展望」	茨城県	27.10.27～28
主査専門研究員 松浦 拓也	技術部 野菜花き研究室	平成27年度農研機構シンポジウム「露地栽培における点滴灌水技術の展開と進化」	東京都	27.11.10

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
主査専門研究員 藤尾 拓也 主任専門研究員 吉田 泰	技術部 野菜花き研究室	生産現場に革新を起こす施設栽培の最先端技術	愛知県	27.11.30
主任専門研究員 吉田 泰	技術部 野菜花き研究室	2015年度第2回 農研機構 植物工場研修会	茨城県	27.12.3
主任専門研究員 阿部 弘	技術部 野菜花き研究室	シンポジウム「病虫害診断を考える」	東京都	28.1.14
主任専門研究員 山口 貴之 藤尾 拓也 阿部 弘 吉田 泰	技術部 南部園芸研究室	園芸学会春季大会	神奈川県	28.3.26～27
環境部長 多田 勝郎	環境部	東北土壌肥料研究会	秋田市	27.7.7～8
環境部長 多田 勝郎	環境部	東北土壌肥料研究会	盛岡市	28.1.28～29
生産環境研究室長 島 輝夫	環境部 生産環境研究室	土肥学会東北支部会および東北土壌肥料研究会	秋田市	27.7.6～8
生産環境研究室長 島 輝夫	環境部 生産環境研究室	先端プロ宮城現地検討会	宮城県名取市	27.7.14
生産環境研究室長 島 輝夫	環境部 生産環境研究室	土づくり推進フォーラム講演会	東京都	27.7.23
生産環境研究室長 島 輝夫	環境部 生産環境研究室	新しい福島農業の創造を支える農業研究シンポジウム	福島市	28.3.16
生産環境研究室長 島 輝夫	環境部 生産環境研究室	東北土壌肥料研究会	盛岡市	28.1.28～29
上席専門研究員 菊地 淑子	環境部 生産環境研究室	日本食品保蔵科学会	東京都	27.6.27～28
上席専門研究員 菊地 淑子	環境部 生産環境研究室	東北大豆シンポジウム	青森県五所川原市	27.8.27～28
上席専門研究員 菊地 淑子	環境部 生産環境研究室	東北土壌肥料研究会	盛岡市	28.1.28～29
上席専門研究員 菊地 淑子	環境部 生産環境研究室	食品試験研究推進会議	つくば市	28.2.18～19
主査専門研究員 桐山 直盛	環境部 生産環境研究室	土づくり推進シンポジウム	東京都	27.12.2
主査専門研究員 桐山 直盛	環境部 生産環境研究室	施設園芸セミナー・機器資材展	東京都	28.2.18～19
主任専門研究員 葉上 恒寿	環境部 生産環境研究室	土肥学会支部会および土壌肥料研究会	秋田市	27.7.6～8
主任専門研究員 葉上 恒寿	環境部 生産環境研究室	ヒ素リスク管理東北ブロック会議	仙台市	27.10.21
主任専門研究員 葉上 恒寿	環境部 生産環境研究室	農研機構シンポジウム 大豆多収への挑戦	仙台市	27.12.14
主任専門研究員 葉上 恒寿	環境部 生産環境研究室	東北土壌肥料研究会	盛岡市	28.1.28～29
主任専門研究員 葉上 恒寿	環境部 生産環境研究室	第6回 農業環境インベントリー研究会 第33回 土・水研究会	つくば市	28.2.24～25
技師 数藤 慶亮	環境部 生産環境研究室	東北土壌肥料研究会	秋田市	27.7.7～8
技師 数藤 慶亮	環境部 生産環境研究室	東北農業試験研究発表会	山形市	27.7.27～28

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
技師 数藤 慶亮	環境部 生産環境研究室	土づくり研究会	仙台市	27.10.22
技師 数藤 慶亮	環境部 生産環境研究室	普及員スペシャリスト(作物)研修	矢巾町他	27.11.20
技師 数藤 慶亮	環境部 生産環境研究室	いわて環境保全型農業シンポジウム	北上市	27.11.25
技師 数藤 慶亮	環境部 生産環境研究室	有機農業実践講座 落葉果樹	天童市	28.1.15～16
技師 数藤 慶亮	環境部 生産環境研究室	東北農業推進会議 果樹推進部会	盛岡市	28.1.25～26
技師 数藤 慶亮	環境部 生産環境研究室	東北土壌肥料研究会	盛岡市	28.1.28～29
技師 数藤 慶亮	環境部 生産環境研究室	寒冷地果樹研究会	盛岡市	28.2.9～10
環境部長 多田 勝郎	環境部	第69回北日本病害虫研究発表会	札幌市	28.2.25～26
病理昆虫研究室長 大友 令史	環境部 病理昆虫研究室	第20回農林害虫防除研究会	大分市	27.7.21～22
病理昆虫研究室長 大友 令史	環境部 病理昆虫研究室	第69回北日本病害虫研究発表会 発表	札幌市	28.2.25～26
病理昆虫研究室長 大友 令史	環境部 病理昆虫研究室	日本昆虫学会第76回大会・第60回日本応用動物昆虫学会大会合同大会	堺市	28.3.26～29
上席専門研究員 和賀 佳子	環境部 病理昆虫研究室	第69回北日本病害虫研究発表会 発表	札幌市	28.2.25～26
主任専門研究員 羽田 厚	環境部 病理昆虫研究室	平成27年第2回東北農研セミナー 薬品の適切な管理に向けて	盛岡市	27.7.13
主任専門研究員 羽田 厚	環境部 病理昆虫研究室	第20回農林害虫防除研究会	大分市	27.7.21～22
主任専門研究員 羽田 厚	環境部 病理昆虫研究室	日本ダニ学会第24回大会 発表	東京都	27.9.11～13
主任専門研究員 羽田 厚	環境部 病理昆虫研究室	農研機構シンポジウム「バンカー法による天敵利用の新展開」	名古屋市	27.10.19～20
主任専門研究員 羽田 厚	環境部 病理昆虫研究室	第69回北日本病害虫研究発表会 発表	札幌市	28.2.25～26
主任専門研究員 羽田 厚	環境部 病理昆虫研究室	日本昆虫学会第76回大会・第60回日本応用動物昆虫学会大会合同大会 発表	堺市	28.3.26～29
専門研究員 菅 広和	環境部 病理昆虫研究室	東北地域における薬剤耐性菌(イネ病害)に関する勉強会	盛岡市	27.6.16
専門研究員 菅 広和	環境部 病理昆虫研究室	EBC研究会ワークショップ2015	東京都	27.9.15
主任専門研究員 菅 広和	環境部 病理昆虫研究室	第9回植物診断研究会	秋田市	27.10.26～27
主任専門研究員 菅 広和	環境部 病理昆虫研究室	農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業 成果発表会「革新的接ぎ木法によるナス科野菜の複合土壌病害総合防除技術の開発」	つくば市	28.2.10
主任専門研究員 菅 広和	環境部 病理昆虫研究室	第69回北日本病害虫研究発表会 発表	札幌市	28.2.25～26
主任専門研究員 菅 広和	環境部 病理昆虫研究室	平成28年度日本植物病理学会大会 発表	岡山市	28.3.21～23
主任専門研究員 菅 広和	環境部 病理昆虫研究室	第26回 殺菌剤耐性菌研究会シンポジウム	岡山市	28.3.24
専門研究員 久保田 真衣	環境部 病理昆虫研究室	第68回北陸病害虫研究会	長野市	28.2.18～19

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
専門研究員 久保田 真衣	環境部 病理昆虫研究室	第69回北日本病害虫研究発表会 発表	札幌市	28.2.25～26
専門研究員 久保田 真衣	環境部 病理昆虫研究室	日本昆虫学会第76回大会・第60回日本応用動物昆虫学会大会合同大会	堺市	28.3.26～29
技師 小山田 早希	環境部 病理昆虫研究室	日本土壌微生物学会	つくば市	27.5.22
技師 小山田 早希	環境部 病理昆虫研究室	第11回植物病害診断教育プログラム	神戸市	27.7.27～31
技師 小山田 早希	環境部 病理昆虫研究室	EBC研究会ワークショップ2015	東京都	27.9.15
技師 小山田 早希	環境部 病理昆虫研究室	第9回植物診断研究会	秋田市	27.10.26～27
技師 小山田 早希	環境部 病理昆虫研究室	農研機構東北農業研究センターシンポジウム 「鉄鋼スラグは有望な資材となり得るか？」ー農業分野での技術開発の可能性を探るー	東京都	27.11.27
技師 小山田 早希	環境部 病理昆虫研究室	農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業 成果発表会「太陽熱土壌消毒効果を活用した省エネ・省肥料・親環境栽培体系「陽熱プラス」の確立」	東京都	27.12.3
技師 小山田 早希	環境部 病理昆虫研究室	日植防シンポジウム「病害虫診断を考える」	東京都	28.1.14
技師 小山田 早希	環境部 病理昆虫研究室	農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業 成果発表会「革新的接ぎ木法によるナス科野菜の複合土壌病害総合防除技術の開発」	つくば市	28.2.10
技師 小山田 早希	環境部 病理昆虫研究室	第69回北日本病害虫研究発表会 発表	札幌市	28.2.25～26
技師 小山田 早希	環境部 病理昆虫研究室	平成28年度日本植物病理学会大会 発表	岡山市	28.3.21～23
技師 小山田 早希	環境部 病理昆虫研究室	第14回 バイオコントロール研究会	岡山市	28.3.24
技師 小山田 早希	環境部 病理昆虫研究室	園芸学会平成28年度春季大会	厚木市	28.3.25
技師 松橋 伊織	環境部 病理昆虫研究室	農研機構シンポジウム「バンカー法による天敵利用の新展開」	名古屋市	27.10.19～20
技師 松橋 伊織	環境部 病理昆虫研究室	第25回天敵利用研究会 発表	静岡市	27.12.3～4
技師 松橋 伊織	環境部 病理昆虫研究室	日植防シンポジウム「病害虫診断を考える」	東京都	28.1.14
技師 松橋 伊織	環境部 病理昆虫研究室	戦略的イノベーション創造プログラム次世代農林水産業創造技術合同研究会	つくば市	28.2.2
技師 松橋 伊織	環境部 病理昆虫研究室	第69回北日本病害虫研究発表会	札幌市	28.2.25～26
技師 松橋 伊織	環境部 病理昆虫研究室	日本昆虫学会第76回大会・第60回日本応用動物昆虫学会大会合同大会	堺市	28.3.26～29
主任技能員 佐藤 広昭	環境部	第69回北日本病害虫研究発表会	札幌市	28.2.25～26
専門研究員 神山 洋	畜産研究所 家畜育種研究室	家畜感染症学会・シンポジウム	東京都	27.6.5
専門研究員 佐々木 康仁	畜産研究所 家畜育種研究室	中央畜産技術研修会・自給飼料(WCS・飼料用米)	福島県西郷村	27.12.1～3
家畜育種研究室長 細川 泰子 他1名	畜産研究所 家畜育種研究室	牛白血病防疫推進講習会	滝沢村	28.1.29
専門研究員 熊谷 祐宏	畜産研究所 家畜育種研究室	遺伝子解析技術者研修	福島県西郷村	27.8.24～9.4

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
専門研究員 熊谷 祐宏	畜産研究所 家畜育種研究室	岩手大学農学部附属動物医学食品安全教育 研究センター(FAMS)第12回研修会	盛岡市	27.9.25
専門研究員 熊谷 祐宏	畜産研究所 家畜育種研究室	第9回DNA西郷シンポジウム	福島県西郷村	27.10.14
専門研究員 熊谷 祐宏	畜産研究所 家畜育種研究室	遺伝子解析技術者研修	福島県西郷村	27.12.3~4
専門研究員 上出 拓海 他3名	畜産研究所 外山畜産研究室	牛舎における牛白血病感染防止対策	岩手大学 御明神牧場	27.6.19
技師 飯村 太一	畜産研究所 外山畜産研究室	第58回東北農業試験研究発表会	山形県山形市	27.7.28
専門研究員 上出 拓海	畜産研究所 外山畜産研究室	ITサポーター研修会	盛岡市	27.7.3
専門研究員 上出 拓海 他8名	畜産研究所 外山畜産研究室	平成27年度岩手県畜産技術連盟研修会	盛岡市	27.9.29
室長 熊谷 光洋	畜産研究所 外山畜産研究室	安全運転管理者等講習	盛岡市	27.10.9
技師 飯村 太一	畜産研究所 外山畜産研究室	平成27年度獣医畜産業績発表会	盛岡市	28.1.20
専門研究員 澤田 建	畜産研究所 種山畜産研究室	中央畜産技術研修会・肉用牛生産者技術指導 者養成A	福島県西郷村	27.6.29 ~7.3
技師 羽田 雅紀	畜産研究所 種山畜産研究室	中央畜産技術研修会・肉用牛	福島県西郷村	27.10.6~9
主査専門研究員 西田 清	畜産研究所 種山畜産研究室	安全運転管理者講習	大船渡市	27.10.23
専門研究員 山形 広輔	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究 室	生研センター研究報告会	埼玉県	28.3.9~11
主査専門研究員 佐藤 まり子	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究 室	中央畜産技術研修会・畜産統計処理	福島県西郷村	27.7.21~31
主査専門研究員 越川 志津	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究 室	AMTSトレーニング講座	東京都	27.4.14~15
県北農業研究所長 及川 一也 専門研究員 齊藤 智宏	県北農業研究所	平成27年度新稲作研究会委託試験・現地実証 展示圃成績検討会等	東京都	28.3.3
県北農業研究所長 及川 一也 上席専門研究員 中西 商量	県北農業研究所	農研機構シンポジウム「大豆の多収限界にむけ た挑戦-日本記録更新を目指して-」	宮城県仙台市	27.12.14
専門研究員 齊藤 智宏	県北農業研究所 作物研究室	平成27年度「土づくり研究会」	宮城県仙台市	27.10.22
専門研究員 齊藤 智宏	県北農業研究所 作物研究室	平成27年度新稲作研究会講演会	東京都	28.3.3
専門研究員 齊藤 智宏	県北農業研究所 作物研究室	日本育種学会第129回講演会	神奈川県横浜市(横 浜市立大学)	28.3.21
主任専門研究員 横田 啓	県北農業研究所 園芸研究室	第38回日本土壌動物学会	香川県高松市	27.5.23~25
次長兼園芸研究室 長 鈴木 良則	県北農業研究所 園芸研究室	平成27年度第2回東北農業研究センターセミ ナー 「薬品等の適切な管理に向けて」	盛岡市	27.7.13
技師 福田 拓斗	県北農業研究所 園芸研究室	東北農業試験研究発表会(発表)	山形県山形市	27.7.27~28
主査専門研究員 星 伸枝	県北農業研究所 園芸研究室	岩手県園芸育種研究会りんどう部会「現地視察 会」	西和賀町	27.8.21
主査専門研究員 星 伸枝	県北農業研究所 園芸研究室	りんどう成長産地視察研修会	秋田県仙北市	27.8.28

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
主査専門研究員 星 伸枝 技師 福田 拓斗	県北農業研究所 園芸研究室	園芸学会平成27年度秋季大会	徳島県徳島市	27.9.26～27
主任専門研究員 横田 啓	県北農業研究所 園芸研究室	農研機構シンポジウム「バンカー法による天敵利用の新展開」	愛知県名古屋	27.10.20
主査専門研究員 星 伸枝	県北農業研究所 園芸研究室	花き研究シンポジウム「花きの新品種開発の現状と今後の展望」	茨城県つくば市	27.10.27～28
主任専門研究員 横田 啓	県北農業研究所 園芸研究室	第25回天敵利用研究会静岡大会	静岡県静岡市	27.12.3～4
主任専門研究員 横田 啓 技師 福田 拓斗	県北農業研究所 園芸研究室	北日本病害虫研究発表会(発表)	北海道札幌市	28.2.25～26
主任専門研究員 横田 啓	県北農業研究所 園芸研究室	第63回関東東山病害虫研究発表会	山梨県甲府市	28.3.3
次長兼園芸研究室 長 鈴木 良則	県北農業研究所 園芸研究室	東北ブロック環境保全型農業推進コンクール表彰式・講演会	宮城県仙台市	28.3.8
主査専門研究員 長嶺 達也	県北農業研究所 園芸研究室	平成27年度(第3回)日本食品分析センター講演会	宮城県仙台市	28.3.9
主任専門研究員 横田 啓 技師 福田拓斗	県北農業研究所 園芸研究室	第60回日本応用動物昆虫学会(発表)	大阪府堺市	28.3.26～28
主査専門研究員 長嶺 達也	県北農業研究所 園芸研究室	園芸学会平成28年度春季大会	神奈川県厚木市	28.3.26～27

4 所内研修等

(1) 岩手県総務部人事課主催研修

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
上席専門研究員 吉田 宏	プロジェクト推進室	コンプライアンス推進員研修	人事課主催	27.4.23
主査専門研究員 寺田 道一	プロジェクト推進室	新任主査研修	人事課主催	27.8.3～5
企画管理部長 畠山 俊行	企画管理部	新任総括課長等研修	人事課主催	27.4.23～24
研究企画室長 鈴木 茂寿	企画管理部 研究企画室	新任担当課長等研修	人事課主催	27.5.18～20
主査専門研究員 前山 薫	企画管理部 農業経営研究室	eラーニング 論理的思考力向上講座	人事課主催	27.9.1～ 12.31
主任専門研究員 吉田 徳子	企画管理部 農業経営研究室	女性職員キャリアデザイン研修	人事課主催	27.11.9～10
専門研究員 田中 英輝	企画管理部 農業経営研究室	中堅職員研修	人事課主催	27.6.8～10
主査 畠山 聡子	企画管理部 総務課	新任主査研修	人事課主催	27.7.15～17
技術部長 渡辺 芳幸	技術部	新任総括課長等研修	人事課主催	27.4.23～24
果樹研究室長 佐々木 真人	技術部 果樹研究室	新任担当課長等研修	人事課主催	27.5.18～20
主査専門研究員 川守田 真紀	技術部 果樹研究室	新採用職員指導者研修	人事課主催	27.4.20
主査専門研究員 大野 浩	技術部 果樹研究室	新任主査研修	人事課主催	27.7.29～31
技師 柳本 麻衣	技術部 果樹研究室	新採用職員研修	人事課主催	27.4.14～17 27.6.15～18 27.10.21～23
主査専門研究員 大野 浩	技術部 果樹研究室	新任主査研修	人事課主催	27.7.29～31
作物研究室長 菅原 浩視	技術部 作物研究室	eラーニング 企業会計講座(基礎編)	人事課主催	27.9.1～ 12.31
主査専門研究員 小原 公則	技術部 作物研究室	新任主査研修	人事課主催	27.8.3～5
主任専門研究員 小館 琢磨	技術部 作物研究室	eラーニング 企業会計講座(実務編)	人事課主催	27.9.1～ 12.31
専門研究員 太田 裕貴	技術部 作物研究室	採用3年目研修	人事課主催	27.6.24～26
技師 藤岡 智明	技術部 作物研究室	新採用職員研修	人事課主催	27.4.14～17 27.6.15～18 27.10.7～9
野菜花き研究室長 高橋 守	技術部 野菜花き研究室	管理監督者のマネジメント向上セミナー	人事課主催	27.9.7～9
主査専門研究員 山口 貴之	技術部 野菜花き研究室	新任主査研修	人事課主催	27.9.7～9
主査専門研究員 藤尾 拓也	技術部 野菜花き研究室	新任主査研修	人事課主催	27.9.2～4
主査専門研究員 中里 崇	技術部 野菜花き研究室	新任主査研修	人事課主催	27.9.2～4
主査専門研究員 中里 崇	技術部 野菜花き研究室	eラーニング プレゼンテーション講座	人事課主催	27.9.1～ 12.31
主任専門研究員 阿部 洋	技術部 野菜花き研究室	eラーニング プレゼンテーション講座	人事課主催	27.9.1～ 12.31

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
専門研究員 千葉 彩香	技術部 南部園芸研究室	新採用職員指導者研修	人事課主催	27.4.20
技師 鈴木 朋代	技術部 南部園芸研究室	新採用職員研修	人事課主催	27.4.14～17 27.6.15～18 27.10.21～23
生産環境研究室長 島 輝夫	環境部 生産環境研究室	新任担当課長等研修	人事課主催	27.5.18～20
主査専門研究員 桐山 直盛	環境部 生産環境研究室	新任主査研修	人事課主催	27.9.7～9.9
主任専門研究員 葉上 恒寿	環境部 生産環境研究室	eラーニング 問題発見・解決力向上講座	人事課主催	27.9.1～ 12.31
技師 数藤 慶亮	環境部 生産環境研究室	eラーニング 理論的思考能力向上講座	人事課主催	27.9.1～ 12.31
病理昆虫研究室長 大友 令史	環境部 病理昆虫研究室	コンプライアンス推進員研修	人事課主催	27.4.24
主任専門研究員 羽田 厚	環境部 病理昆虫研究室	新採用職員指導者研修	人事課主催	27.4.20
主任専門研究員 菅 広和	環境部 病理昆虫研究室	eラーニング マーケティング講座	人事課主催	27.9.1～ 12.31
主任専門研究員 羽田 厚	環境部 病理昆虫研究室	能力開発研修 「政策形成能力向上講座」	人事課主催	27.9.28～29
専門研究員 久保田 真衣	環境部 病理昆虫研究室	中堅職員研修	人事課主催	27.7.6～8
技師 松橋 伊織	環境部 病理昆虫研究室	新採用職員研修	人事課主催	27.4.14～17 27.6.15～18 27.9.30～ 10.2
病虫害防除部長 阿部 武美	病虫害防除部	eラーニング 理論的思考能力向上講座	人事課主催	27.9.1～ 12.31
技術主幹兼病虫害 防除課長 佐藤 正昭	病虫害防除部 病虫害防除課	eラーニング 企業会計講座(基礎編)	人事課主催	27.9.1～ 12.31
主査 高田 真	病虫害防除部 病虫害防除課	eラーニング 問題発見・解決力向上講座	人事課主催	27.9.1～ 12.31
主任 佐藤 美和子	病虫害防除部 病虫害防除課	eラーニング 企業会計講座(実務編)	人事課主催	27.9.1～ 12.31
技師 廣田 志紀子	病虫害防除部 病虫害防除課	eラーニング 企業会計講座(実務編)	人事課主催	27.9.1～ 12.31
技師 田村 恵里佳	病虫害防除部 病虫害防除課	eラーニング 理論的思考能力向上講座	人事課主催	27.9.1～ 12.31
家畜育種研究室長 細川 泰子	畜産研究所 家畜育種研究室	新任担当課長等研修	人事課主催	27.5.18～20
次長兼種山畜産研 究室長 高橋 学	畜産研究所 種山畜産研究室	管理監督者のためのメンタルヘルスセミナー	人事課主催	27.6.1
主任主査 村上 昭樹	畜産研究所 種山畜産研究室	能力開発研修 「経済学入門講座」	人事課主催	27.8.27～28
上席専門研究員 昆野 勝	畜産研究所 種山畜産研究室	eラーニング 問題発見・解決力向上講座	人事課主催	27.9.1～ 12.31
主査専門研究員 西田 清	畜産研究所 種山畜産研究室	eラーニング マーケティング講座	人事課主催	27.9.1～ 12.31
技師 羽田 雅紀	畜産研究所 種山畜産研究室	eラーニング 論理的思考能力向上講座	人事課主催	27.9.1～ 12.31
次長兼園芸研究室 長 鈴木 良則	県北農業研究所 園芸研究室	eラーニング 問題発見・解決力向上講座	人事課主催	27.9.1～ 12.31

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
作物研究室長 高橋 好範	県北農業研究所 作物研究室	eラーニング 問題発見・解決力向上講座	人事課主催	27.9.1～ 12.31
技師 福田 拓斗	県北農業研究所 園芸研究室	eラーニング 問題発見・解決力向上講座	人事課主催	27.9.1～ 12.31
主任行政専門員 向駒木 幸悦	県北農業研究所 総務課	eラーニング 企業会計講座〔基礎編〕	人事課主催	27.9.1～ 12.31
総務課長 舘ヶ澤 寛	県北農業研究所 総務課	eラーニング 企業会計講座〔実践編〕	人事課主催	27.9.1～ 12.31
主査専門研究員 長嶺 達也	県北農業研究所 園芸研究室	eラーニング 企業会計講座〔実践編〕	人事課主催	27.9.1～ 12.31
主査専門研究員 星 伸枝	県北農業研究所 作物研究室	eラーニング プレゼンテーション講座	人事課主催	27.9.1～ 12.31
主任専門研究員 高草木 雅人	県北農業研究所 作物研究室	eラーニング プレゼンテーション講座	人事課主催	27.9.1～ 12.31
専門研究員 斉藤 智宏	県北農業研究所 作物研究室	eラーニング プレゼンテーション講座	人事課主催	27.9.1～ 12.31

(2) 岩手県農林水産部主催研修

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
技師 柳本 麻衣	技術部 果樹研究室	平成27年度農林水産部新採用職員研修	農林水産部農林水産企画室主催	27.6.8～9
技師 柳本 麻衣	技術部 果樹研究室	平成27年度農林水産部新採用職員農林漁家体験研修	農林水産部農林水産企画室主催	27.8.6～12
技師 藤岡 智明	技術部 作物研究室	平成27年度農林水産部新採用職員研修	農林水産部農林水産企画室主催	27.6.8～9
技師 藤岡 智明	技術部 作物研究室	平成27年度農林水産部新採用職員農林漁家体験研修	農林水産部農林水産企画室主催	27.8.18～25
技師 鈴木 朋代	技術部 南部園芸研究室	平成27年度農林水産部新採用職員研修	農林水産部農林水産企画室主催	27.6.8～9
技師 鈴木 朋代	技術部 南部園芸研究室	平成27年度農林水産部新採用職員農林漁家体験研修	農林水産部農林水産企画室主催	27.10.26～31
技師 松橋 伊織	環境部 病理昆虫研究室	平成27年度農林水産部新採用職員研修	農林水産部農林水産企画室主催	27.6.8～9
技師 松橋 伊織	環境部 病理昆虫研究室	平成27年度農林水産部新採用職員農林漁家体験研修	農林水産部農林水産企画室主催	27.8.31～9.6

(3) 所内研修

研修会名称	所属部所・研究室	研 修 内 容	主催	開催日
情報セキュリティ研修会	本部	情報の安全・安心10のポイント・情報セキュリティ対策 講師:研究企画室員	研究企画室	27.4.10
会計事務等研修会	本部	会計の基本原則、適正な会計事務処理の方法、経理事務処理方法等 講師:総務課員 ※エコマネージメント及び油漏れ事故防止に関する研修も同時に実施	総務課	①27.4.22 ②27.12.14
交通安全研修	本部	①啓発ビデオ、交通事故の発生状況ほか 講師:北上警察署 交通課長 ②啓発ビデオ、冬道の安全運転についてほか 講師:総務課長	総務課	①27.7.15 ②27.12.14
AED操作研修会	本部	AEDの正しい操作方法について 講師:北上消防署員	総務課	①27.8.27 ②27.12.21
交通安全研修	畜産研究所	交通安全の啓発ビデオ上映、交通安全知識 講師:盛岡西警察署交通課	総務課	27.8.17
県北農業研究所職員研修	県北農業研究所	バイオマス発電建設現場視察、農家れすとらん 軽邑工房見学、メガソーラー建設予定地視察等	総務課	27.6.23
三公所合同交通安全研修会	県北農業研究所	交通安全の啓発ビデオ上映、講話 講師:二戸警察署員	総務課	27.10.29

5 所内セミナー等

名 称	開催期日	内 容	参集人員
【本部】 【プロジェクト推進室】 プロジェクト推進室ゼミ	27.4.13	先端技術展開事業現地状況調査・圃場担当農家との意見交換 (農業経営研究室、技術部作物研とも連携) 大槌、大船渡、陸前高田	10 名
	27.5.25	現地事例調査(相去、六原):カットドレーン施工実演、現地直播ほ場状況	4 名
	27.6.19	現地事例調査:大豆300A実演一関、直播、GCP導入状況 (花泉、千厩、江刺、水沢、金ヶ崎、藤根)	8 名
【企画管理部】 (なし)			
【技術部】 技術部ゼミ	27.5.28	岩手107号、118号栽培技術について 仲條 眞介ほか(作物研究室 上席専門研究員)	12 名
	27.12.3	カラーピーマン光照射追熟セミナー 1)カラーピーマンの光照射追熟技術を活用した増収技術 松永 啓 (野菜・茶業研究所) 2)宮城県におけるパプリカの光照射追熟技術の利用例 高橋 正明(宮城県農業総合研究所) 3)「ブランド化を促進する野菜の生産・加工技術の実証研究」におけるパプリカ栽培の現況と光照射追熟技術の活用状況 松浦 拓也(野菜花き研究室 主査専門研究員)	15 名
	27.12.21	農家派遣研修報告 柳本 麻衣(果樹研究室 技師)、藤岡 智明(作物研究室 技師) 鈴木 朋代(南部園芸研究室 技師)	20 名
	28.2.12	中国雲南省研究交流報告 渡辺 芳幸(技術部長) エクセルでお絵かき 阿部 弘(野菜花き研究室 主任専門研究員)	20 名
【環境部】 環境部ゼミ	27.12.8	りんどう鮮度保持について	5 名
	27.12.21	てんろ石灰肥料工場視察研修(釜石市)	8 名
	28.1.22	寒冷地果樹研究会事例発表練習 数藤慶亮(生産環境研究室 技師) 補給型施肥がりんごの樹体生育と果実品質、土壌の蓄積用分量に及ぼす影響調査	5 名
	28.2.12	北日本病害虫研究発表会(2016.2.25～2.26開催・札幌市)の講演予行演習	16 名

名 称	開催期日	内 容	参集人員
[病害虫防除部] 病害虫防除部オープンゼミ	27.6.2	イネいもち病における伝染環(伝染源排除)遮断の重要性について 講師:深谷富夫(Meiji Seikaファルマ(株)) 全国のQoI剤耐性イネいもち病菌発生状況とサンプリング方法について 講師:宍戸 貴洋(病害虫防除所 主任)	68 名
	28.2.3	タフブロックSP処理済種子の取り扱いについて 講師:田邊 謙二(出光アグリ(株)) 全国のQoI剤耐性イネいもち病菌発生状況について 講師:田村 恵里佳(病害虫防除所 技師)	80 名
[畜産研究所] 第1回セミナー(予演会)	27.7.23	経産牛用TMRを利用した乳用育成牛の早期育成技 伊藤 孝浩(家畜飼養・飼料研究室 主査専門研究員) イタリアンライグラスを併用した放牧地の春期更新・夏季利用技術 飯村 太一(外山畜産研究室 技師)	10 名
第2回セミナー(予演会)	27.8.25	飼料用米・大豆WCSを活用した自給率の高い乳牛の飼料給与技術開発 越川 志津(家畜飼養・飼料研究室 主査専門研究員)	8 名
第3回セミナー(予演会)	27.9.10	岩手県における日本短角種雄牛造成の取り組み 神山 洋(家畜育種研究室 専門研究員)	8 名
第4回セミナー(予演会)	27.9.24	岩手県における牛ゲノム研究について 熊谷 祐宏(家畜育種研究室 専門研究員)	10 名
第5回セミナー(予演会)	28.3.10	穀類を飼料用米で全量代替した配合飼料がバークシャー種肥育豚の発育・肉質に及ぼす影響 佐々木 康仁(家畜育種研究室 専門研究員) ゲノム研究の畜産への応用 熊谷 祐宏(家畜育種研究室 専門研究員)	8 名
[県北農業研究所] 第1回所内ゼミ	27.4.22	試験研究の進め方 プランニングとデザイン 及川 一也(所長)	10 名
第2回所内ゼミ	27.6.23	商品説明会	10 名
第3回所内ゼミ	27.7.22	学会発表に向けた予行演習 福田 拓斗(園芸研究室 技師) 東北農業試験研究発表会	10 名
第4回所内ゼミ	27.7.30	わかる使える生物統計集中講座 及川 一也(所長)	10 名
第5回所内ゼミ	27.8.25	微生物環境計測セミナー 岡田 益己氏(岩手大学三陸復興推進機構・農学部 客員教授)	12 名
第6回所内ゼミ	27.8.31	一般公開デーに向けた圃場巡回	10 名
第7回所内ゼミ	28.3.24	及川一也所長退職記念ゼミ 及川 一也(所長)「これからの農業研究・普及を阻む5つの要因と打開方策」	20 名

VII 試験研究以外の業務概要

VII 試験研究以外の業務概要

1 作物の原々種の採種

(1) 主要農作物種子法に基づく原々種種子の生産

種 類	品 種	面 積 (a)	採種量 (kg)	備考 (採種場所等)
水稻(うるち)	あきたこまち	5	56	農業研究センター
	銀河のしずく(岩手107号)	5	161	〃
	いわてっこ	5	46	〃
水稻(非主食用)	つぶゆたか	2	26	〃
	つぶみのり	2	33	〃
水稻(もち)	ヒメノモチ	5	142	〃
小麦	銀河のちから	25	67	〃
	ゆきちから	2	683	〃
大豆	ナンプシロメ	20	490	〃
	南部黒平	1	5	〃
	ユキホマレ	0.04	3	〃

(2) その他原々種種子の生産

種 類	品 種	面 積(a)	採種量(単位)	備考(採種場所等)
りんどう	Ng	—	13(ml)	農業研究センター
	Ep	—	2(ml)	〃
	Ha	—	16(ml)	〃
	Iwa	—	14(ml)	〃
	YRy II	—	52(ml)	〃
	IHO	—	20(ml)	〃
	SA	—	8(ml)	〃

2 作物の原種の採種

(1) 主要農作物種子法に基づく原種種子の生産

種 類	品 種	面 積 (a)	採 種 量 (kg)	備 考 (採種場所等)
水稻うるち	ひとめぼれ	351	12,050	農業研究センター
	あきたこまち	100	3,680	〃
	いわてっこ	100	3,360	〃
	どんびしやり	52	1,000	〃
	かけはし	17	350	県北農業研究所
	銀河のしずく	10	180	農業研究センター
酒造好適米	ぎんおとめ	4	239	農業研究センター
水稻非主食用米	つぶみのり	10	523	農業研究センター
水稻もち	ヒメノモチ	50	4,368	紫波町
	もち美人	15	478	農業研究センター
小麦	ナンプコムギ	252	4,750	農業研究センター
	ゆきちから	159	3,792	〃
	銀河のちから	57	1,290	〃
大豆	シュウリュウ	115	2,420	〃
	ユキホマレ	3	40	〃
	南部黒平	3	39	〃

(2) その他原種種子の生産

種 類	品 種	面 積(単位)	採種量(kg)	備考(採種場所等)
小豆	-	-	-	農業研究センター
そば	-	-	-	-
ヒエ	-	-	-	-
キビ	-	-	-	-
アワ	虎の尾	-	0.3	県北農業研究所
	大槌10	-	0.6	〃

3 種苗等の配布

(1) 主要農作物種子法に基づく種苗の配布

種 類	品 種	数 量(kg)	配 布 先
水稲うるち (平成28年採種圃播種用)	ひとめぼれ	11,060	(公社) 岩手県農産物改良種苗センター
	あきたこまち	2,240	〃
	いわてっこ	1,420	〃
	どんびしゃり	600	〃
	かけはし	240	〃
	銀河のしずく	230	〃
	ササニシキ	110	〃
酒造好適米 (平成28年採種圃播種用)	ぎんおとめ	22	(公社) 岩手県農産物改良種苗センター
	吟ぎんが	70	〃
	結の香	8	〃
水稲非主食用米 (平成28年採種圃播種用)	つぶゆたか	560	(公社) 岩手県農産物改良種苗センター
	つぶみのり	380	〃
水稲もち (平成28年採種圃播種用)	ヒメノモチ	900	(公社) 岩手県農産物改良種苗センター
	もち美人	180	〃
小麦原種 (27年採種圃播種用)	ナンブコムギ	3,810	(公社) 岩手県農産物改良種苗センター
	ゆきちから	2,462	〃
	ネバリゴシ	108	〃
	銀河のちから	1,020	〃
大豆原種 (27年採種圃播種用)	ナンブシロメ	580	(公社) 岩手県農産物改良種苗センター
	リュウホウ	705	〃
	シュウリュウ	495	〃
	ユキホマレ	30	〃
	青丸くん	12	〃
	すずほのか	3	〃
	コスズ	6	〃

注) 旧年産の種子も供給していること。

(2) その他種苗の配布

種 類	品種・系統	数量(単位)	配 布 先
水稻(新形質米等) (平成28年一般播種用)	銀河のしずく	5,680(kg)	(公社) 岩手県農産物改良種苗センター
	きらほ	80(kg)	〃
	かぐやの舞	5(kg)	〃
	ゆきおとめ	12(kg)	〃
小豆原種	岩手大納言	5(kg)	(公社) 岩手県農産物改良種苗センター
	ベニダイナゴン	2(kg)	〃
ヒエ原種			配布実績無し
キビ原種	ひめこがね	1.50(kg)	(公社) 岩手県農産物改良種苗センター
アワ原種	大槌10	0.25(kg)	〃
そば原種	岩手早生	100(kg)	(公社) 岩手県農産物改良種苗センター
りんどう	採種用母株(実生苗)		
	Ha(13-478)	200(株)	(公社) 岩手県農産物改良種苗センター
	Ha(11-548)	250	〃
	Ha(11-558)	200	〃
	Ha(11-563)	200	〃
	Ha(14-13)	450	〃
	YRy(13-506)	350	〃
	YRyⅡ(14-17)	150	〃
	YRyⅡ(14-18)	150	〃
	HaⅡ(14-21)	300	〃
	HaⅡ(14-24)	300	〃
Ba(14-25)	300	〃	
リンゴ	苗木生産用穂木		
	岩手7号(紅いわて)	9(kg)	(公社) 岩手県農産物改良種苗センター

4 県有種雄牛の精液の供給

(畜産研究所種山畜産研究室:平成28年3月24日現在)

(1) 黒毛和種

(単位:本)

種雄牛の名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
菊福秀	423	328	456	377	391	681	578	412	550	452	476		5,124
花安勝	225	218	226	153	180	165	127	109	120	161	158		1,842
月山桜	159	155	117	97	85	10	103	110	50	70	67		1,023
古都乃花	160	135	125	122	74	45	85	60	60	50	80		996
百合茂勝	65	126	64	85	83	50	50	45	175	55	61		859
緑乃大地	70	40	95	50	93	85	50	130	90	57	65		825
花金幸	10	30	30	96	40	5	30	30	45	75	85		476
八重実福	5	65	80	80	95	20	0	13	5	25	15		403
晴奈	25	60	20	66	25	55	70	15	50	0	0		386
山根雲	10	30	35	140	0	15	15	5	0	5	0		255
雪乃花	0	10	30	33	7	0	35	30	45	4	18		212
菊安舞鶴	30	2	7	25	22	0	8	1	5	5	45		150
来待招福	18	5	0	10	25	23	5	10	10	20	10		136
絹美継	70	20	10	20	0	0	0	0	0	5	0		125
雪福秀	0	30	20	0	0	0	0	0	0	45	0		95
秀福安	0	12	0	10	10	5	0	5	20	0	30		92
菊勝久	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	60		70
優成	0	10	10	10	10	20	0	0	0	0	0		60
その他	25	40	8	23		15		23	15	13	18		180
計	1,295	1,316	1,333	1,397	1,140	1,194	1,156	998	1,240	1,052	1,188	0	13,309

(2) 日本短角種

(単位:本)

種雄牛の名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
民姫	20	5	0	0	0	0	0	0	0	2	8		35
慶一	0	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0		20
辰郎	0	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0		20
松福	0	0	0	0	5	10	1	0	0	0	2		18
若鯨	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0		4
波辰	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0		2
計	22	45	0	0	5	10	1	2	2	2	10	0	99

5 種豚、種鶏等の配布

(畜産研究所家畜育種研究室:平成28年3月31日現在)

(1) 種豚の配布

品 種	種 類			配 布 先	
	雌(頭)	雄(頭)	計(頭)		
L	0	0	4	4	県内養豚農場
B	10	3	26	39	県内養豚農場
LW	0	0	0	0	県内養豚農場
その他	0	0	18	18	県内養豚農場
計	10	0	48	58	

(2) 種鶏等の配布

品 種	種 類			配 布 先
	雌(羽)	雄(羽)	計(羽)	
南部かしわ雛	3,693	641	4,334	岩手しずくいし南部かしわ生産組合他

6 寄託放牧

(畜産研究所外山畜産研究室:平成27年5～10月)

(1) 牛

品 種	種 類			計(頭)
	成牛雌(頭)	成牛雄(頭)	子牛(頭)	
日本短角種	47	1	35	83

(2) 馬

品 種	種 類			計(頭)
	成馬雌(頭)	成馬雄(頭)	子馬(頭)	
ブル系等	1	6	3	10

VIII 人事、予算、財産

Ⅷ 人事、予算、財産

1 岩手県農業研究センター予算 (H27年度・2月現計)

(単位:千円)

区 分	(内 訳)	予 算 額
【農業費】		
人件費(本部・県北)		746,776
庁舎管理費(本部)		112,941
ほ場管理費(本部)(耐冷性検定ほ場施設整備費含む)		101,622
ふれあい公園管理運営費		13,452
庁舎管理費(県北)		23,311
ほ場管理費(県北)		9,945
試験研究費(国庫、委託試験等)		275,248
(1)植物防疫研究費	9,895	
(2)土壌対策研究費	3,705	
(3)外部資金等農業試験研究費	261,648	
高生産性農業新技術開発促進研究費(県単研究費)		18,024
主要農作物採種管理費		18,093
令達事業(本部)		
令達事業(県北)		
合 計		1,319,412
【畜産業費】		
人件費(畜産)		415,231
庁舎管理費		80,380
飼育管理費		118,823
管理運営費(種山畜産研究室分)		122,083
試験研究費(国庫、委託試験等)		10,450
農業関係試験研究委託事業	10,450	
高生産性畜産新技術開発促進研究費(県単研究費)		16,413
令達事業		
合 計		763,380
全 体 計		2,082,792

2 建物・用地の面積及び飼養家畜数 (H28.3.31現在)

(1) 建物・用地の面積

	用 地 (ha)							建物(m ²)		
	耕 地					林野等	施設用地	総面積	棟数	延面積
	水田	畑	樹園地	採草放牧地	小計					
本 部	30	28	21		79	16	23	118	73	27,776
北 上	26	18	21		65		18	84	32	19,198
【主な施設面積(内数)】										
管理棟										2,911
実験研究棟										5,057
作物調査研究棟										716
育苗ガラス温室										992
穀物乾燥原種調整調査棟										860
園芸作物調査棟										716
生産環境調査棟										608
ふれあい公園						16	2	17	13	3,431
南部園芸研究室							0.5	0.5	8	1,862
旧銘柄米開発研究室	4	1			5		2	7	25	4,306
その他		8			8		0	8	3	841
畜産研究所		99		1,596	1,695	297	35	2,028	150	37,671
滝沢(本所)		93			93	57	30	180	92	24,048
外山畜産研究室		6		1,484	1,490	132	5	1,627	43	7,171
種山畜産研究室				112	112	108	0.4	221	15	6,452
県北農業研究所	1	11	0		12		8	20	17	8,083
合 計	31	138	21	1,596	1,787	313	66	2,166	240	73,530

(2) 飼養家畜頭数 (H28.2.1現在)

(単位:頭・羽)

種別性別		雄	雌	計	品種別頭羽数
乳用牛	経産牛		35	35	ホルスタイン種 64
	育成牛(子牛含む)		29	29	
肉用牛	(滝沢)	86	35	121	黒毛和種 88、日本短角種 29、交雑種 4 (子牛除く) 黒毛和種 71、日本短角種 58 (育成9ヶ月以上) 黒毛和種 (雌は子牛含む)
	(外山)	(雄29, 去勢57)	129	129	
	(種山)	74	46	120	
		(雄48, 去勢26)			
	牛 計	160	274	434	
豚	種豚	19	26	45	【種豚の内訳】 パークシャー種 68、ランドレース種(イワテハヤチネL2) 45、大ヨークシャー種 1、デュロック種 2、雑種 62
	その他	-	-	130	
	計	19	26	175	
鶏	種鶏	-	-	1,872	岩手地鶏266、岩手大型ロード、新ロード、基礎鶏341、ホワイトロックロード576、ホワイトロック51

3 種苗登録、特許等

(1) 種苗登録

種 類	登録(出願)品種の名称	登 録 番 号	登 録 年 月 日	備 考
りんどう	いわて	第 311号	S52. 9. 7	育成者権消滅
りんどう	いわて乙女	第 544号	S59. 3.19	〃
りんどう	ジョバンニ	第 1,101号	S61. 8. 8	〃
りんどう	イーハトーヴォ	第 1,100号	S61. 8. 8	〃
大豆	緑良	第 2,517号	H 2.12. 5	〃
大豆	緑翠	第 2,516号	H 2.12. 5	〃
りんどう	アルビレオ	第 2,553号	H 2.12. 5	〃
りんどう	マシリイ	第 3,073号	H 4. 2.29	〃
りんどう	ホモイ	第 3,074号	H 4. 2.29	〃
ぶどう	エーデルアーリー	第 3,404号	H 5. 3.10	〃
りんご	きおう	第 3,947号	H 6. 3.14	〃
りんどう	アルタ	第 4,085号	H 6. 8.22	〃
稲	かけはし	第 4,410号	H 7. 3.23	〃
稲	ゆめさんさ	第 4,411号	H 7. 3.23	〃
りんどう	ポラーノ ホワイト	第 4,999号	H 8. 3.18	〃
りんどう	あおこりん	第 7,713号	H12. 2.22	育成者権消滅
りんどう	ももこりん	第 7,714号	H12. 2.22	
りんどう	ポラーノ ブルー	第 7,715号	H12. 2.22	
大豆	星めぐり	第 7,756号	H12. 2.22	
稲	吟ぎんが	第10,471号	H14. 9. 4	
スターチス	アイスター モーブ	第10,673号	H14. 9.30	育成者権消滅
スターチス	アイスター ラベンダー	第10,674号	H14. 9.30	〃
スターチス	アイスター ライラックブルー	第10,675号	H14. 9.30	〃
スターチス	アイスター ロージーピンク	第10,676号	H14. 9.30	〃
スターチス	アイスター ライラック	第10,677号	H14. 9.30	〃
稲	ぎんおとめ	第10,963号	H15. 2.20	育成者権消滅
大豆	ちゃげ丸	第11,099号	H15.3.17	
大豆	ぷっくらこ	第11,100号	H15.3.17	
稲	いわてっこ	第12,177号	H16. 8.18	
きく	アイمامアーリーイエロー	第13,034号	H17. 3.23	
きく	アイمامホワイト	第13,035号	H17. 3.23	育成者権消滅
きく	アイمامピンク	第13,036号	H17. 3.23	
きく	アイمامイエロー	第13,037号	H17. 3.23	
きく	アイمامホワイトピーチ	第13,038号	H17. 3.23	
稲	もち美人	第13,295号	H17. 9.13	

種 類	登録(出願)品種の名称	登 録 番 号	登 録 年 月 日	備 考
りんご	黄香	第13,771号	H18. 2.27	
きく	アイمامレモンイエロー	第13,800号	H18. 2.27	
きく	アイمامオータムホワイト	第13,801号	H18. 2.27	
きく	アイمامパープルレッド	第13,802号	H18. 2.27	
きく	アイمامアーリーホワイト	第13,803号	H18. 2.27	
きく	アイمامオレンジ	第15,952号	H19.12.18	
きく	アイمامレッド	第15,953号	H19.12.18	
稲	どんびしゃり	第16,604号	H20. 3.17	
りんどう	マジエル	第16,725号	H20. 3.17	
りんどう	キュースト	第16,726号	H20. 3.17	
スターチス	アイスター ソフトピンク	出願番号第18,507号	出願(H17. 7. 8)	登録申請取り下げ
きく	アイمامオータムイエロー	第17,727号	H21. 3. 6	育成者権消滅
きく	アイمامオータムレッド	第17,728号	H21. 3. 6	”
きく	アイمامピュアホワイト	第17,968号	H21. 3.19	”
りんご	岩手7号(商標:紅いわて)	第18,415号	H21. 9.10	
りんどう	いわて夢あおい	第18,762号	H22. 1.14	
りんどう	ももずきんちゃん	第20,210号	H23. 1.25	
りんどう	いわてDPB1号	第20,345号	H23. 2.15	
稲	かぐやの舞	第20,350号	H23. 2.15	
稲	つづみ星	第20,351号	H23. 2.15	
稲	つづみのり	第20,535号	H23. 3. 9	
稲	あけのむらさき	第20,710号	H23. 3.18	
稲	吟さやか	第20,711号	H23. 3.18	
稲	ゆきおとめ	第20,712号	H23. 3.18	
稲	つづゆたか	第20,716号	H23. 3.18	
ひえ	ねばりっこ1号	第21,577号	H24. 3. 9	
ひえ	ねばりっこ2号	第21,578号	H24. 3. 9	
ひえ	ねばりっこ3号	第21,579号	H24. 3. 9	
りんご	大夢	第22,369号	H25. 3. 6	
ぶどう	エーデルロツソ	第22,547号	H25. 3.25	
りんどう	いわて夢みのり	第22,946号	H26. 1.23	
稲	結の香	第23,454号	H26. 6.30	
りんどう	いわて夢みつき	第24,342号	H27. 6. 9	
稲	きはほ	第24,582号	H27.11.19	
あわ	ゆいこがね	出願番号第28,551号	出願(H26. 2. 5)	
きび	ひめこがね	出願番号第29,612号	出願(H26.10. 3)	
りんどう	いわてLB-3号	出願番号第29,679号	出願(H26.10.29)	
りんどう	いわてLB-4号	出願番号第29,680号	出願(H26.10.29)	
稲	岩手117号	出願番号第30,039号	出願(H27. 3.26)	
稲	銀河のしずく	出願番号第30,607号	出願(H27.11. 9)	

種 類	登録(出願)品種の名称	登 録 番 号	登 録 年 月 日	備 考
りんどう	いわてVEB-7号	出願番号第30,693号	出願(H27.12.14)	
りんどう	いわてEB-1号	出願番号第30,694号	出願(H27.12.14)	

(2) 特許、実用新案

名 称	出願・公開番号(年月日)	登録番号(年月日)
米を原料とした飲料の製造方法	特開平03-272671 (H 3.12. 4)	1990534(H 7.11. 8) ※H22. 3.19存続期間満了
牧草種子の播種方法及び牧草種子の散布用の複合肥料ペレット	特開平10-276514 (H10.10.20)	(公開・拒絶査定)
マクロシードペレットの散布装置	特開平10-276516 (H10.10.20)	(公開・拒絶査定)
遺伝子導入りんご及びその作出法	特開2000-270700 (H12.10. 3)	(公開・拒絶査定)
果樹の成育状態評価方法	特開2004-147539 (H16. 5.27)	4026684(H19.10.19)
土壌用有機成分の推定装置	特開2005-017115 (H17. 1.20)	3902160(H19. 1.12)
ハトムギ食品の製造方法	特開2005-040104 (H17. 2.17)	3842253(H18. 8.18)
家畜用胚移植器	特開2006-181078 (H18. 7.13)	4111523(H20. 4.18)
降霜予測装置	特開2006-189403 (H18. 7.20)	4053544(H19.12.14)
有機肥料の製造方法及び有機肥料	特開2006-265027 (H18.10. 5)	4240492(H21. 1. 9)
物質の成分推定方法及び物質の成分推定装置	特開2007-187486 (H19. 7.26)	4258780(H21. 2.20)
水田作業機の排水溝形成装置	特開2010-124775(H22. 6.10)	4854045(H23.11. 4)
りんどうの鮮度保持用包装袋及びりんどうの保存方法	特開2010-163197(H22. 7.29)	(公開・拒絶査定)
高設栽培装置及びこれを用いた高設栽培方法	特開2010-227008(H22.10.14)	4900735(H24. 1.13)
樹皮繊維培土の製造方法及び樹皮繊維培土	特開2012-024006(H24. 2. 9)	5013558 (H24. 6.15)
切断装置	特願2013-084786(H25. 4.15)	(出願・審査請求中)
植物の栽培方法および植物の栽培装置	特願2014-051011(H26. 3.14)	(出願中)

(3) 一般に公開しているプログラム等

名 称	公 開 (年月日)	バージョン	担当研究室(開発者)
「生産技術体系」及び「営農計画作成支援シート」	平成18年 2月22日	ver.1.2	農業経営研究室 (主任専門研究員 前山 薫)
集落営農組織化効果試算シート	平成18年 6月 9日	ver.0.1	農業経営研究室 (主任専門研究員 前山 薫)
作業可能日数率算出支援シート	平成19年 3月30日	ver.1.0	生産工学研究室 (主任専門研究員 大里 達朗)
水稻施肥設計支援シート	平成21年 7月 6日	ver.3.0	生産環境研究室 (主任専門研究員 大友 英嗣)
園芸畑作施肥設計支援シート	平成24年 2月 7日	ver.1.0	生産環境研究室 (主任専門研究員 大友 英嗣)

4 表彰

表彰名称(表彰団体)	表彰の対象者(組織)				表彰の対象となった事績内容	表彰年月日	
(外部表彰)	(該当なし)						
(内部表彰) 平成27年度農林水産部長表彰	技術部	作物研究室	作物研究室長	菅原 浩視	食味、栽培特性に優れる中生粳水稲「銀河のしずく」(岩手107号)の開発	28.3.28	
			主任専門研究員	小館 琢磨			
			専門研究員	太田 裕貴			
			上席専門研究員	仲條 眞介			
			主査専門研究員	永富 巨人			
			上席専門研究員	尾形 茂			
			主任技能員	西野 哲仁			
	県北農業研究所	作物研究室	主任専門研究員	高草木 雅人			
岩手県生物工学研究所		所長	佐々木 力				
(公財)岩手生物工学研究センター		研究主査	阿部 陽				
(機関表彰) 畜産研究所家畜飼養・飼料研究室及び外山畜産研究室					家畜飼養管理及び飼料生産に係る効率的な業務体制の構築	28.3.28	
(内部表彰) 平成27年度第1回農業研究センター所長表彰(通算26回)	技術部	野菜花き研究室	主査専門研究員	山口 貴之	休眠特性の解明によるアスパラガス新作型の開発による博士号の取得	27.7.30	
(内部表彰) 平成27年度第2回農業研究センター所長表彰(通算27回)	企画管理部	研究企画室	上席専門研究員	平瀬 英利	外部研究資金事業における内部監査体制の整備及び研究倫理の確立	28.2.16	
	企画管理部 農業科学博物館	総務課	主任主査 資料調査員 資料調査員	○小原 正輝 佐々木 きし子 藤原 勝栄	積極的なPR活動により農業科学博物館の利用者目標を達成		
	技術部	果樹研究室	主査専門研究員	川守田 真紀	生産現場のニーズに対応したりんご品種の特性解明及び栽培法の確立		
	技術部	作物研究室	主査専門研究員	永富 巨人	水稲新品種「銀河のしずく」の高品質・良食味米安定栽培法の確立		
	技術部	野菜花き研究室	主査専門研究員	○中里 崇	形質の優れるお盆需要期向け青色切花りんどう品種の育成		
	技術部	南部園芸研究室	主任専門研究員	佐々木 忍			
	技術部	南部園芸研究室	専門研究員	太田 祐樹	地域資源を用いた木質製園芸ハウスの改良		
	環境部	生産環境研究室	上席専門研究員	菊地淑子	ダイズにおける補給型施肥効果の明確化による低コスト化への貢献		
	環境部	生産環境研究室	主査専門研究員	桐山 直盛	県産農産物等の放射性物質検査による食の安心への貢献		
	病虫害防除部		主任 技師	○宍戸 貴洋 田村 恵里佳	“イネばか苗病クリーン作戦”第2ステージ移行への貢献		
	病虫害防除部		主任主査 主査 主任	○阿部 洋 高田 真 佐藤 美和子	病虫害防除所基幹業務プロセスのマニュアル化		
	(水稲種子病害対策連携プロジェクトチーム)						
	環境部	病理昆虫研究室	主任専門研究員	○菅 広和	水稲種子伝染性病害の防除体系確立及び保菌状況モニタリング体制の構築		
	技術部	作物研究室	室長	大友 令史			
技術部	作物研究室	上席専門研究員	和賀 佳子				
技術部	作物研究室	室長	菅原 浩視				
技術部	作物研究室	上席専門研究員	荻内 謙吾				
技術部	作物研究室	上席専門研究員 主査専門研究員	尾形 茂 永富 巨人				

表彰名称(表彰団体)	表彰の対象者(組織)			表彰の対象となった事績内容	表彰年月日	
(内部表彰) 平成27年度第1回 農業研究センター 畜産研究所長表彰 (通算12回)	畜産研究所	家畜飼養・飼料研究室 ※飼養グループ	主査専門研究員 主査専門研究員 主任技能員 " " " " 技能員 " " 期限付臨時職員 " " " " " " 非常勤職員	○伊藤 孝浩 越川 志津 小林 雄二 水澤 博征 畠山 博文 上澤 賢輝 荒屋 康之 田村 利克 平澤 文香 松澤 研二 山崎 正人 齋藤 健	家畜飼養管理及び飼料生産に係る効率的な業務体制の構築	27.9.7
(内部表彰) 平成27年度第2回 農業研究センター 畜産研究所長表彰 (通算13回)	畜産研究所	総務課	主任主査	近藤 光宏	長年懸案となっていた国道4号線周辺の危険木伐採業務の計画的な推進や、廃プラスチック・鉄くず及び有機溶媒等廃液の廃棄物処理及び各種施設修繕等の業務を確実に、財産管理等業務の適正化に貢献した。	28.3.18
"	"	家畜育種研究室	主任技能員 主任技能員 技能員 技能員 非常勤職員 期限付臨時職員 期限付臨時職員 日々雇用職員 日々雇用職員 主査専門研究員 専門研究員	○工藤 明彦 菅原 薫 葉木澤 一也 米沢 健治 岩崎 春見 廣田 裕誠 石山 秋男 菊池 勝敏 高久 しげり 児玉 英樹 神山 洋	肉牛舎における交代制勤務職員が土・日曜日での指定日取得ができるよう、前日における業務の見直しを図るとともに、週末での少人数体制勤務が可能となるよう、時系列で作業内容がわかる手順書を作成し、2名による勤務体制の実現に尽力した。	
"	"	家畜育種研究室	主任技能員 主任技能員 技能員 非常勤職員 期限付臨時職員 日々雇用職員 日々雇用職員 専門研究員	○永洞 俊司 中村 健 西野 聖 刈間澤 藤夫 田中 美波 千葉 克司 志田藤喜枝子 佐々木 康仁	精液採取の早期化による種雄豚の効率的な利用及び生産農場の希望を叶えた種雄豚の譲渡を行うため、種雄豚の調教時期の前倒し及び屋外放牧の導入により、種雄豚の飼養管理の改善に尽力した。	
"	"	外山畜産研究室	技師 主任技能員 主任技能員 主任技能員 期限付臨時職員 非常勤職員 非常勤職員	飯村 太一 荒木田 俊一 竹田 政則 ○鳴海 茂揮 八重畑 功 藤原 時夫 室坂 光荣	課題となっていた放牧牛の脱柵防止及び飼料畑獣害対策のほか、家畜の追い込み作業軽減対策として、簡易電気牧柵の配線を工夫し脱柵防止等を図るとともに、リボンワイヤーによる家畜誘導を行うなど、作業の効率化や獣害防止を進め業務改善に大きく貢献した。	
"	"	種山畜産研究室	主任技能員	斎藤 和一	長年にわたり種山畜産研究室の技能員として黒毛和種の種雄牛造成と飼養管理に携わり、多くの優秀な県基幹種雄牛の作出、調教管理及び凍結精液の作成に貢献した。	
"	"	種山畜産研究室	技師 上席獣医師	○羽田 雅紀 昆野 勝	予てから課題となっていた当室のネットワークフォルダのデータ保存整理及びLANディスクの増設整備を行うことにより各事業データの情報共有と利活用の促進を図り、作業性の向上、業務の効率化に尽力した。	

表彰名称(表彰団体)	表彰の対象者(組織)				表彰の対象となった事績内容	表彰年月日
(内部表彰) 平成27年度第1回 農業研究センター 県北農業研究所長 表彰 (通算10回)	県北農業研究所	作物研究室	上席専門研究員	中西 商量	中山間地域向け農業技術の開発と普及促進に貢献	27.8.4
	県北農業研究所	園芸研究室	主査専門研究員	長嶺 達也	葉菜類の施設栽培技術開発に貢献	
	県北農業研究所		臨時的任用職員	俵山 則子	事務処理の改善による業務の円滑化に貢献	
	県北農業研究所		臨時的任用職員	明堂 富子	長年にわたり業務に精励し農業研究の推進に貢献	
(内部表彰) 平成27年度第2回 農業研究センター 県北農業研究所長 表彰 (通算11回)	県北農業研究所	園芸研究室	主査専門研究員	星 伸枝	8月上中旬に開花する形質の優れたリンドウ品種「いわてEB-2号」の県北地域における諸特性を明らかにするなど、品種育成に貢献した。	28.3.15
	県北農業研究所	園芸研究室 作物研究室	主査専門研究員 主任専門研究員	長嶺 達也 高草木 雅人	雑穀及びホウレンソウにおける機能性成分ルテインの動態の明確化 1 アワ、キビ子実中にルテインが多く含まれることを生工研センターと共同して明らかにするとともに、「ゆいこがね」の収量とルテイン含量の双方を高く保つ収穫適期を明確化。 2 ホウレンソウのルテイン含有量の動態を調査し、寒締めホウレンソウが新たな食品表示に対応する可能性が高いことを明らかにした。	
	県北農業研究所	総務課 園芸研究室 園芸研究室 総務課	総務課長 次長兼園芸研究室長 主査専門研究員 運転技士兼技能員	舘ヶ沢 寛 鈴木 良則 星 伸枝 日山 千代司	地域住民との交流を通じた農業理解の促進や生活環境の向上に貢献 1 東日本大震災津波の被災・仮設住宅の花壇づくりを住民とともに実施。(H24から継続) 2 地域の保育園児の花壇づくり支援やサツマイモづくり体験の実施による食農教育を実施。 3 地元中学生、高校生、県内大学生の研修・インターンシップを積極的に受け入れ、農業理解の促進等を図った。	

5 職員名簿

(平成28年3月31日現在)

職 名	氏 名	職 名	氏 名
所長	木 内 豊	[作物栽培・種子チーム]	
副所長	(欠 員)	上席専門研究員(総括)	荻 内 謙 吾
プロジェクト推進室長 [水田農業チーム] 上席専門研究員(総括) 主任専門研究員 主任専門研究員 主任技能員	八 重 樫 耕 一 吉 田 宏 寺 田 道 一 藤 田 智 美 菅 野 輝 彦	上席専門研究員 主査専門研究員 主査専門研究員	尾 形 茂 永 富 巨 人 小 原 公 則
企画管理部長	畠 山 俊 行	野菜花き研究室長 [野菜チーム] 主査専門研究員(総括) 主査専門研究員 主査専門研究員 主任専門研究員	高 橋 守 松 浦 拓 也 山 口 貴 之 藤 尾 拓 也 吉 田 泰
研究企画室長 [企画チーム] 上席専門研究員(総括) 上席専門研究員 主任専門研究員 主任専門研究員 主任専門研究員	鈴 木 茂 寿 熊 谷 拓 哉 平 瀨 英 利 佐 藤 美 佳 子 伊 勢 智 宏 土 澤 一 博	上席専門研究員(総括) 主査専門研究員 主任専門研究員 主任専門研究員	内 藤 善 美 中 里 崇 阿 部 弘 佐 々 木 忍
農業経営研究室長 [経営チーム] 主査専門研究員(総括) 主任専門研究員 専門研究員	村 上 和 史 前 山 薫 吉 田 徳 子 田 中 英 輝	専門研究員 技師	川 村 浩 美 千 葉 彩 香 太 田 祐 樹 鈴 木 朋 代
総務課長 [総務チーム] 主任主査(総括) 主査 主任 [管理チーム] 主任主査(総括) 主任	高 橋 啓 三 上 山 敦 稔 畠 山 聡 子 織 田 恭 定 小 原 正 輝 高 橋 俊 也	上席専門研究員(総括) 主査専門研究員 主任専門研究員 技師 主任技能員 主任技能員	多 田 勝 郎 島 輝 夫 菊 地 淑 子 桐 田 直 盛 葉 上 恒 寿 数 藤 慶 亮 佐 藤 広 昭 貉 澤 哲 哉
技術部長	渡 辺 芳 幸	生産環境研究室長 [環境チーム] 上席専門研究員(総括) 主査専門研究員 主任専門研究員 技師 主任技能員 主任技能員	大 友 令 史 和 賀 佳 子 菅 広 和 小 山 田 早 希 羽 田 厚 久 保 田 真 衣 松 橋 伊 織
果樹研究室長 [果樹チーム] 主査専門研究員(総括) 主査専門研究員 主任専門研究員 技師 主任技能員 主任技能員 主任技能員 技能員	佐 々 木 真 人 川 守 田 真 紀 大 野 浩 淺 川 知 則 柳 本 麻 衣 佐 藤 洋 貴 菊 地 徳 章 西 野 哲 仁 小 黒 澤 清 人	主任専門研究員 技師 [昆虫チーム] 主任専門研究員(総括) 専門研究員 技師	阿 部 武 美 佐 藤 正 昭 阿 部 洋 宍 戸 貴 洋 田 村 恵 里 佳 高 田 真 佐 藤 美 和 子 飯 村 茂 之 山 本 明 日 香 廣 田 志 紀 子
作物研究室長 [水稻育種チーム] 上席専門研究員(総括) 主任専門研究員 専門研究員 技師	菅 原 浩 視 仲 條 眞 介 小 舘 琢 磨 太 田 裕 貴 藤 岡 智 明	主任 技師 [農薬指導チーム] 主査(総括) 主任 主任行政専門員 技師 技師	

職名	氏名	職名	氏名
畜産研究所長	渡 辺 亨		
次長	平 野 晃	外山畜産研究室長	熊 谷 光 洋
次長	吉 田 力	上席専門研究員	増 田 隆 晴
次長	高 橋 学	専門研究員	上 出 拓 海
総務課長	谷 地 誠	技師	飯 村 太 一
主任主査	近 藤 光 宏	主任技能員	荒 木 田 俊 一
主任	菅 原 弘 史	主任技能員	竹 田 政 則
主任技能員	小 林 雄 二	主任技能員	鳴 海 茂 揮
主任技能員	右 京 隆 二	種山畜産研究室長 (次長兼務)	高 橋 学
主任技能員	工 藤 明 彦	主任主査	村 上 昭 樹
主任技能員	上 野 由 克	上席専門研究員	昆 野 勝
主任技能員	中 村 健	主査専門研究員	西 田 清
主任技能員	菅 原 薫	専門研究員	澤 田 建
主任技能員	永 洞 俊 司	技師	羽 田 雅 紀
主任技能員	細 野 貴 樹	主任技能員	斎 藤 和 一
主任技能員	鷺 見 義 信	主任技能員	松 本 徹
主任技能員	水 澤 博 征	技能員	後 藤 克 明
主任技能員	畠 山 博 文		
技能員	上 澤 賢 輝	県北農業研究所長	及 川 一 也
技能員	谷 地 館 透	次長	鈴 木 良 則
技能員	葉 木 澤 一 也	総務課長	館 ヶ 沢 寛
技能員	中 軽 米 徳 典	主任行政専門員	向 駒 木 幸 悦
技能員	荒 屋 康 之	主任技能員	清 水 賢 一
技能員	西 野 聖	運転技士兼技能員	日 山 千 代 司
技能員	武 田 溪 介	技能員	藤 根 寛 道
技能員	唐 芳 聖		
技能員	米 沢 健 治	園芸研究室長 (次長兼務)	鈴 木 良 則
家畜育種研究室長	細 川 泰 子	主査専門研究員(総括)	長 嶺 達 也
上席専門研究員	佐 々 木 睦 美	主査専門研究員	星 伸 枝
主査専門研究員	児 玉 英 樹	主任専門研究員	横 田 啓
専門研究員	佐 々 木 康 仁	技師	福 田 拓 人
専門研究員	神 山 洋	作物研究室長	高 橋 好 範
専門研究員	熊 谷 祐 宏	上席専門研究員(総括)	中 西 商 量
首席専門研究員兼家畜飼養・飼料研究室長	藤 原 哲 雄	主任専門研究員	高 草 木 雅 人
主査専門研究員	越 川 志 津	専門研究員	齊 藤 智 宏
主査専門研究員	佐 藤 ま り 子		
主査専門研究員	伊 藤 孝 浩		
主任専門研究員	尾 張 利 行		
専門研究員	山 形 広 輔		

IX 東日本大震災津波への対応

Ⅹ 東日本大震災への対応

1 農業研究センター復興加速プロジェクトチームの活動

(1) チーム会議の開催

会議の名称	開催回数	延べ対応者数
復興加速プロジェクトチーム会議	2	25

(2) 研修会、セミナーの開催

研修会・セミナー	開催日	延べ参加者数
中小区画土地利用型営農技術現地検討会(陸前高田市)	27.7.30	25
ブランド化促進(野菜)現地検討会(陸前高田市、北上市)	27.8.24-25	37
農業研究センター参観デーにおける先端プロ研究成果展示(北上市)	27.9.5	(来場1,800人)
ブランド化促進(果実)現地検討会(陸前高田市、北上市)	27.9.9-10	38
中山間施設園芸実証研究現地検討会(陸前高田市)	27.10.14-15	40
ブランド化促進(果実) ブドウ新品種等現地検討会(陸前高田市)	27.10.19	20
JAIわて花巻農業祭りにおける先端プロ成果展示(花巻市)	27.10.24-25	-
いわて産学連携推進協議会(リエゾンI) マッチングフェアにおける先端プロ成果展示(盛岡市)	27.11.4	205
農林水産祭「実りのフェスティバル」における先端プロ(施設園芸)成果展示(東京都)	27.11.13-14	(来場51,000人)
ブランド化促進(果実)実証研究成果発表会(北上市)	28.2.26	50
中山間施設園芸技術現地セミナー(陸前高田市)	28.3.1	39

(3) 復興支援業務の実施

業務内容	実施日数	延べ対応者数
復旧水田での地力改善による水稻安定生産実証	100	200

2 農畜産物の放射性物質に測定に係る活動

業務内容	実施日数	延べ対応者数
本部		
県産農林水産物の放射性物質濃度の検査計画に基づく検査等	200	600
農地土壌の放射性物質モニタリング調査	100	60
畜産研究所		
廃用牛の生体推定検査(岩手畜産流通センター)27年4月1日～28年3月31日	65	66

X 沿革

X 沿革

- 明治31年 種馬厩を盛岡市に設置。
- 明治34年 農事試験場(3部制:庶務・種芸・分析)を本宮村向中野(現盛岡市)に設置。
種馬厩を種畜場と改称。
- 明治35年 種畜場を盛岡市から滝沢村に移転。
- 明治36年 農事試験場に園芸部(4部制)を新設。
- 大正 2年 原蚕種製造所を胆沢郡水沢町(現奥州市水沢区)に設置。
- 大正 8年 農事試験場胆江分場を江刺郡愛宕村(現奥州市江刺区)に設置。
- 大正11年 原蚕種製造所を蚕業試験場(4係制:庶務・蚕種・試験・桑園)と改称。
- 大正12年 農事試験場に病虫害部(5部制)を新設。
外山御料牧場を種畜場に移管し、種畜場本場を玉山村(現盛岡市玉山区)に移転(滝沢は支場となる)。
- 昭和 2年 種鶏場を岩手郡巻掘村(現盛岡市玉山区)に設置。
- 昭和 5年 農事試験場軽米農場を九戸郡軽米町に設置。
蚕業試験場一戸桑園を二戸郡一戸町に設置。
- 昭和10年 農事試験場遠野試験地を上閉伊郡松崎村(現遠野市)に設置。
- 昭和12年 種畜場本場を滝沢村に移転、玉山は外山支場となる。
蚕業試験場六原桑樹試験地を金ヶ崎町に設置。
- 昭和13年 蚕業試験場一戸桑園を一戸支場と改称。
- 昭和15年 農事試験場軽米農場を九戸分場と改称。
- 昭和21年 農事試験場高冷地試験地を二戸郡小鳥谷村(現一戸町)に設置。
- 昭和22年 農事試験場遠野試験地が国営に移管。
- 昭和23年 種鶏場を紫波郡日詰町(現紫波町)に移転。
- 昭和25年 農事試験場を農業試験場(4部制:総務・営農・農産・畜産)と改称。
農業試験場畜産部を種畜場と併設。
農業試験場葡萄試験地を稗貫郡大迫町(現花巻市大迫町)に設置。
農業試験場沿岸作物試験地を九戸郡長内村(現久慈市)、下閉伊郡豊間根村(現山田町)及び気仙郡小友村(現陸前高田市)に委託設置。
- 昭和26年 農業試験場南部試験地を気仙郡米崎村(現陸前高田市)に設置。
農業試験場に遠野試験地が国から移管。
農業試験場に農業経営研究部門設置。
工芸作物原種農場を雫石町に設置。
- 昭和28年 蚕業試験場を水沢市(現奥州市水沢区)龍ヶ馬場に移転。
- 昭和30年 農業試験場本場機構改革(8部制:庶務・種芸・化学・園芸・病虫害・経営・農機具・畜産)。
蚕業試験場機構改革(4部制:庶務・栽桑・養蚕・病理化学)。
- 昭和32年 蚕業試験場一戸支場を一戸分場と改称。
- 昭和36年 蚕業試験場一戸分場を二戸郡一戸町上野に新築移転。
- 昭和37年 農業試験場の園芸部、南部試験地及びびどう試験地を分離して園芸試験場(3部制:庶務・果樹・蔬菜花卉)を北上市に設置。南部試験地及びびどう試験地をそれぞれ、南部分場、大迫圃場と改称。
農業試験場胆江分場及び九戸分場をそれぞれ、県南分場、県北分場と改称。
種畜場に種鶏場及び農業試験場畜産部を併合して畜産試験場を滝沢村に設置。
農業試験場遠野試験地及び沿岸作物試験地を廃止。
工芸作物原種農場を農業試験場に統合し、原種部を設置。
- 昭和38年 農業試験場本場を盛岡市から滝沢村へ移転。
- 昭和39年 畜産試験場外山支場を外山試験地と改称。
- 昭和41年 農業試験場本場機構改革(4部制:庶務2係・技術・環境・経営)。
- 昭和44年 園芸試験場蔬菜花卉部を野菜花き部に改称。
- 昭和46年 農業試験場本場機構改革(科制導入。技術部:水田作科・畑作科・作業技術科、環境部:施肥改善科・土壌改良科・病虫害科、経営部:経営科・流通経済科)。
農業試験場県南分場及び県北分場に分場次長を設置。
農業試験場高冷地試験地を園芸試験場へ移管し、高冷地分場となる。
園芸試験場に環境部を設置。
園芸試験場大迫圃場を大迫試験地と改称。
畜産試験場外山試験地を外山分場と改称。
- 昭和47年 園芸試験場南部分場を陸前高田市米崎町から同市高田町へ移転。
- 昭和48年 蚕業試験場六原桑樹試験地を六原試験地と改称。
- 昭和51年 農業試験場作業技術科を農業機械科に改称。
- 昭和53年 蚕業試験場六原試験地を廃止。
蚕業試験場養蚕部、病理化学部をそれぞれ養蚕経営部、環境部に改称。
- 昭和56年 園芸試験場高冷地分場を高冷地開発センターに改称。
- 昭和57年 蚕業試験場整備計画実施(～昭和58年)。

平成 3年	農業試験場に水稻育種科を設置。
平成 8年	畜産試験場種山肉用牛改良センターを住田町に設置。
平成 9年	農業試験場、蚕業試験場、園芸試験場及び畜産試験場を農業研究センターに再編整備。 農業試験場本場、園芸試験場本場、同大迫試験地及び蚕業試験場本場を統合し、北上市にセンター本部を設置。 農業試験場県南分場及び園芸試験場南部分場をそれぞれ銘柄米開発研究室、南部園芸研究室と改称。 農業試験場県北分場、園芸試験場高冷地開発センター及び蚕業試験場一戸分場を統合し、軽米町に県北農業研究所を設置。 畜産試験場を畜産研究所に改組。 畜産試験場外山分場及び種山肉用牛改良センターをそれぞれ外山畜産研究室、種山畜産研究室に改称。 県北農業研究所に専門技術員を配置。
平成10年	園芸畑作物蚕桑技術研究室繭品質評価分室を盛岡市に設置(繭検定所を廃止)。 センター本部に専門技術員を配置。
平成11年	企画経営情報部マーケティング研究室を農業経営研究室に統合。
平成13年	病害虫部を新設し、病害虫防除課及び病理昆虫研究室を設置。 銘柄米開発研究室、蚕桑技術研究室及び同研究室繭品質評価分室を廃止。 南部園芸研究室を陸前高田市高田町から同市米崎町へ移転。
平成16年	総務部管理課を同部総務課に統合。 県北農業研究所にいわて雑穀遺伝資源センターを設置。 企画経営情報部内にいわて農林水産知的財産相談センターを設置。
平成17年	病害虫防除課県北農業研究所駐在を廃止、病害虫防除所(本部)へ統合。 専門技術員(県北農業研究所勤務)を専門技術員室(本部)へ勤務振り替え。
平成18年	専門技術員室を廃止(中央農業改良普及センターへ勤務振り替え)。 いわて農林水産知的財産相談センターを閉鎖(業務は岩手県知的所有権センターで実施)。
平成20年	センター本部が2プロジェクト推進室4部体制、畜産研究所が1課4研究室、県北農業研究所が1課2研究室に再編整備。
平成23年	プロジェクト推進室を1プロジェクト体制、技術部園芸研究室を果樹研究室と野菜花き研究室に再編整備。 技術部南部園芸研究室(陸前高田市)が東日本大震災で被災し、研究員は本部勤務で研究を継続。
平成25年	技術部南部園芸研究室(陸前高田市)を再建し、研究員は平成26年1月から陸前高田市で勤務。

<所 在>

岩手県農業研究センター		
本 部	〒024-0003	岩手県北上市成田20-1 Tel. 0197-68-2331 FAX. 0197-68-2361 ホームページ http://www2.pref.iwate.jp/~hp2088/ E-mail : CE0008@pref.iwate.jp (本部) E-mail : CE0001@pref.iwate.jp (病害虫防除所)
(南部園芸研究室)	〒029-2206	岩手県陸前高田市米崎町字川崎238-4 TEL. 0192-55-3733 FAX. 0192-55-2093
畜産研究所	〒020-0173	岩手県岩手郡滝沢村字砂込737-1 Tel. 019-688-4326 FAX. 019-688-4327 E-mail : CE0010@pref.iwate.jp
(外山畜産研究室)	〒028-2711	岩手県盛岡市藪川字大の平40 Tel. 019-681-5011 FAX. 019-681-5012
(種山畜産研究室)	〒029-2311	岩手県気仙郡住田町世田米字飼沢30 Tel. 0197-38-2312 FAX. 0197-38-2177 E-mail : CE0034@pref.iwate.jp
県北農業研究所	〒028-6222	岩手県九戸郡軽米町大字山内23-9-1 Tel. 0195-47-1070 FAX. 0195-49-3011 E-mail : CE0009@pref.iwate.jp

平成 27 年度 岩手県農業研究センター年報

平成 28 年 8 月発行

岩手県農業研究センター

〒024-0003 岩手県北上市成田20-1

TEL (0197) 68-2331 FAX (0197) 68-2361

IWATE-AGRICULTURAL RESEARCH CENTER

20-1Narita,Kitakami Iwate 024-0003,Japan

